6年の学習
GAKUSHU

歴史人物学習まんが

西郷隆盛と大久保利通

下

6年の学習4月教材

第2学習教材=社会科

教科書の「歴史」の勉強がよくわかる

社団法人 日本PTA全国協議会推薦

学習指導要領に対応

NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」の主人公
西郷隆盛・大久保利通の活やくがよくわかる

二か月続き
進級お祝い
テレカ・切手
プレゼント

↑明治時代初めころの東京の銀座通り　洋服を着た人や，人力車，鉄道馬車，れんが造りの建物など，文明開化の様子がえがかれている。（味燈書屋）

（カバー写真＝ＮＨＫ提供）

もくじ

6年生のみなさんへ●この教材は「5年の学習」3月教材の「西郷隆盛と大久保利通㊤」の続きです。明治になってからの、西郷と大久保の活やくがえがかれています。日本の大むかしから、明治時代前半までの歴史の解説や、歴史勉強法ものっています。

*この本に出てくる人物は、生まれた年を一才として計算しています。

◀江戸城伏見櫓(現在の皇居)

第1部 西郷隆盛と大久保利通カラー情報

(2)

1 二人のふるさとを訪ねて

西郷隆盛と大久保利通が生まれ育った鹿児島市内には、二人のゆかりの史跡が数多く残されています。史跡を順に見ながら、二人の足あとをたどって見ましょう。

の地図は，見やすくするために左側が北になるようにかかれています。

西郷・大久保・史跡イラストマップ
※地図の史跡の番号は、3〜8ページの写真番号と対応しています。
西郷蘇生の家6
桜島
鹿児島駅
南洲墓地11
西郷終えんの地10
西郷洞くつ9
◀西郷隆盛銅像1
陸軍大将の制服姿。
◀大久保利通銅像2

▲大久保利通誕生の地④

▲西郷隆盛誕生の地③

ともに学んだ少年～青年時代

西郷と大久保が生まれ育った*加治屋町には、二人の誕生を記した碑が建っています。郷中教育を受け、無参禅師らのよき師にもめぐまれた二人は、大きく成長し、島津斉彬に仕えてその才能を認められ、重要な仕事をするようになりました。

*昔は，下加治屋町といった。

▲座禅石⑤　西郷と大久保は，青年のころ，名僧無参禅師の教えを受け，日夜この石の上で座禅を組んで修行したという。

波乱の壮年時代

斉彬とともに江戸に上った西郷は、幕府の政治を改めるため、お庭方役として大活やくしました。しかし、安政の大獄のあらしが吹きあれ、西郷は奄美大島に島流しにされました。

一方、大久保もしだいに頭角を現し、藩政の中心をになう人物に成長しました。

▲西郷蘇生の家⑥（1969年に建てかえられたもの）

1858年，幕府から追われた僧月照とともに，錦江湾(鹿児島湾)で入水をはかった西郷だったが，助けられてこの家で息を吹き返した。

離島の西郷史跡

西郷は、たびたび島流しにあっています。西郷が不運な時期を送った奄美大島、徳之島や沖永良部島には、今も史跡が残されています。

▶一八五八年、奄美大島に流されたときに住んでいた家。

▼1862年，徳之島に流されたときの家のあと。

▼沖永良部島でとじこめられた牢屋。

▲西南戦争の最後の激戦地，城山(⑦)と鹿児島市内

西南戦争で対立した晩年時代

幕末から維新にかけ、西郷と大久保は、江戸幕府をたおすために大活やくしました。その功績が認められ、二人は新政府の中心人物となります。

一八七一年、大久保は、アメリカやヨーロッパの様子を調べるため、岩倉使節団の一員として外国へおもむきました（↓98ページ）。一方、留守を守る西郷は、徴兵制や地租改正など、政治の改革にあたりました。

しかし、大久保の帰国後、朝鮮への使節派遣問題で二人は対立しました。そして一八七七年、西南戦争がおこり、政府軍に追いつめられた西郷は、自刃してその生涯を終えました（↓222ページ）。

▲私学校の石垣に残る西南戦争の銃弾あと。

▲私学校あと⑧ 1873年，鹿児島に帰った西郷は，私学校をつくって青少年の教育にはげんだ。西南戦争では，この私学校の生徒が中心となって，政府軍と戦った。

▼西郷終えんの地⑩
1877年9月24日，政府軍の銃弾にたおれた西郷は，この地で自刃し，西南戦争は終わりをつげた。

▲西郷洞くつ⑨ （間口3m，奥行4m） 西南戦争は1877年2月に，始まった。熊本での政府軍との戦いに敗れた西郷軍は，鹿児島にもどり，城山の岩崎谷に洞くつをほって本陣とした。

▼**南洲墓地⑪** 西郷はじめ，西南戦争で戦死した薩軍2023人の霊がねむっている。

受けつがれる二人の偉業

一八七八年五月十四日、大久保は新政府に反対する者におそわれ、暗殺されました。西郷が自刃してのち、一年もたっていないころのことです。

家を建てるのは西郷、内装・整備するのは大久保——。西郷と大久保の二人三脚を称して、西郷みずからが言ったことばと伝えられています。

幕末から明治にかけて、数々の偉業をなしとげた二人の遺志は多くの人に受けつがれ、近代日本が誕生しました。

▲**西郷隆盛の墓**

▲大久保利通の墓（東京・青山） 大久保とともに殺された*御者と馬もほうむられている。

◀贈右大臣大久保公哀悼碑（東京・清水谷公園） 大久保は，自宅から馬車で会議に出かける途中，6人の暴漢におそわれ，切り殺された。その現場近くの清水谷公園には，大久保の死をいたむ碑が建てられている。

＊御者＝馬車に乗って馬をあやつって走らせる人

2 今も残る二人のゆかりの品々

西郷隆盛と大久保利通をしのばせる、遺品の数々を見てみましょう。

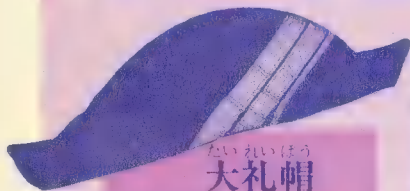
西郷隆盛ゆかりの品々

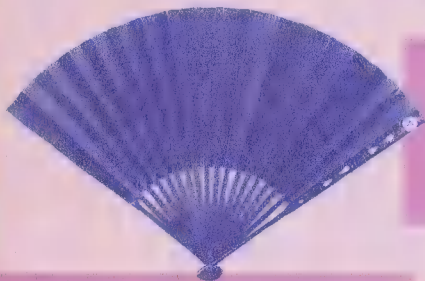
陸軍大将軍服

一八七三年、明治天皇をむかえ、千葉県で演習を行ったときに着た軍服。

フランス陸軍の軍服を参考にして[illegible]つくられたもの。

陣羽織

1864年８月，長州征伐で手がらを立てた西郷は，島津久光・忠義父子から陣羽織をもらった。右がその陣羽織で，島津家の家紋十文字紋が金糸でぬいとられている。

大礼帽

重要な儀式のときなどに着用した。

軍扇

戊辰戦争（1868～1869年）のころのもの。

サーベル

フランス式の外装がしてあり，「信国」という銘がある。

＊10～11ページの遺品は，すべて鹿児島県歴史資料センター黎明館

(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

武者絵

西郷は絵をよくかいた。これは，現存する唯一のもので，源為朝（平安時代末期の武将）がえがかれている。

(桑畑ヒメ)

湯のみ

薩摩(鹿児島)のシンボル，桜島がえがかれている。

印鑑

1874～1875年ころに使われたもの。

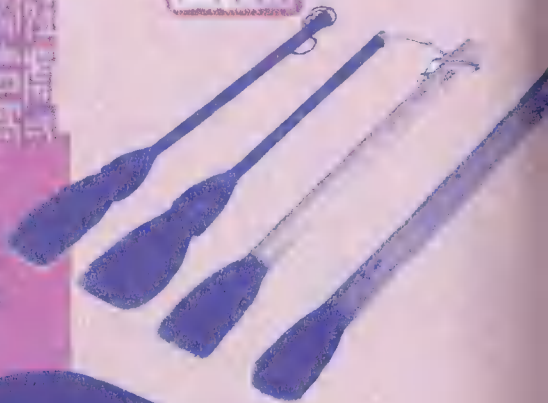
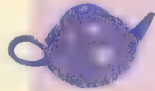
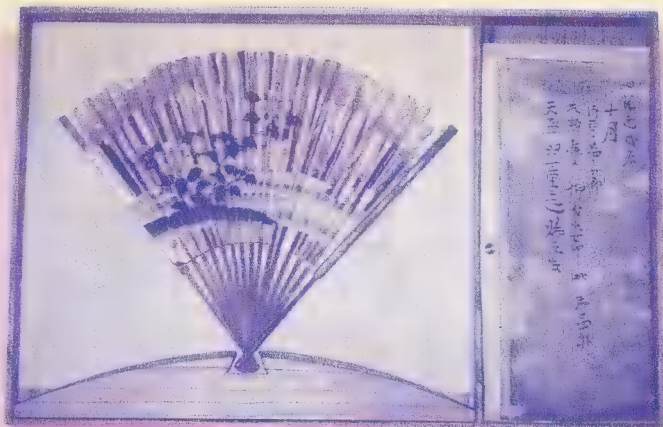
(氏名印)

(号印)

(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

(冠帽印)
書などの右上(頭)におされる印。

筆と硯

西郷は「敬天愛人」をはじめ，数多くの書を残している。写真は，西郷愛用の筆と硯。

(西郷南洲顕彰館)

大久保利通ゆかりの品々

扇　1868年10月に明治天皇からおくられたもの。

(鹿児島県育英財団・写真提供)

ランプ

フランス製の品で，気にいって使っていた。

(鹿児島県育英財団・写真提供)

金時計

イギリス製。毎日持ち歩いて使っていた愛用の品。

書

1874年，台湾問題解決のために，清（今の中国）におもむいたときの心境を書いたもの。

硯

大久保は書を愛したが，道具は決してぜいたくなものは使わなかった。この硯も同様である。

洗面用水差し

フランス製。

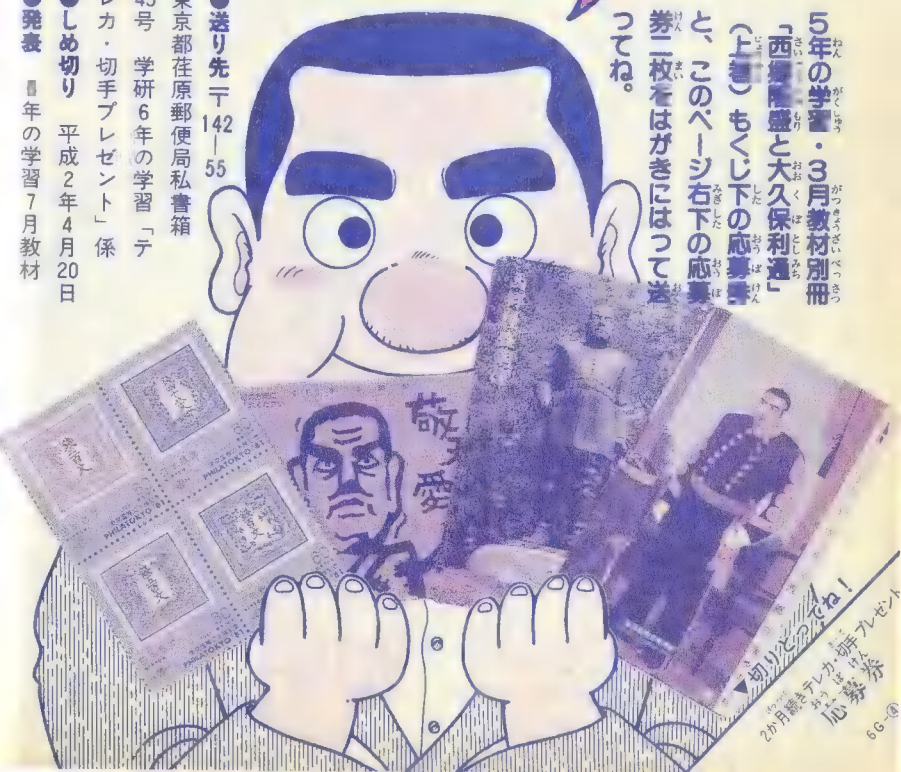
*14～15ページの遺品は，大久保利泰氏蔵。

5年の学習③
6年の学習④

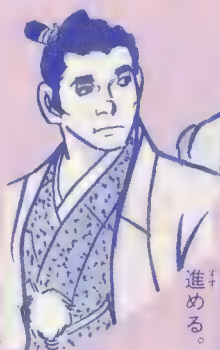
二か月続き 進級お祝い テレカ・切手プレゼント

おいどん，西郷隆盛のテレカと
明治の切手をドーーンと
300名にプレゼントでごわす！

5年の学習・3月教材別冊「西郷隆盛と大久保利通」（上巻）もくじ下の応募券と、このページ右下の応募券二枚をはがきにはって送ってね。

●送り先 〒142−55 東京都荏原郵便局私書箱45号 学研6年の学習「テレカ・切手プレゼント」係
●しめ切り 平成2年4月20日
●発表 8年の学習7月教材

▼切りとってね！
2か月続きテレカ・切手プレゼント
応募券

第2部
歴史人物学習まんが
西郷隆盛と大久保利通
下
まんが＝堀江卓

登場人物
▼岩倉具視
明治維新後、右大臣。条約改正準備などのため、ヨーロッパへわたる。
◀三条実美
明治維新後、政府最高位の太政大臣。
▼木戸孝允
版籍奉還、廃藩置県に努力した。
▲板垣退助
自由民権運動を推し進めた。
▶西郷隆盛
陸軍大将・参議として活躍。西南戦争で自刃。
▶大久保利通
殖産興業、富国強兵の政策を進める。
▲勝海舟
新政府の海軍卿などをつとめる。旧幕臣。

おもな
◀大山綱良
島津氏の茶坊主だったが、後に県令となる。
◀別府晋介
西南戦争で西郷を介錯後、自刃。
◀西郷従道
隆盛の弟。政府の重職を経て元帥となる。
◀大村益次郎
近代的な兵制の確立に努力したが、暗殺される。
▲桐野利秋
西南戦争で熊本城攻げきを指揮。後に戦死。
▲島津久光
明治維新後、左大臣になった。あまり保守的であったため後に鹿児島にもどった。
▶伊藤博文
憲法制定に力をつくす。初代内閣総理大臣。
◀谷干城
西南戦争で活躍。後に農商務大臣などをつとめる。
◀川路利良
東京警視庁の大警視。大久保の腹心。

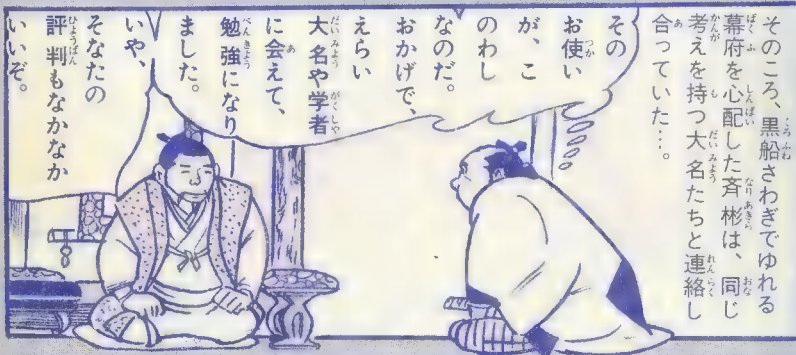
これまでのあらすじ

一八二七年、薩摩藩（鹿児島県）の下級武士の子として生まれた西郷吉之助（隆盛）は、六人きょうだいの長男で父母を二十六才の時になくし、貧しいくらしだった。

兄さん、今夜もまたおとうふなの。

はは 吉二郎、おとうふとさつまいもは、体に一番よいのだぞ。うんとお食べ。

同じ町内に住む大久保一蔵（利通）とは、幼友達の大の仲よしで…。

吉之助は二十八才のとき、藩主の島津斉彬にみとめられ、大変かわいがれて、日本や世界の動きを教えられた。
わしはその大きな目玉のそなたが、今にきっと薩摩の大将になると信じておる。
ははー。でも夢みたいな…。
そのころ、黒船さわぎでゆれる幕府を心配した斉彬は、同じ考えを持つ大名たちと連絡し合っていた…。
そのお使いが、このわしなのだ。
おかげで、えらい大名や学者に会えて、勉強になりました。
いや、そなたの評判もなかなかいいぞ。
だが三十二才のとき、師とも父とも思っていた斉彬に死なれ…。
もうだめ！この上は、斉彬様のあとを追って…。
と切腹しようとしたが、
待ちなさい！今は死ぬより斉彬様の志をつぐことじゃ。
と僧の月照に止められる。

もはやこれまでと、吉之助は月照と入水をはかるが…。

南無阿彌陀仏

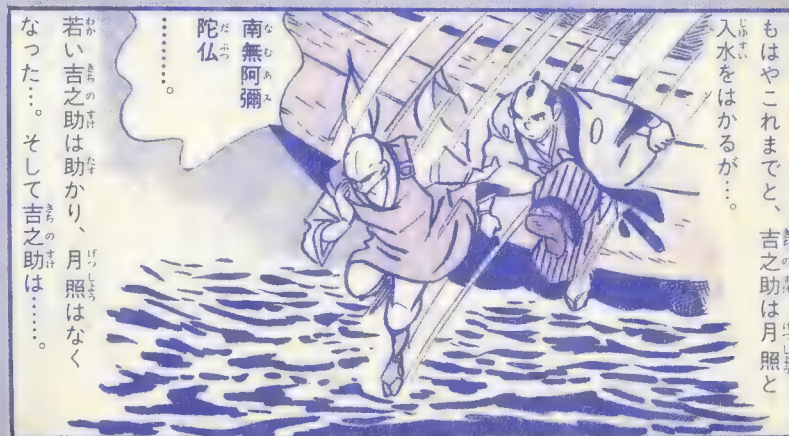
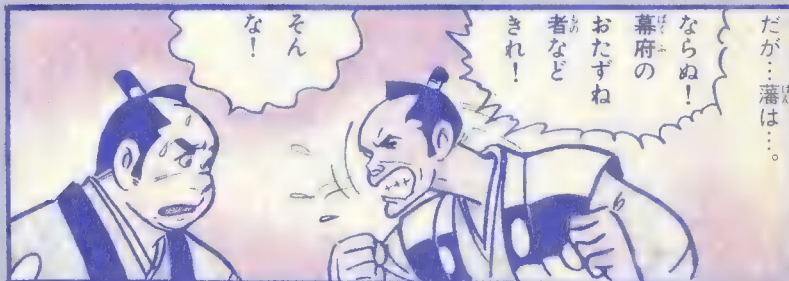
……。

若い吉之助は助かり、月照はなくなった…。そして吉之助は……。

＊安政の大獄…一八五八～九年に大老井伊直弼が行った、反対派のだん圧事件。

奄美大島に島流しとなるが、吉之助の人がらは島民に愛され、島の娘愛加那と結婚し菊次郎を得る。
やあ、いい子だ。
わしはもうこの島で一生暮らしたい。

しかし大久保一蔵らの働きで、吉之助は許され鹿児島に帰される…。だが、
ええいならぬ。吉之助を、もう一度島流しにせよっ!!
薩摩藩主の父で、藩の実権をにぎる久光公に誤解され、吉之助はひどくきらわれる。

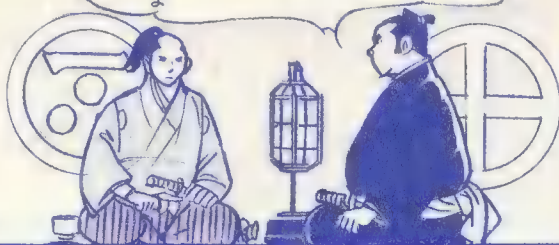
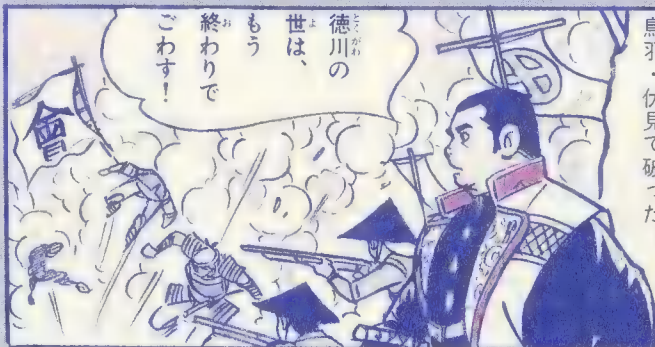
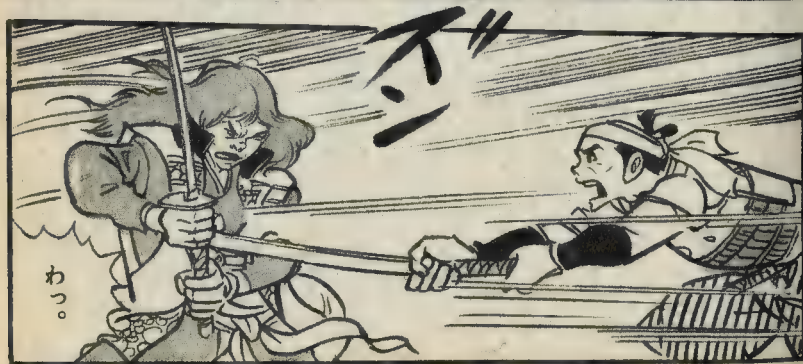
そして二度目の島流しにあうが、時代の変化は、吉之助を再び薩摩藩に帰すことになる。
これよりわしは、明治維新に向かって一路まい進することになった。
吉之助は、まず禁門の変を収め、さらに第一次長州(山口県)征伐を交渉だけで解決し、

*王政復古…一八六八年、天皇を中心とした新しい政府ができたこと。

こうして一八六八年四月十一日、江戸城は無血で官軍に明けわたされた。一方、京都の御所では…。

明治天皇が「五か条の御誓文」を発表し、新政府の基本方針を打ちたてた。

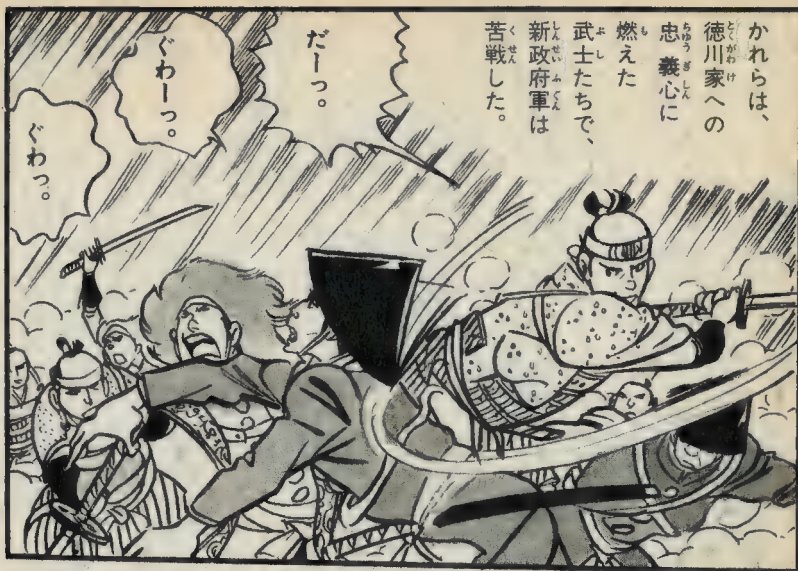
戊辰戦争

＊幕臣……江戸幕府の臣下。旗本。

慶喜公が水戸に送られても、江戸にはまだおれたち旗本がいるぞっ。
薩長のやつらに、江戸をわたしてたまるかっ。
そーれっ!!
行けーっ。
うわっ。
ぐわっ。
ズン
わっ。

かれらは、徳川家への忠義心に燃えた武士たちで、新政府軍は苦戦した。

だーっ。

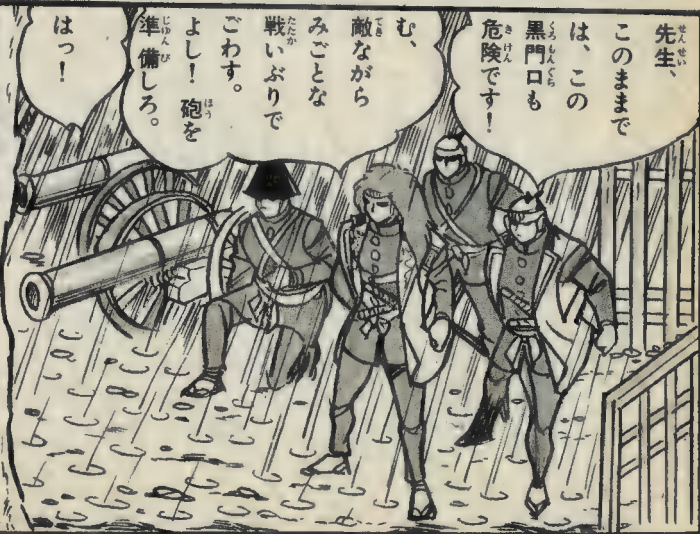
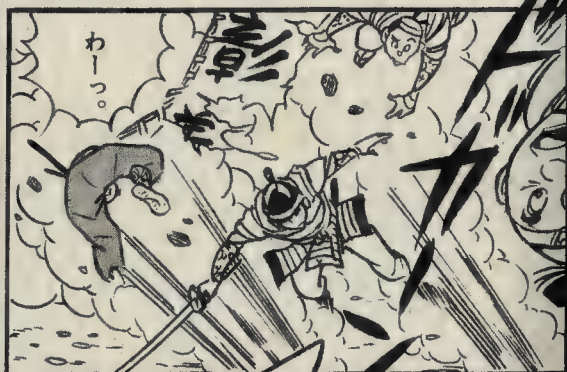
ぐわーっ。

ぐわっ。

先生、このままでは、この黒門口も危険です！

む、敵ながらみごとな戦いぶりでごわす。よし！ 砲を準備しろ。

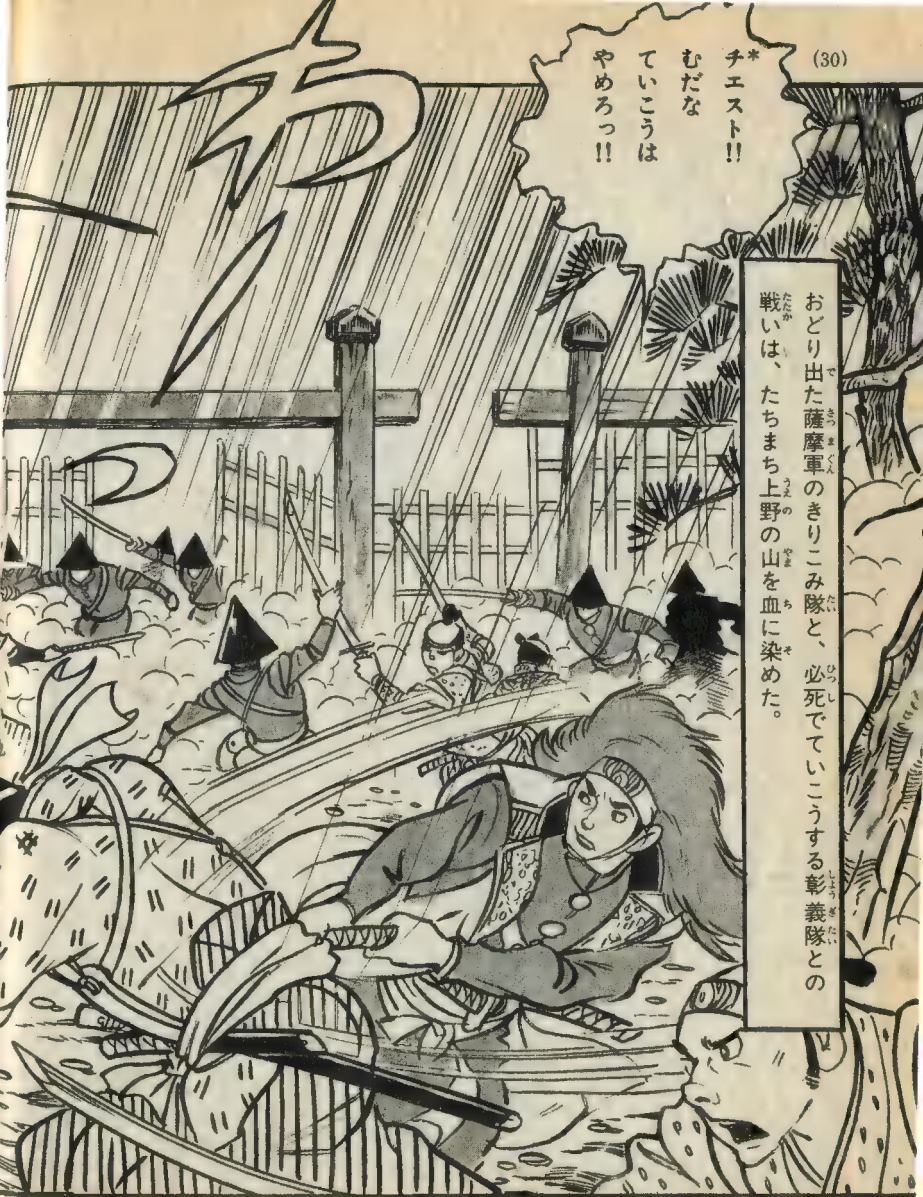
はっ！

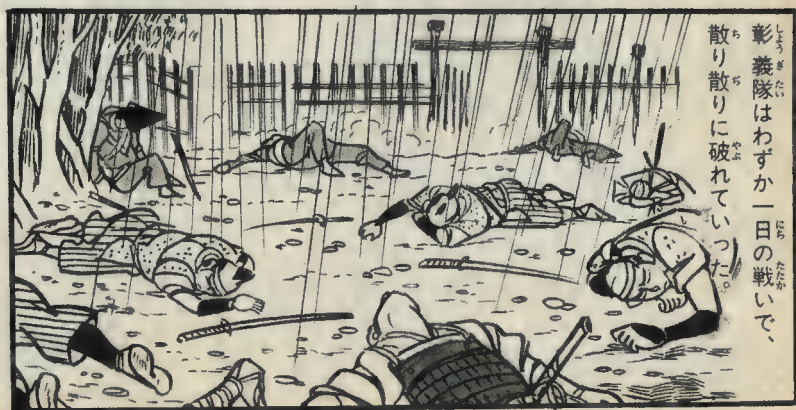
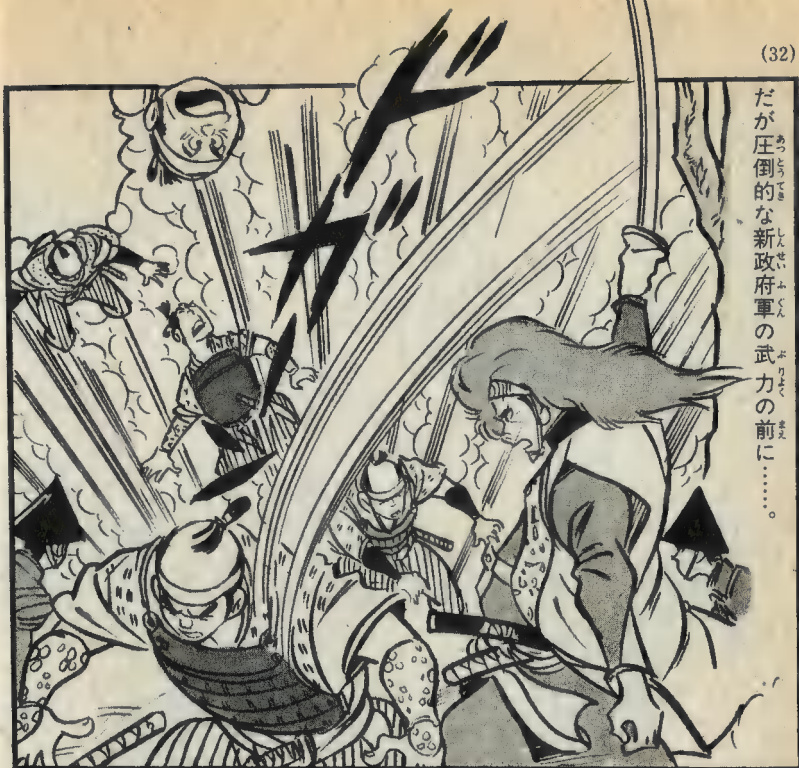
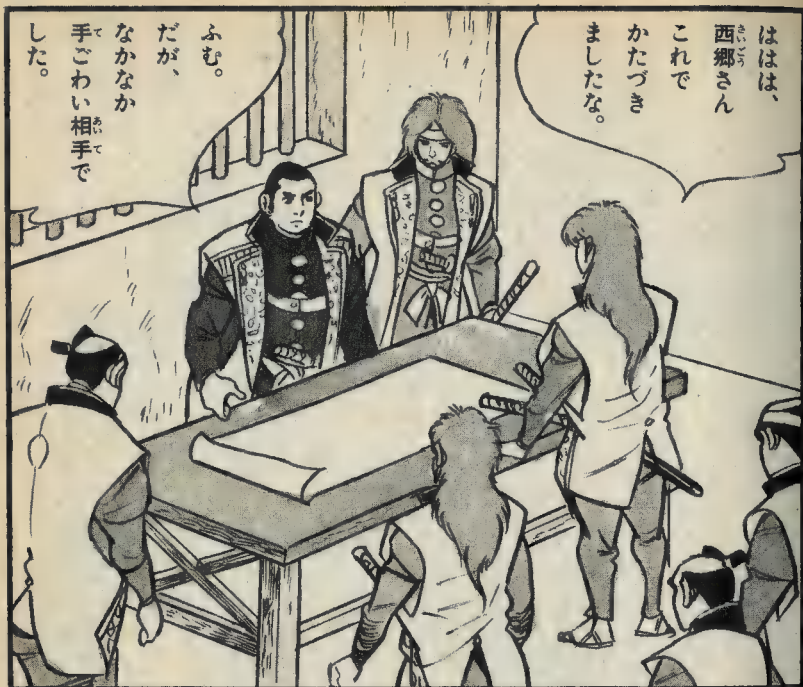
西郷は薩摩軍を率いて、もっともきびしい黒門口を攻めていたのだが…。

わーっ。

桐野どん、今じゃ！あとは薩摩が得意の＊白兵戦で行きなさい！

はい、待ってました。先生！

よーし、おいたちも行くぞっ！

桐野は別名を人きり半次郎というつわ者で、続く篠原国幹、村田新八も勇かんな武士たちだった。

＊白兵戦…刀・剣など使って、身をもって戦うこと。

*チェスト…鹿児島県の方言とされる。「がんばれ」「いいぞ」などさまざまな意味に使われる。

ズダーン
ええい
引くな!
長州や
薩摩の
いなか侍に、
最後まで
幕臣のうで
を見せて
やれっ。
だーっ。
うーっ。

だが圧倒的な新政府軍の武力の前に……。

ははは、西郷さんこれでかたづきましたな。
ふむ。だが、なかなか手ごわい相手でした。

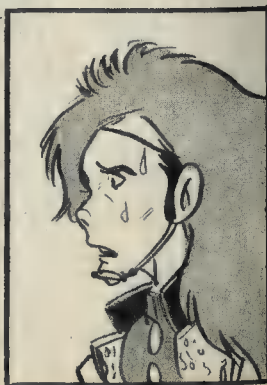
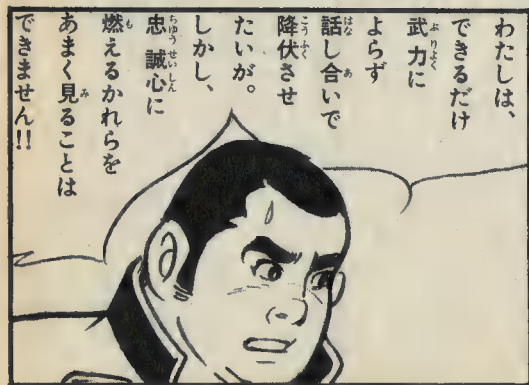
＊会津…福島県

＊庄内藩…山形県。

！

主家めつぼうのくやしさに、命をすてていこうした、あの彰義隊こそ、真の武士の姿でしたぞ！

ましてや、東北には徳川家に恩を感じ、同情している藩が多いとか。
かれらは彰義隊以上の強敵となりますぞ！

わたしは、できるだけ武力によらず話し合いで降伏させたいが。しかし、忠誠心に燃えるかれらをあまく見ることはできません!!

西郷の言ったとおり、東北、北陸諸藩は会津、庄内などの藩を援助するために、三十余りの藩が集まり……、
ワー
おれたちは奥羽越列藩同盟を作り、てってい的に薩長軍と戦うぞ!!
と、すさまじい戦意を見せて立ち上がっていた。

西郷により補強された新政府軍は、ただちに越後(新潟県)に攻めこんだ。
わーっ
だーっ。
ぐえーっ。
わーっ。
だが、長岡藩(新潟県長岡市)はよく戦い、一度はうばわれた城を取り返すほどだった。

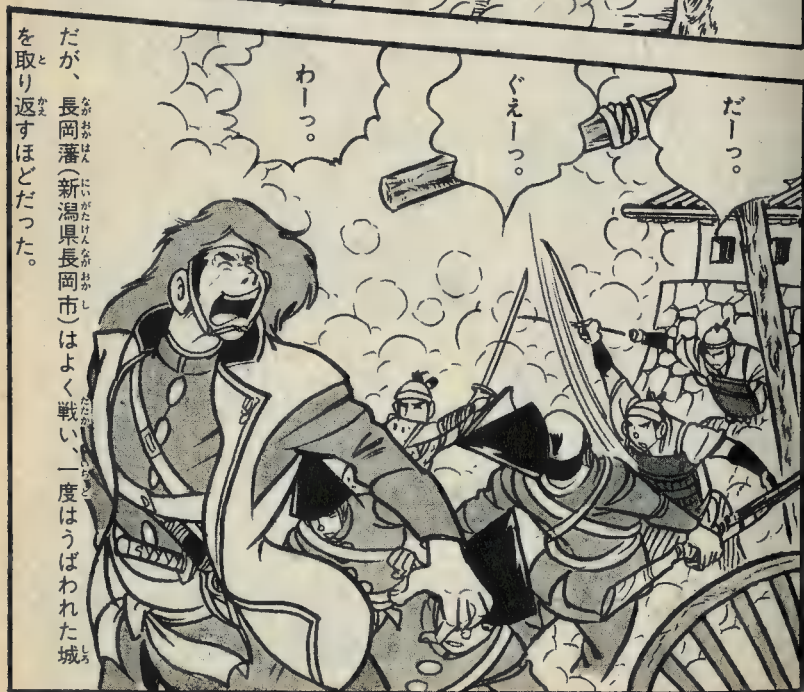
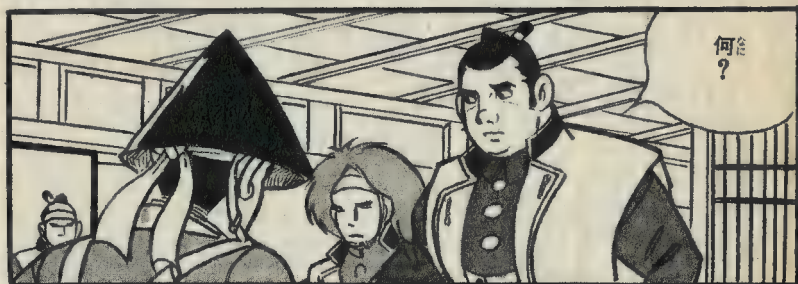
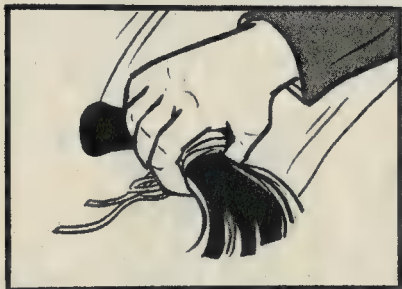
そして七月、柏崎（新潟県）の官軍の陣営
申し上げます！

何？

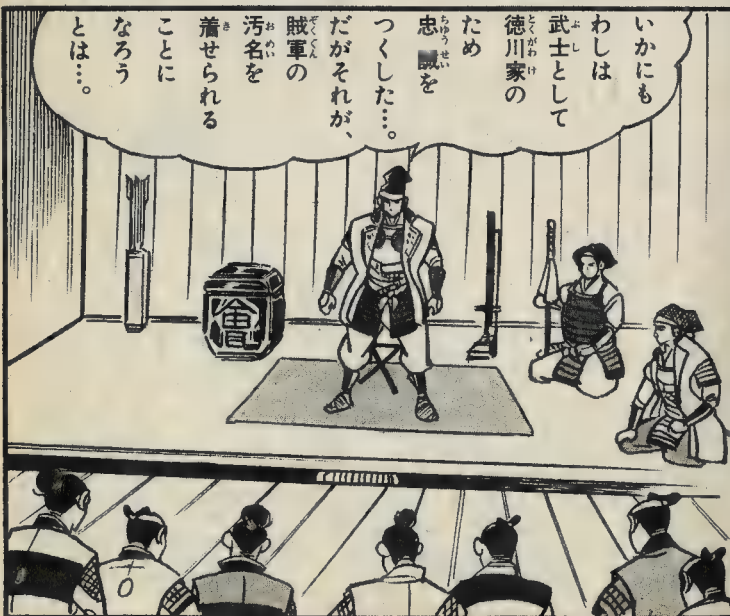
吉二郎が戦死したと！

はい、ここ長岡藩とのもうれつな戦いできずつき……
そうか…。
あのやさしい吉二郎が…。

そんなに奮戦して……。立派に戦ったのか…。
は!
う…。

思えば長男であるわしが、今日までぞんぶんに働けたのは…、
吉二郎…、おまえがわしに代わって家を守り、弟や妹たちのめんどうを見てくれたおかげじゃ。

このときの西郷の悲しみは、陣営にあって四、五日も食事はとらないほどだった。かみも落としたこの兄弟愛こそ、西郷の美しい人となりの現れであった。

だが、鶴ヶ城にたてこもった藩主容保は…。

いかにもわしは武士として徳川家のため忠誠をつくした…。だがそれが、賊軍の汚名を着せられることになろうとは…。

だが家臣たちは、…
わしに
ついて来るのは
地ごくじゃ…。
落ちる者
よし
去る者もよし。
ただ、
老人、女、
子どもだけ
は、一刻も
早く城外に
にげて、生き
のびてくれ。

殿！
われらの
覚ごは、もう
決まっており
ますぞ。

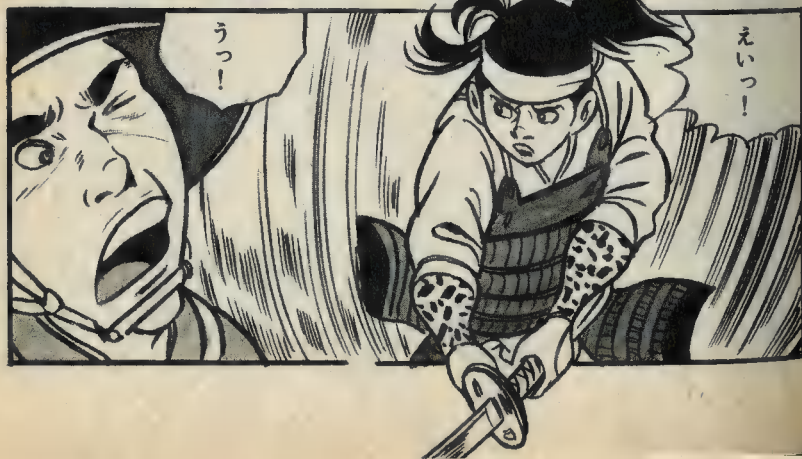
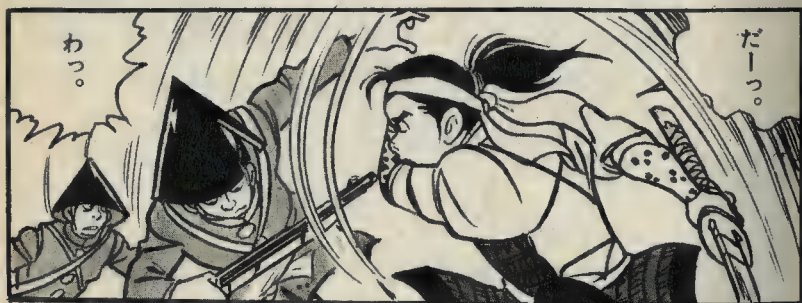
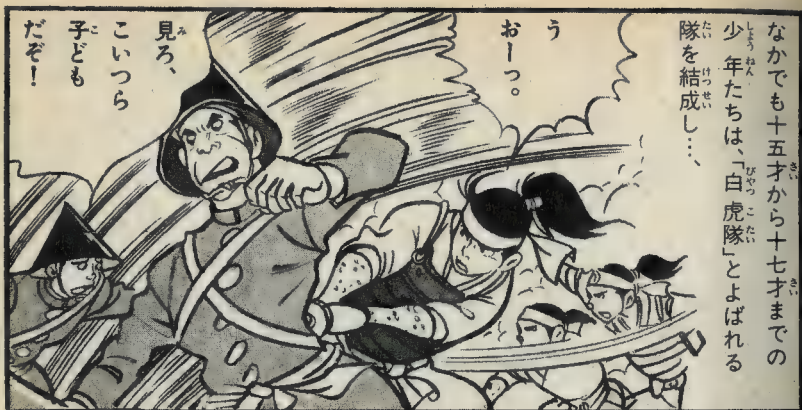
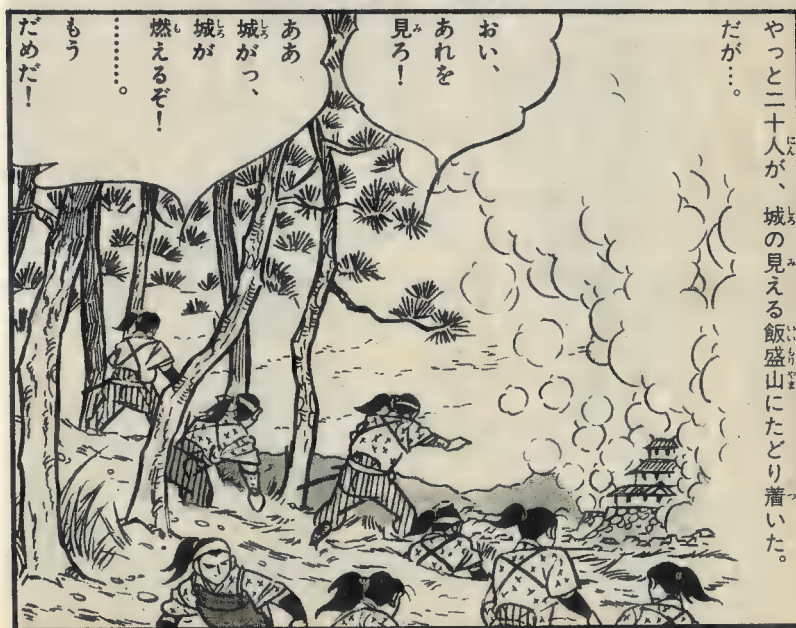
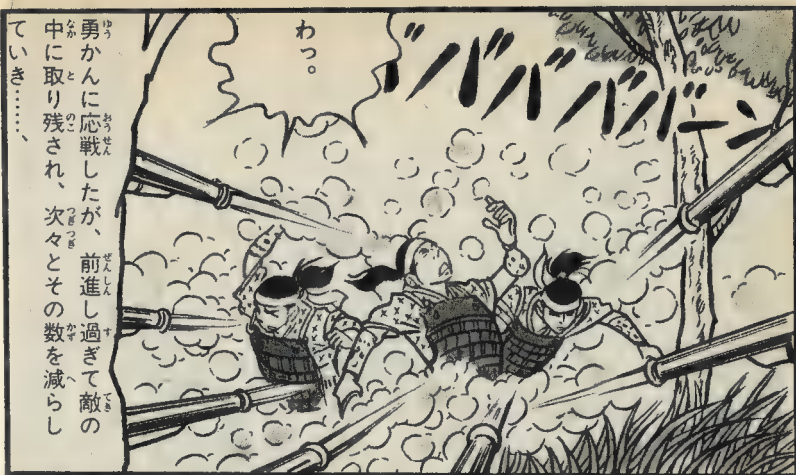
藩士の家では、戦場に出る夫にあとのことを心配させないよう、老人、女、子どもは次々に自決した。

母上！

かか様。

さらばじゃ！

*ろう城戦…城の中にたてこもり、敵と戦うこと。

新政府軍の砲弾を浴びながらのろう城*戦の中で、ある者は城外に出て、女や町民まで武器を取り…。

なかでも十五才から十七才までの少年たちは、「白虎隊」とよばれる隊を結成し…、
うおーっ。
見ろ、こいつら子どもだぞ！

だーっ。
わっ。
えいっ！
うっ！

やっと二十人が、城の見える飯盛山にたどり着いた。
だが…。

おい、あれを見ろ！

ああ城がっ、城が燃えるぞ！

……。もうだめだ！

だーっ!

うっ!

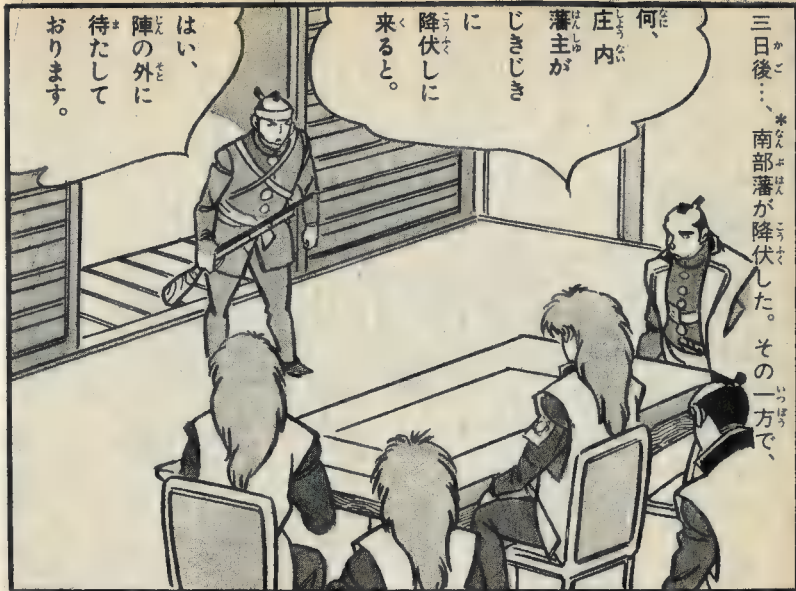
……。

と、二十人の少年は武士としての見事な最期を見せて死んでいった。これを知った新政府軍の兵士は、改めて西郷の予言を思い出し、身ぶるいしたという。

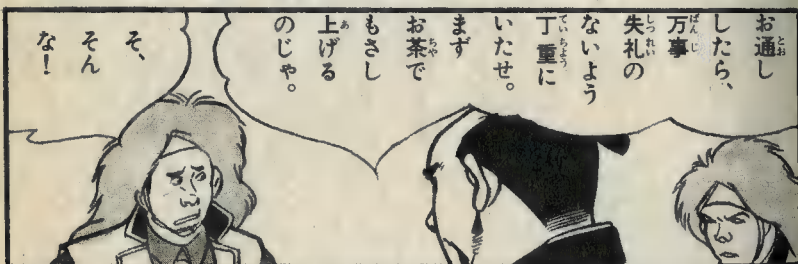
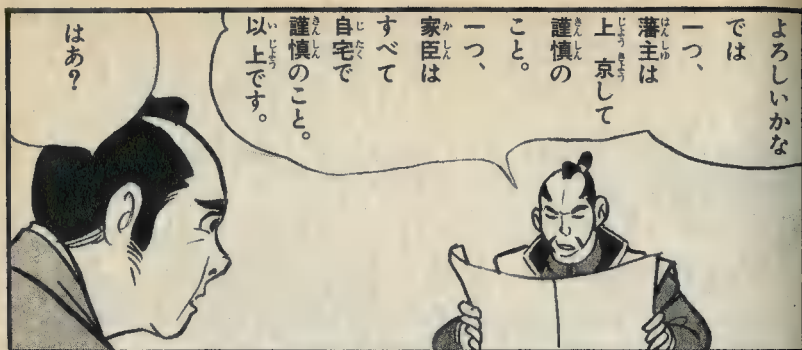
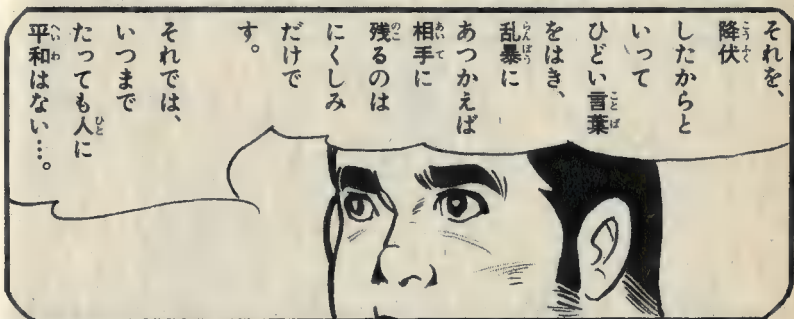
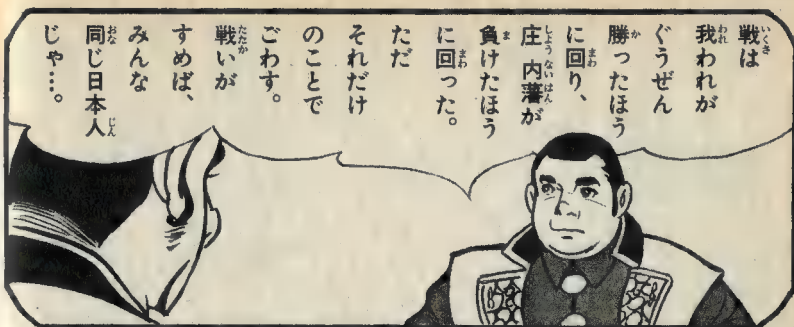
＊南部藩…岩手県。

三日後…、＊南部藩が降伏した。その一方で、

何、庄内藩主がじきじきに降伏しに来ると。

はい、陣の外に待たしております。

はは、こいつはおもしろい。江戸で薩摩屋敷を焼き打ちした、あの庄内藩がのう。

よーし！あのときのかたきを取ってやる。通せっ！

*黒田参謀…薩摩藩の黒田清隆。後に総理大臣もつとめた。

*庄内藩主…酒井忠篤のこと。

よろしいかな
では
一つ、
藩主は
上京して
謹慎の
こと。
一つ、
家臣は
すべて
自宅で
謹慎のこと。
以上です。
はあ?

はて、
これは
どうなって
いるのじゃ
…?
われらは
もっと重い
ばつを受けると
思って覚ごをして
来たのに、こんな
軽い処分とは!?

はは、
黒田どん、
これは
立場の
ちがいで
ごわす。
はあ?

すべからく人を愛するという西郷の大きな心は、「敬天愛人」ということばの通りである。

こうして東北の戦火はやんだ。十月、西郷は鹿児島に帰った。

これで、新しい日本の国づくりはすみもしたな。おいの役目もここらで終わりじゃ。あとは鹿児島に帰って、のんびり百姓でもやりもそう…。

この後、
北海道の
五稜郭に
たてこもり、
そこに
独立国を
つくろう
とした
旧幕臣
榎本武揚など
もいたが、一八六九年
五月、政府軍参謀
黒田清隆の攻げきに破れ、
ここに新政府軍と
旧幕府軍の戊辰の戦いは、
すべて終わったのである。
うおー、おれは
新撰組の
副長
土方歳三だーっ。
五稜郭での
最後のすがたを
よっく
見ておけい。

一八六八年七月、江戸は東京と改められた。

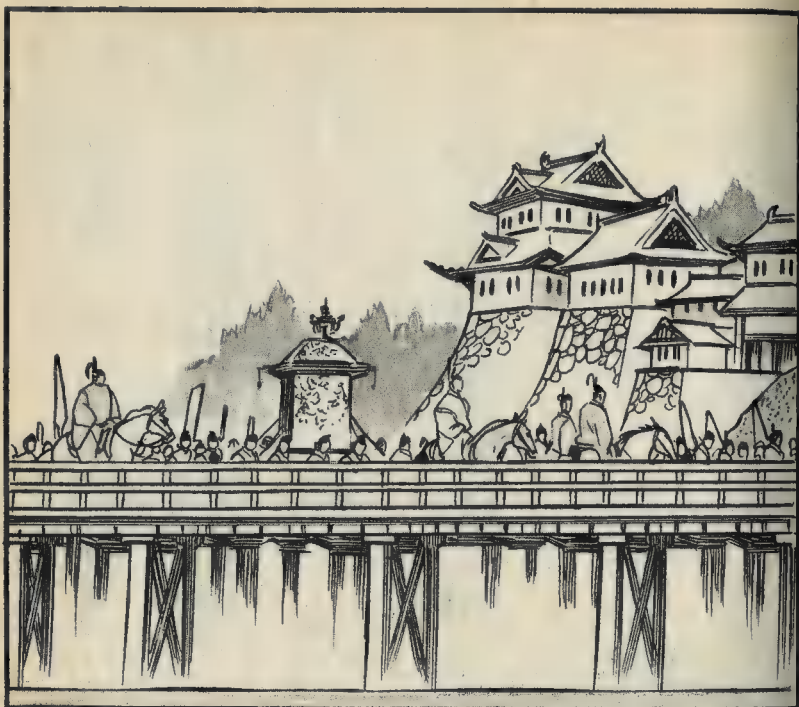
あわわ
た、た、た…。

おーい、大変、大変だーっ。
なんだなんだ。

じじゃ、江戸っ子てえのもこの世からいなくなるのかい？
ああ、そうらしいな。
ひーー！じゃあたしたちは……。

あすからお星さまにでも移るのかい!?
おっほん！これこればかをお言いでない。名前だよ、よび名が変わるだけなんじゃ。

へーえ、じゃ江戸が「東京」に!?
ああ東京じゃ……。
つまり天子様が京のお住まいから、この江戸にお引っ越しになる……。

この年慶応四年の九月から、年号は明治と改まり明治元年と変わった。そして十月十三日、天皇は京都から江戸城に入り、これ以後東京城と改められて皇居となった。

こうして日本は、
約二百七十年も続いた
江戸幕府時代から、
天皇を中心とする新しい
政府の時代に変わった。
この変化を
明治維新とよび、
その変化の原動力となった
のは、薩摩と長州の両藩だった。
そのなかでも、とくに三人の指導者、
西郷隆盛、大久保利通、
そして長州の柱小五郎
(のちの木戸孝允)は、
維新の三傑とよばれた。

西郷隆盛と大久保利通
歴史コーナー①

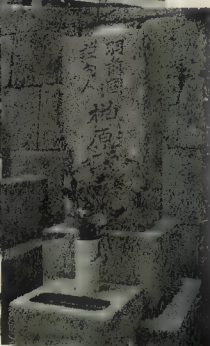
庄内に生きる西郷の徳望

西南戦争で戦死した人々の墓がたちならぶ鹿児島市の南洲墓地。ここには、遠く東北出身の二人の若者の霊もねむっていました。

南洲墓地にねむる二人の庄内藩士

一八六八年におこった戊辰戦争は、庄内（山形県北部）をも巻きこみました。長い戦いのあと、降伏した庄内（鶴岡）藩に対し、西郷は、「敵、味方になったのは運命、降伏してきた以上は兄弟も同様です。」と、寛大な処置を行ったので、庄内の人々は

▼鹿児島湾を見おろす高台にある南洲墓地。

▼庄内藩士、伴（右）と榊原（左）の墓。戦死したとき、2人は20才と18才だった。

感激し、西郷を師とあおぐようになりました。

その後、庄内と西郷のつき合いは続き、西郷が鹿児島に私学校をつくると、そこに入学した若者もいました。

この若者こそが、南洲墓地にねむる伴兼之と榊原政治の二人です。西南戦争が始まり、庄内に帰るようにすすめられても、二人は聞き入れず、若い命を西郷と供にしたのでした。

▶西郷の書いたこの書は、松ケ岡開墾場（山形県東田川郡）に保管されている。西郷と庄内の結びつきを示す。

『南洲翁遺訓』を刊行

もと庄内藩の重臣だった菅実秀、石川静正らも西郷に心を寄せた人々でした。菅はたびたび西郷を訪ね、庄内の復興論から国の将来まで論じ合い、深い感銘を受けました。

庄内に帰った菅や石川は、西郷のすぐれた考えを広く世の中に知らせようと考えました。こうしてできたのが、一八八九年に刊行された『南洲翁遺訓』です。この本は庄内の小学生に配られ、深い感動をあたえました。

廃藩置県

おや先生、今日も狩りはだめでしたか。
あはは、畑をあらすいのししを、うちに行きましたがだめでごわした。

参謀さんも、狩りはだめですか。
いやいや、鳥やけものの目を見てると、ついかわいくなってしまって…。

はは、それじゃだめですね。それより先生、お留守にお客さんがあったそうですよ。
おお、そうですか。

一八六九年(明治二年)西郷は新政府の仕事を断って、鹿児島の武村に住み、藩政の改革に取り組みながら、ひまをみては畑仕事や狩りを楽しんでいた。次の年…。

ただいま帰りましたぞ。

はあい、弟の*従道です。

おお、ヨーロッパから帰って来たか。

*従道…隆盛の弟。後に新政府の重職につく。

ん？

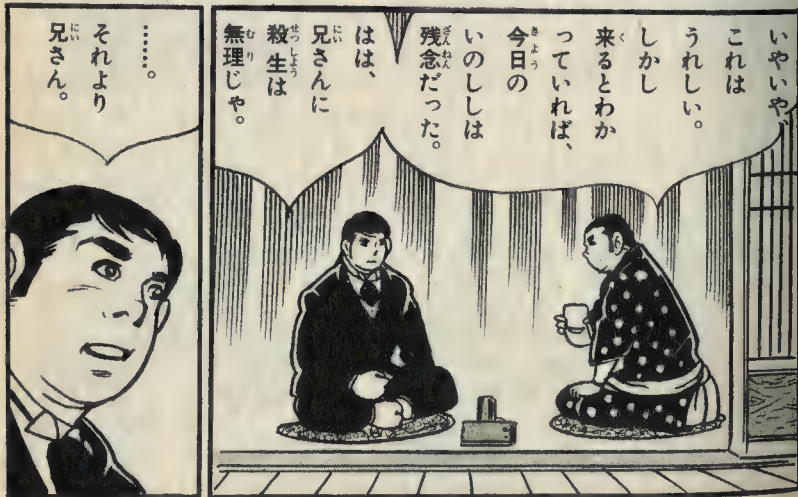
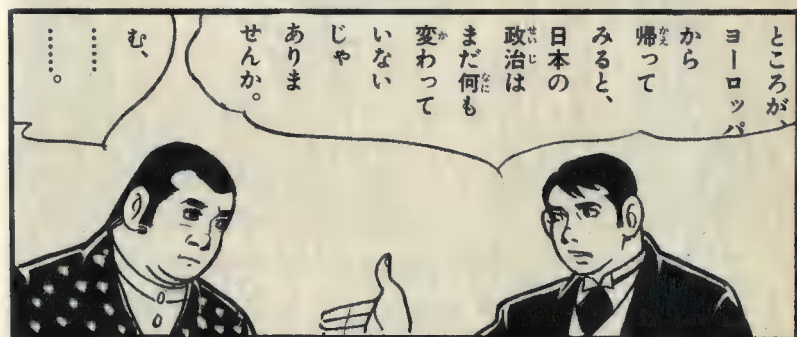
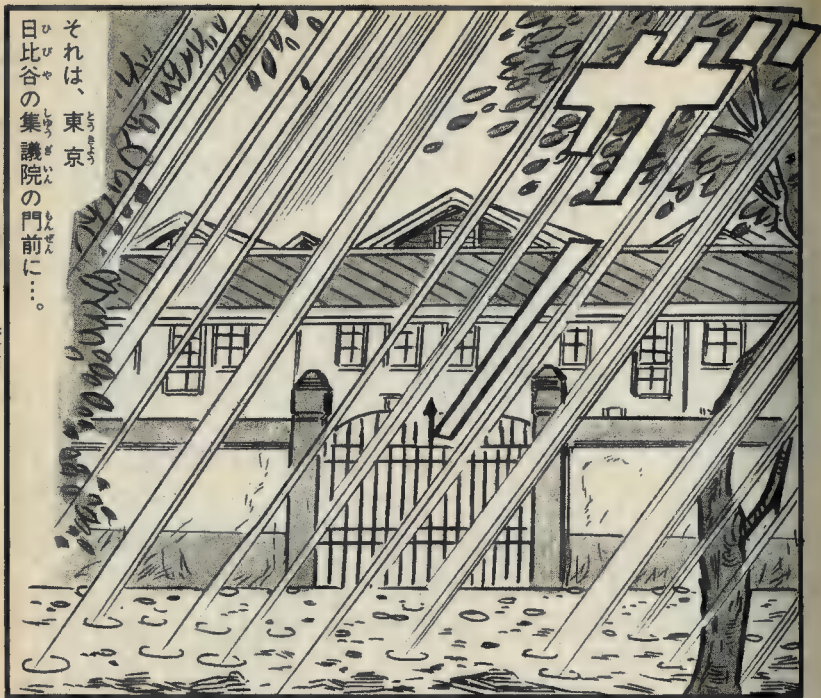
確か日本の国は、新政府の下で新しく生まれ変わったはずでしたな…。
……。

ところが、ヨーロッパから帰ってみると、日本の政治はまだ何も変わっていないじゃありませんか。
む、……………。

兄さん……。今年の七月におきた横山正太郎どんのことはご存知でしょう。
ん…。

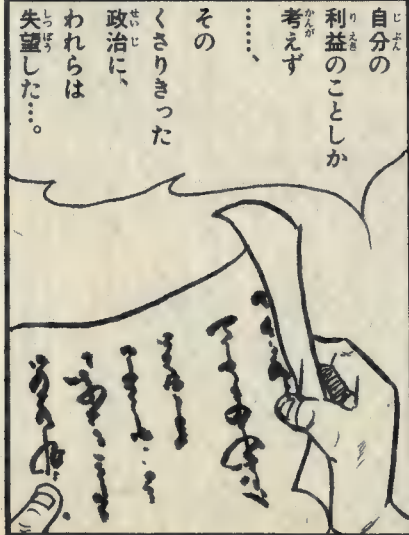
あれは、悲しいことでした…。

それは、東京日比谷の集議院の門前に……。

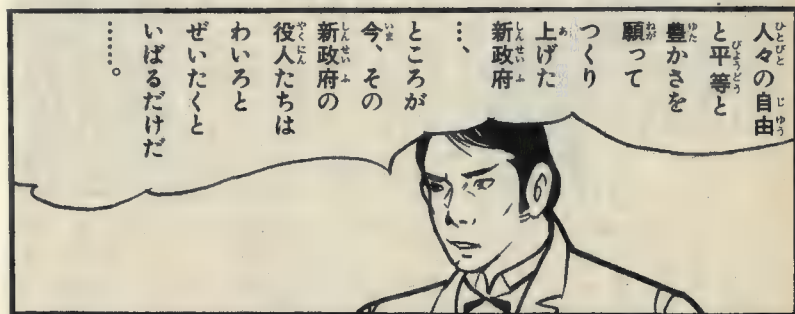
ザー

＊諫書：主君などに忠告する文書。

割腹した青年のことであった。

わたしは明治維新のため、命をかけて働いてきた、一士族である…。

だが新政府が実現してみると、その役人どもは人々のことはわすれ…、

自分の利益のことしか考えず……、そのくさりきった政治に、われらは失望した…。

これでは旧幕府時代にもおとるだろう…。われらは何のために戦って来たのか…。新政府の役人に、反省をうながしたい、か……。うーむ。

木戸君、この横山という男は…。

はい、旧薩摩藩士で西郷さんの弟子だそうですよ、岩倉さん。
うーむ。困るな…。われらといっしょになって新政府をつくった西郷さんのところから、このような不平分子が出て来るとは…。

とうぜんでしょう、岩倉さん。
……。なんだ大久保君、来てたのか。

人々の自由と平等と豊かさを願ってつくり上げた新政府…、ところが今、その新政府の役人たちはわいろとぜいたくといばるだけだ……。

待ちなさい。それは少し言い過ぎだぞ大久保さん。
新政府は、まだできたばかりだ。

だれがやったって、そんなに何もかも一度にうまく期待にこたえられるものかね。
だが……、あの人は期待にこたえている。

ほう、それはだれのことです？

薩摩の…。

西郷隆盛です！

*版籍奉還…旧藩の土地と人民を朝廷に返すこと。

金も名よも名もいらず、

命もいらない男だからです!

しーーん

維新の功により、天皇はかれに二千石のほうびをあたえられた…。

だがかれは、それをそっくり郷土の学校建設の費用に当てた…。さらに、

正三位の位もかたくなに断り続けた…。

このような男のやった政治の下で、不平や不満が起きるわけがありません!

うーむ……。
だが待てよ……。

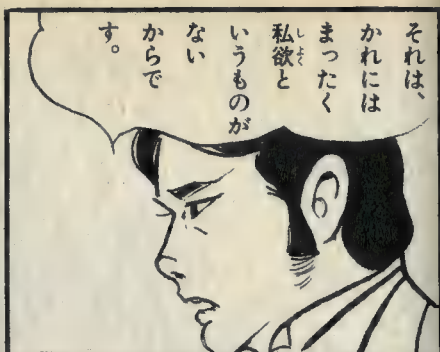
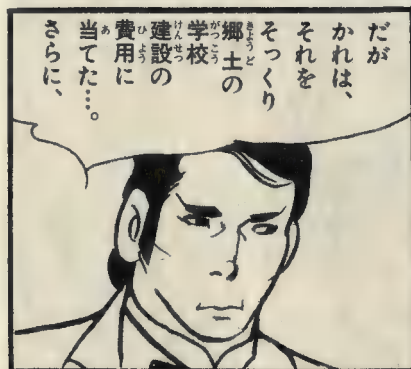
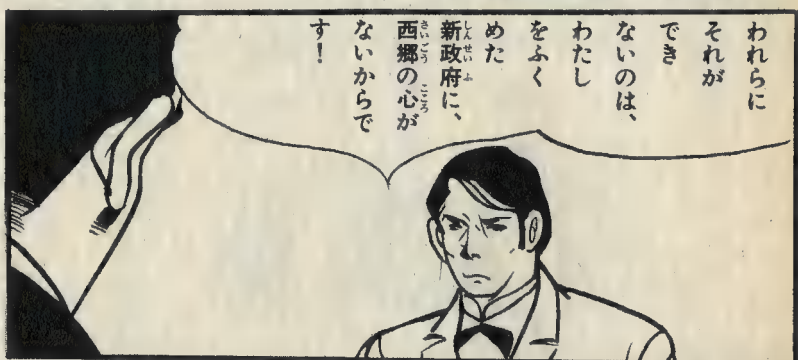
それは、どうも変だな…。
さよう、ではなぜ西郷君が治める鹿児島藩士が割腹したのかね?

かれは、鹿児島藩にうったえたのではありません!

諸藩の士族や人々を代表して、われわれ新政府にうったえたのです！

われらにそれができないのは、わたしをふくめた新政府に、西郷の心がないからです！

では、どうしろと言うんだね、大久保さん。

西郷さんをなんとしてでも新政府に加えることです！

そのことなら、すでに維新のときから、何度も西郷君にはたのみに行っている。
さよう。だが、そのたびにかれは、断り続けてきた。

では、もう一度……

今度は天皇より勅使をいただいてでも、頼んでみることです!
何、*勅使を?

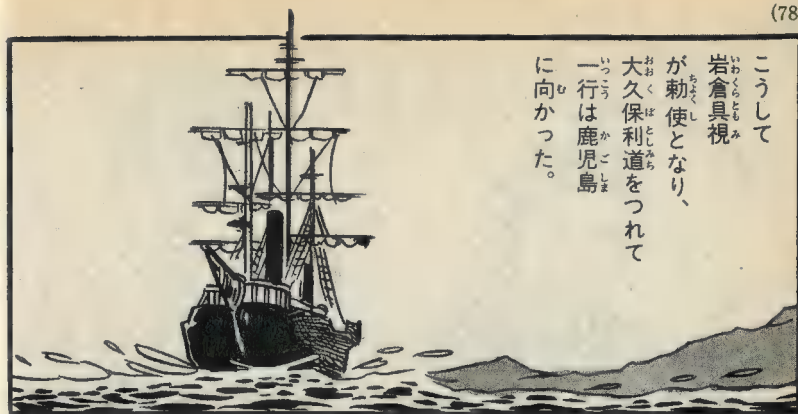
*勅使……天皇の使い。

こうして
岩倉具視
が勅使となり、
大久保利道をつれて
一行は鹿児島
に向かった。

……。おそれ多いことです。

では西郷さん！

大久保どん…。
みなさん…。

この西郷隆盛、
天子様のご命令とあれば、確かに上京いたしましょう。
おお！

その夜、西郷と大久保はひさしぶりに二人だけで会った。二人になれば昔の幼友達だった。

一蔵どん、おぬしにはいつもいろいろと心配かけます。

いやいや、わたしは吉之助さんが好きだからですよ。

ほんとうなら維新の手がらで吉之助さんは、東京に残り、日本の首相になってもよかったでしょう。
一蔵どん、それはちがいますぞ。

あのときわたしまで新政府に残っておれば、明治維新は薩摩と長州が徳川に代わって、日本を乗っ取ったと言われます…。

だが、今度わたしが政府に入ることを引き受けたのは……、

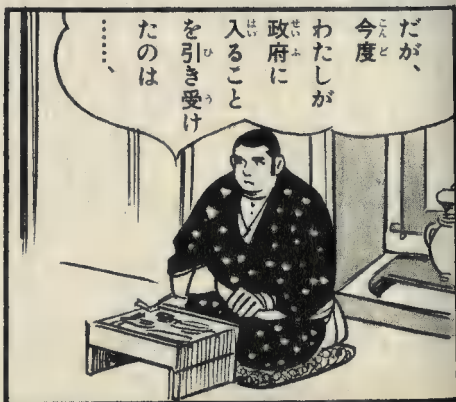
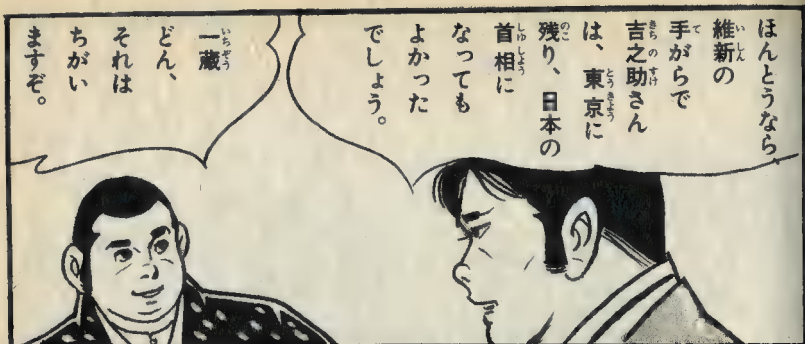
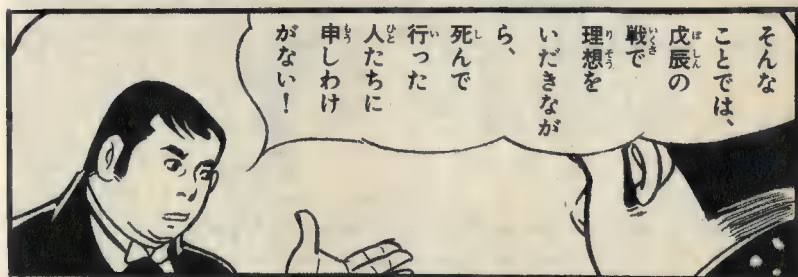
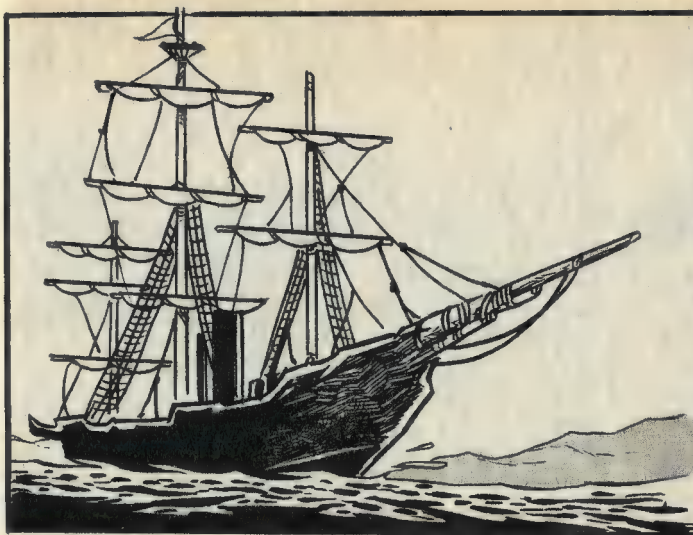
この間、弟の従道が来たときのことでした……。

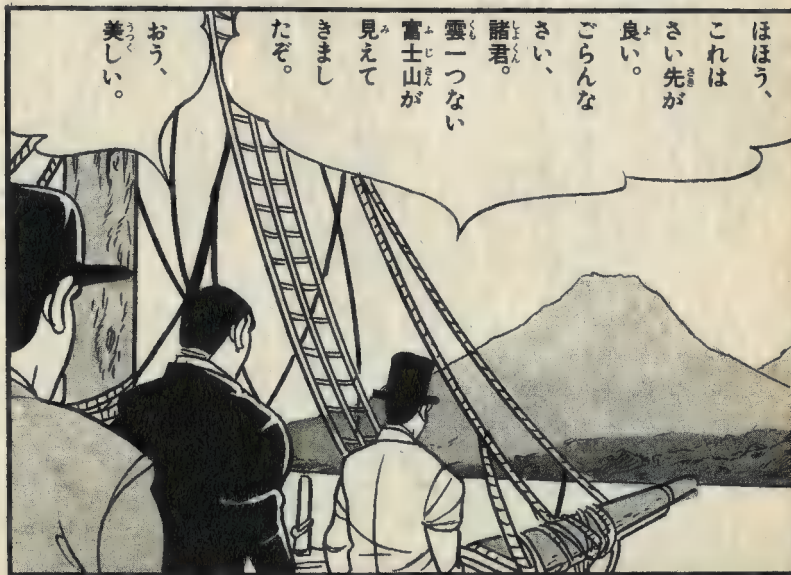
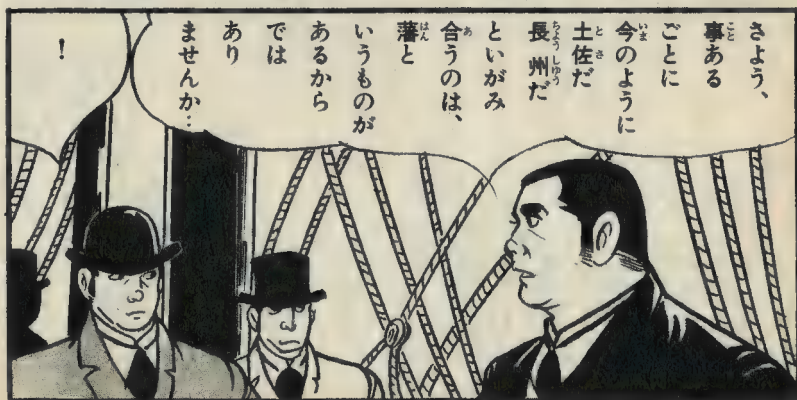
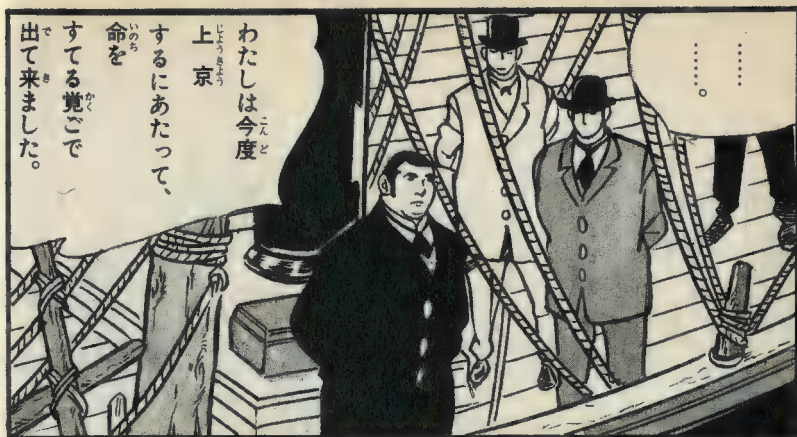
兄さん、このだらくぶりを、このまま放っておいたら、今に日本はだめになりますぞ。

そんなことでは、戊辰の戦で理想をいだきながら、死んで行った人たちに申しわけがない!

戊辰の戦で指揮した兄さんには、東京に出て新政府で働く義務があります。

う……。

一八七一年（明治四年）一月、西郷は大久保らとともに鹿児島をたった。

船は途中、山口や土佐(高知)によって、木戸孝允や板垣退助らを乗せて上京した。

ほほう、これはさい先が良い。ごらんなさい、諸君。雲一つない富士山が見えてきましたぞ。

おう、美しい。

*瀬戸……陸地にはさまれたせまい海路で、潮の干満ではげしい潮の流れができる。

わたしは今度
上京
するにあたって、
命を
すてる覚ごで
出て来ました。
……
……。

！
命を
すてる
覚ご？
では、
もしや
……。

さよう、
事ある
ごとに
今のように
土佐だ
長州だ
といがみ
合うのは、
藩と
いうものが
あるから
では
あり
ませんか…
！

はい…だが、新しい日本をつくるためには、廃藩置県はさけては通れません。今の政府はむだなものを捨てて、思い切った改革が必要ではありませんか。わたしの仕事は、まずこの廃藩置県でごわす。

*廃藩置県…藩をやめ、新しく府や県を置くこと。

廃藩置県とはただ藩を県と名を変えるだけではなく…。

各藩の領地は、すべて国が直接治めるようにする。

そ、そんな!! ではこの土地に住んでいた、われら大名は!?

心配ない。華族として東京に移り住んでもらう。

こうすることで中央政府の命令は、全国のすみずみまで行きとどくようになり……、

藩ごとに分かれていた租税も軍隊も、新政府の下に一本に統一されて、国はもっと強くなる。

そんなばかなっ。

われら大名の祖先が苦心して築き上げたこの土地を、なぜ政府に取られるのじゃ!!

と、いきり立つ大名たちが出るのを予想して、西郷はいち早く……。

朝廷直属の強力な軍隊（ご親兵）を作った。そして西郷は参議に任命された。

*薩長土の兵を集めたこの八千人のご親兵こそ、新政府の支えじゃ。

＊薩長土…薩摩藩・長州藩・土佐藩。

ザザッ
ザッ
ザッ
ザッ

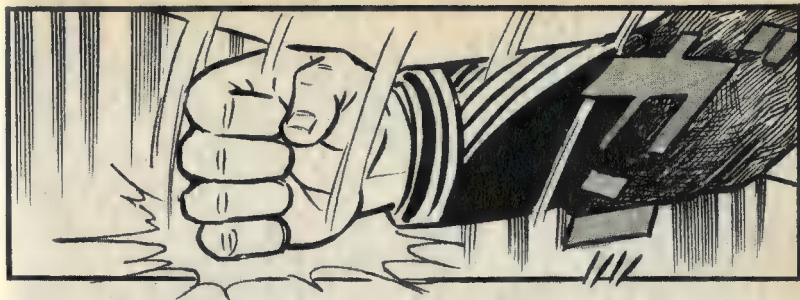
首相とは申せ、この三条実美は公家じゃ。戦の経験はない。
それはこの岩倉とても同じです。
さ、西郷君、廃藩置県はやり過ぎではなかったか？

心配することは、ありませんっ。

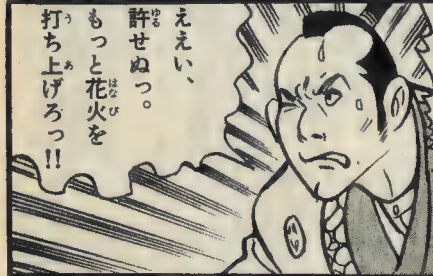
反対する者があれば、わたしが親兵を引き連れて打ちつぶしますっ！

この西郷のひとことでだれも何も言えなくなった。廃藩置県こそ西郷がやった大事業であった。

ありがとう吉之助さん。よく言ってくれた！

いかにも西郷さん、みごとでした！廃藩置県は、新政府の夢でした。これでこそ日本は、新しく生まれ変わったのじゃ。
一蔵どん、木戸さん、だがまだ……。

そのころ鹿児島の錦江湾では、ときならぬ花火が次々とあがった。

薩摩藩の実権をにぎっていた、島津久光である。
お、おのれ、西郷と大久保めっ!

家臣のくせに、廃藩置県などと申して、藩をなくすとは何ごとぞっ。
ええい、許せぬっ。もっと花火を打ち上げろっ!!

二人を手討ちにしてくれるわっ!!
そもそも新政府は、このわしが討幕運動を応援したからできたのだぞ!だのに明治維新とは、大名にとってはこんな結末だったのか!!

西郷隆盛と大久保利通

歴史コーナー②

廃藩置県エピソード二話

一八七一年(明治四年)、明治新政府は廃藩置県を行いました。しかし、この実施までには、いろいろな裏工作がありました。

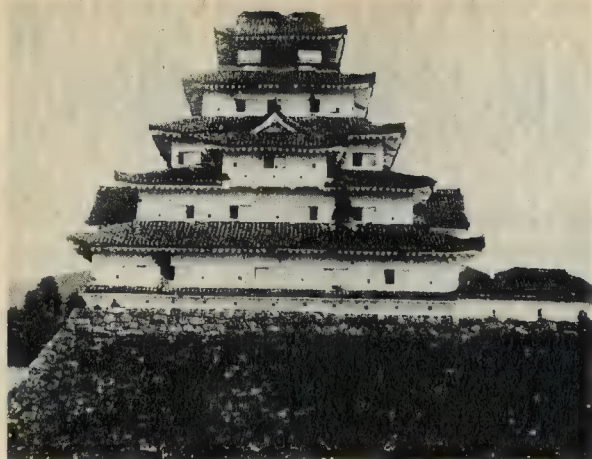
約八千人の政府軍があとおし

廃藩置県は、それまでの藩による政治をやめて、国が直接人民を治めるというものです。こうした新しい考えに不満を持つ人々も少なくありませんでした。しかし、軍隊をもたない政府には、反対派をおさえる力はありません。そこで西郷は、政府の軍隊をつくること

●75もあった府県(1871年11月)

府とよばれたところ
県とよばれたところ

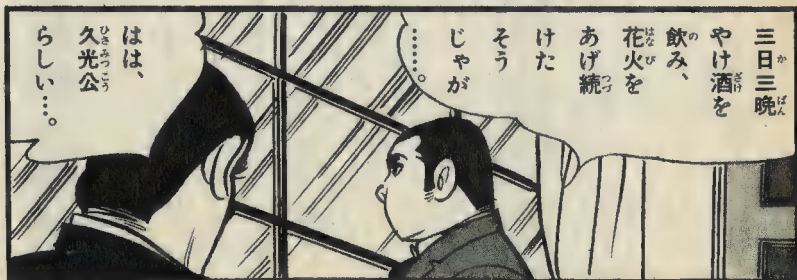
酒田
足羽
新潟
秋田
金沢
柏崎
七尾
相川
青森
大分
豊岡
安濃津
大津
小倉
北条
鳥取
京都
新川
福岡
一ノ関
岡山
長浜
盛岡
大阪
長野
三潴
深津
敦賀
山形
伊万里
島根
仙台
置賜
若松
浜田
盤前
長崎
広島
飾磨
筑摩
群馬
福島
山口
岐阜
茨城
熊本
松山
兵庫
山梨
宇都宮
奈良
新治
八代
高知
堺
栃木
宇和島
静岡
印旛
香川
入間
鹿児島
度会
額田
足柄
埼玉
名東
都城
美々津
和歌山
名古屋
浜松
神奈川
東京
木更津

にしました。
薩摩藩・長州藩・土佐藩から集められた約八千人の政府軍が生まれました。この力をバックにして、廃藩置県が行われたのです。

▲朝敵藩と見なされた会津藩の鶴ヶ城(1874年撮影)。「会津」の名前は残らず、「福島県」とされた。

忠勤藩と朝敵藩

県名と県庁所在地名が同じ鹿児島県や山口県、高知県、佐賀県などは、討幕派の中心となって明治維新を成功させた藩です。これら天皇に忠勤をはげんだ藩には、正式の藩名がそのまま県名とされました。しかし、東北や北陸で、朝廷に反抗した朝敵藩だったところは、県の名前から藩名を消され、新しいものに変えられました。

はじめは三府三百二県

一八七一年七月に廃藩置県が実施されたとき、旧藩の区域をそのまま県にしたので、全国は三府三百二県に分けられました。しかし、四か月後には三府七十二県に整理されました。

大久保欧米視察の旅へ

それで一蔵どん、久光公は…。
ああ……。

うーむ……。

考えてみれば、久光公も不運なお方じゃ…。

わたしは、そのうちおわびに行きます。

*木戸、伊藤…長州藩（山口県）出身の木戸孝允と伊藤博文のこと。

それに欧米十二か国を回るには、予定では十か月もかかります。留守の間は吉之助さん、あなたしかたよれませんからね。
……しかし…。

できたばかりの新政府を放っておいて、政府首脳が国を留守にするとは…。
今はまだ、難問が山積みの大事なときではないか…。

いや吉之助さん、これは新生日本の急務じゃ。
このさい外国の進んだ社会の仕組みや、文化を見て……。

こうして一八七一年(明治四年)十一月、岩倉、大久保、木戸ら一行は、横浜からサンフランシスコに向けて出航した。随員が五十名、留学生が五十名という大がかりなものであった。

大久保さん、留守中はだいじょうぶだろうな。

十二月、一行はサンフランシスコに着き、四万人の市民の大かんげいを受けた。

わ！まいったな。これがかんげいのキスというものでござるか。

オー、ウエルカム！ニッポンキモノワンダフルネ。

一行がワシントンに着いたのは、明けて明治五年一月の末だった。

アメリカ大統領グラントハ、ショクンヲココロカラカンゲイシマス。

おー、それはかたじけない。ところで、条約の改正についてでござるが……

さらに七月、イギリスにわたると…。

うーむ。日本は百年はおくれている！とてもはずかしくて条約改正など言えないぞ。

仕方がないさ。このさい、欧米の政治の仕組みや文化を、しっかり勉強して帰ろう。

さらに大久保らはプロシア(ドイツ)に行き、プロシアの国を統一した鉄の男とよばれる、高名な政治家ビスマルクに会った。

マズ実力ヲヤシナッテ、ソノ力デ自分ノ国ヲ守ル。ソレガ国ヲツクルモトデス。

このことばに感動した大久保は、それまで考えていた文明開化の政策をさらに発展させ、「富国強兵」を政策の柱として、力をつくすことになった。

*鎖国…外国との関係を一部または全部閉鎖すること。

西郷隆盛と大久保利通

歴史コーナー③

幕末・明治の留学

幕末から明治にかけて、進んだ西洋の文明を学ぼうと、数多くの留学生たちが海をわたっていきました。

留学に力を入れた薩摩藩

幕末、西洋の新しい思想や技術を身につけるため、長州藩や薩摩藩などは、苦しい藩の財政から費用を出して、留学生を海外に送り出しました。中でも薩摩藩は、一八六五年に森有礼ら十九人をイギリスに留学させました。その費用は、現在のお金におきかえると、三

▲1871年から1873年にかけて欧米視察におもむいた岩倉使節団。右から大久保利通、伊藤博文、岩倉具視（全権大使）、山口尚芳、木戸孝允。

（大久保利泰氏蔵）

▲津田梅子。最初の女子留学生としてアメリカへわたったときは7才だった。帰国後、女子英学塾（現在の津田塾大学）をつくり、英語教育につくした。

（津田塾大学）

▼日本で初めての女子留学生。アメリカへわたった彼女たちの多くは、10代前半だった。（右から2人目が津田梅子）

億円以上にもなったといわれています。

また、幕府は一般人が外国に行くのを許していなかったので、表向きは南の島への出張ということにしました。

明治政府も熱心だった

明治になると、政府は日本の近代化をおし進めるには、優秀な若者を育てる必要があると考え、多くの留学生を欧米に送りました。

一八七一年、岩倉具視らが欧米に派遣されると、五十人の留学生が同行しました。その中には、のちに津田塾大学を創立した津田梅子をはじめ、女子もふくまれていました。

かれらは帰国してから、社会の各方面で活躍しました。また慶応義塾を開いた福沢諭吉も、これはと思う子弟を経費を出して留学させました。

文明開化

*明治二年…西暦一八六九年。

明治二年、東京・横浜間に電信が開通した。

それに、活字というものが出来て読みやすいし、そのうえ、いろんな話がつまっているな。えーと外国では昨年、スエズ運河が開通してと……。多摩川では、さるが木から落ちて水死したか。さる死にだなこりゃ。

明治三年、日本で最初の日刊新聞「横浜毎日」が出され、その後「東京日々」「郵便報知」などの新聞が発行された。

こら
おまえ、
そんな
ところで
何をして
いる！
へへ、何
静岡のおっか
さんに、おこづかい
送れって手紙を
出してます。

ああして
結んで
おけば、
すぐ
着くんで
しょう。
ばかもん
あれは
電線
じゃ！

郵便は
あっち！
明治四年、東京・大阪間に、
郵便が始まった。

あ！
いけない。
あなた、
切腹だけ
は止めて
ください。
ばーか、
切腹ではない。
こうしてまげを…

ばさりと
切り、

へへ、
油を
つけて
と…。

こう
なでつける
と…。

どーだ、
いい男
だろう。
これが
近ごろ
はやりの
ザンギリ頭
じゃ。

明治四年、政府は断髪・廃刀令を出し、まげを切り、刀をささないことをすすめた。

おや、だんな。みょうにふらふらなさって、どこか悪いのですかい。

いや、せっしゃその…刀をすてたので、何だか体の重心がとれなくてな…。

おまけにくつずれができちゃって、いててっ。

文明開化とは、いたいものじゃの。

はは、ザンギリ頭をたたいてみれば、文明開化の音がするか。

明治時代になると横浜、東京を中心に、西洋風の生活が始まっていった。

そして明治五年になると……。

ブオーッ

シュッパ
シュッパ
シュッパ

うわーっ。陸蒸気が来たーっ。

いけねえ、かみつかれるぞ。にげろーっ!!

ゴー
ゴトンゴトン
ふー。やれ、やれ。……、何とか助かったね。

でも、はき出すけむりのすすで、
はは、真っ黒けのけじゃ。
新橋と横浜の間に鉄道が開通し、蒸気機関車が走った。

またそのころ。
わーい、大変だ、大変だーっ!!
あら、また来たよ大変男…。
知ってるよう。

銀座には赤レンガの建物が立ちならび、街にはガス灯がともった。

ふーん。これがガス灯か…。

おとっつあんの頭より、よく光るな。

これが文明の光じゃよ。

家の中にもガラスや石油ランプが使われ、銀座では鉄道馬車が走り、東京や横浜では風俗や食べ物にも西洋風が取り入れられて、急速に近代的になっていった。
これらを文明開化とよぶ。
へーえ、人力車に鉄道馬車か。
やれやれ、おれたちはもう、終わりだな。
しょげるなよ。おじさん、これ今度できたあんぱんだよ、お食べよ。

さあ、どいたどいた、はいよー。
世の中、えらい変わりようじゃ。
ああ、明治のご一新と言ってな、これからの日本人は頭を切りかえて、何事も新しくしていかなければいけないのだよ。

さてと、銀座は歩いたしと……。おなかがすいてきたな。これ、金太や、おそばでも食べて行こうか。
そばだって…。おとっつあん、それそれふるーい！
屋

へーえ、じゃ何が食べたい。
牛だよ。ほれ、あの店だ。
当世流行スキヤキ

はは、何だ、スキヤキか。あれならあたしも大好きだ。
へーえ、おとっつあん食べたことあるの。

ああ。こう、ほどよく焼いて、くしにさしてだな、たれをたっぷりかける…。

はは、やっぱりなーんにも知らないね。それはうなぎのかばやきだろう。牛はにるの!
うん?にるのか。ま、スキヤキは店によってそれぞれちがうらしいからな。

へへ、じゃこのふんすい酒はどうだい?
あ、それフランスの酒だろう。この間、飲みましたよ、うまかったねえ。

へーえ、このビールをねえ。
ポーン
シュー!
わー、ぺっぺっ。なるほどふんすい酒だーっ。
まだ食べるかい。
いや、ギュゥ(牛)はモーたくさんじゃ。

*学制…近代的な学校制度を決めた基本の法律。

そしてこの年（明治五年）、政府は*学制を定めて、全国に小学校などをつくることにした。

おじさん、この字は何と読むか知ってるかい？「アメリカ」だよ。

へーえ、あめやねえ。ぼうやは学校を出て、アメヤになるのかい。

*銭…100銭で1円。このころの警察官の初任給が4円。

ええっ、そ、そんな！おいらのかせぎは月に一円五十銭だぜ。三人子どもがいるから、それじゃめしが食えなくなる。

だっておまえ、これは義務教育といってな…。

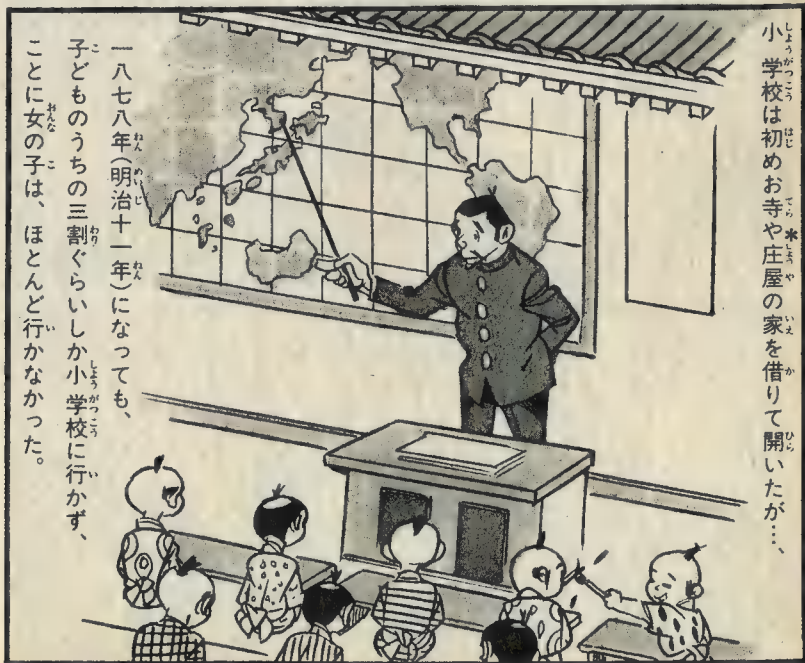
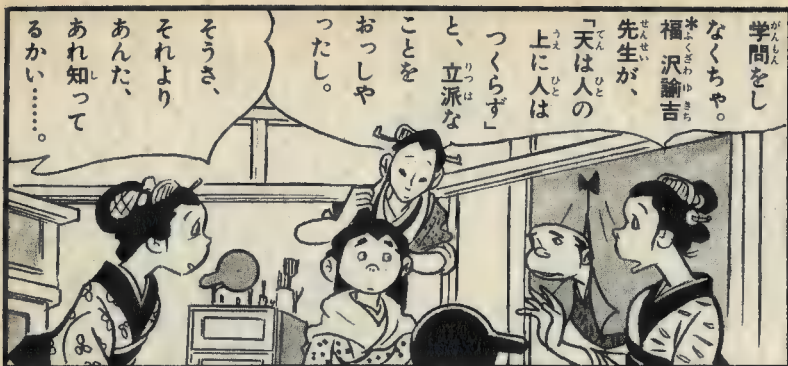
国の命令でみんな学校に行くことになったんだ。

そんなあほな！じゃ、一家心中しろっていうのかい！

＊庄屋…江戸時代に村などを治めた人。

と、ついに一揆まで起こった。

小学校は初めお寺や＊庄屋の家を借りて開いたが…、

一八七八年（明治十一年）になっても、子どものうちの三割ぐらいしか小学校に行かず、ことに女の子は、ほとんど行かなかった。

*福沢諭吉…中津藩(大分県)出身の教育家。慶応義塾を開いた。

大変だ、大変だーっ。明日から暦が一か月、早くなるんだってようーっ。

ええ！じゃ、今夜のうちにもちつきかい！

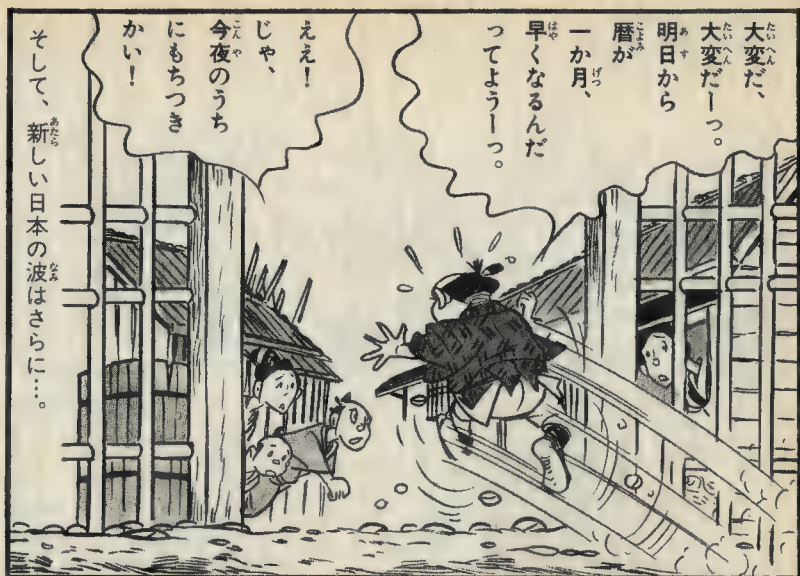
そして、新しい日本の波はさらに…。

えー！あ、あっしらに名字が!?

そうじゃ。四民平等と言ってな、おまえたちにも武士と同じに名字がつけられることになった。

で…その、おいらの名字はなんとなるんだ？
そうだな、おまえのところの山には時どきくまが出るから、熊山がいい。

えーっ！ちょっと、待ってくださいな。おいらの名は寅吉ですぜ！
はは、それなら「くまやまとらきち」だ。強そうでいい名じゃないか。はい、次は…。

ああ、おまえのところのかきはうまいから、柿木がいいだろう。
へえ、なるほどね。
……。

西郷隆盛と大久保利通

歴史コーナー④

大人気だった人力車

明治時代の人々のタクシーともいえる人力車。人力車が生まれたのは一八七〇年ごろ、今から百二十年前の東京でした。

もと武士がつくった人力車

幕末に藩主に従って江戸に出てきた福岡藩士和泉要助は、西洋馬車を見てびっくりしました。そして、馬の代わりに人が車をひいたらどうだろうと考えました。

もともと発明の才があった要助は、いろいろ工夫をこらして人力車をつくりました。人

▲かごにくらべて速くてめずらしいので、人力車は大評判となった。雨の日などは、客はかさをさして乗ったという。

に引かせて東京の町を走ると、たちまち大評判となり、要助は二人の友人とともに人力車事業を始めました。これが人力車第一号です。

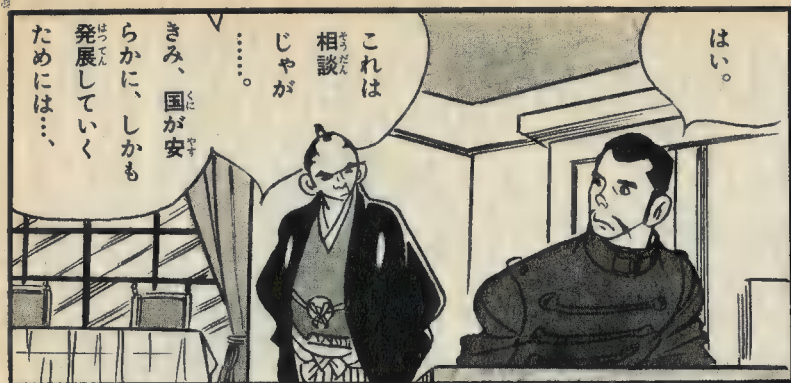
わずか六年で二万五千台に

乗り物といえば、かごくらいしかなかった時代のことです。人力車はあちこちで引っぱりだこになり、要助たちのほかにも、人力車事業に乗り出す者がたくさん現れました。六年後の一八七六年には、人力車の数は、東京だけで二万四千四百七十台にもなったというほどです。

こうして全国に広まり、人々の足となった人力車は、アジア各国にも輸出され、手軽な乗り物として親しまれるようになりましたが、路面電車の広まりとともにさびれ、姿を消していきました。

▶レンガ造りの西洋館がならぶ東京・銀座。馬車といっしょに走る人力車のうしろに、ガス灯も見える。

徴兵令出される

明治二年(一八六九年)、戊辰戦争で大活やくした
長州藩の 天才的軍略家大村益次郎は、 新政府の
兵部大輔(軍務次官)になったが、
おい
山県君。
ある日、兵部省の役人をしている同郷の後輩山県有朋を呼んだ。

はい。
これは相談じゃが……。
きみ、国が安らかに、しかも発展していくためには…、

何が一番必要だと思うかね。
はい、もちろん強い軍隊を持つことです。

さよう、国家がほろびるのも発展するのも、みなその国の軍隊が強いか弱いかにかかっている。
はい。

そこでじゃ。日本が強い国家になるためには、強い兵隊をたくさん持つことが必要だ。
つまり、日本国全体を守る兵隊だから、今いる各藩の士族だけではとても足りない。

そこでわたしは国民皆兵を思いついた。
ほほう、国民みんなが兵！

さよう、農民町民といえどもかれらにちゃんとした洋式の訓練をしたら、士族より強い兵士ができるにちがいない。

なるほど
我われ
長州人には、
長州征伐
に来た
徳川幕府
の連合軍を
農民を
集めた
奇兵隊が、
みごとに
うちやぶった
経験が
ありますな。
わしが
奇兵隊を
つくった
高杉晋作
じゃっ。
そーれ、つっ
こめーっ!!
うわーっ。
ものすごく
強いやつらじゃ。
ありゃ何者だ!?

農民や町民やふつうの人の軍隊、つまり民兵がですな。
あちらこちらにできても、政府に向かって来たらどうします？
近ごろ続発する世直し一揆などの味方にでもなれば、外敵よりおそろしい軍隊になりますぞ。

いや、これは各藩や農民、町民に勝手につくらせるのではない。
国民に税金をかけるのと同じように…。

日本国民の義務として、兵役につかせるのだ。
しかもその軍隊は…。

外国と戦うだけでなく…、
農民や町民の暴動、あるいは、不平士族の反乱をおさえるためにも使うのだ。

しかし大村はこの国民皆兵による常備の軍隊をつくる前に、これに反対する士族におそわれ、一八六九年(明治二年)十一月になくなる。だがその後に、この大村益次郎は日本陸軍の創立者として、今も東京・九段の靖国神社に銅像として立てられた。

山県はその後ヨーロッパ各国の軍隊を視察して帰り、大村のあとをついで着々と軍隊の仕組みを変え始めた。
よーし、これでよしと。できたぞ。

カッ
カッ
カッ

バタン
山県さん！
おお、これは桐野さん。

農民を集めて軍隊をつくるそうじゃな!
はい。

ばかな! そんな人形の寄せ集めのような軍隊が、なんの役に立つのか!

……。

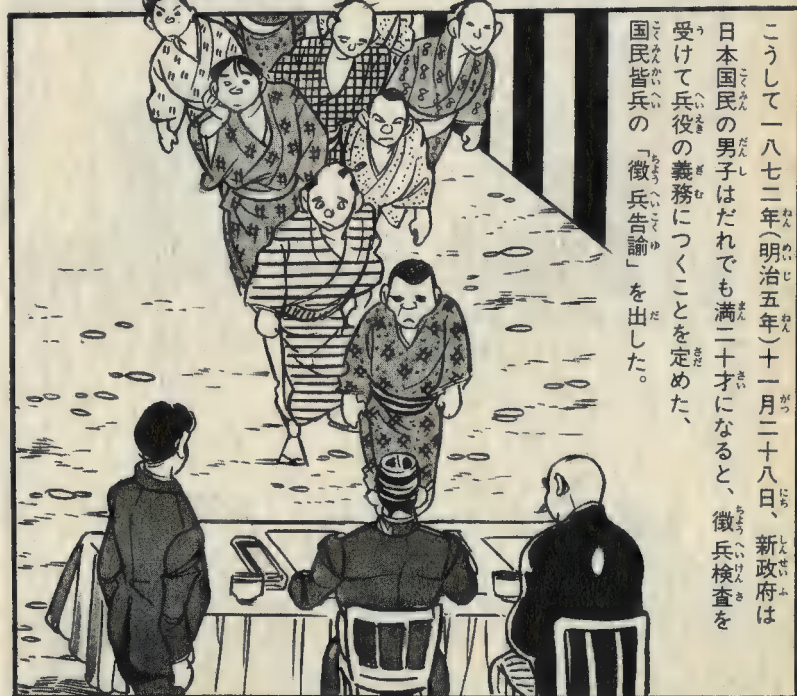
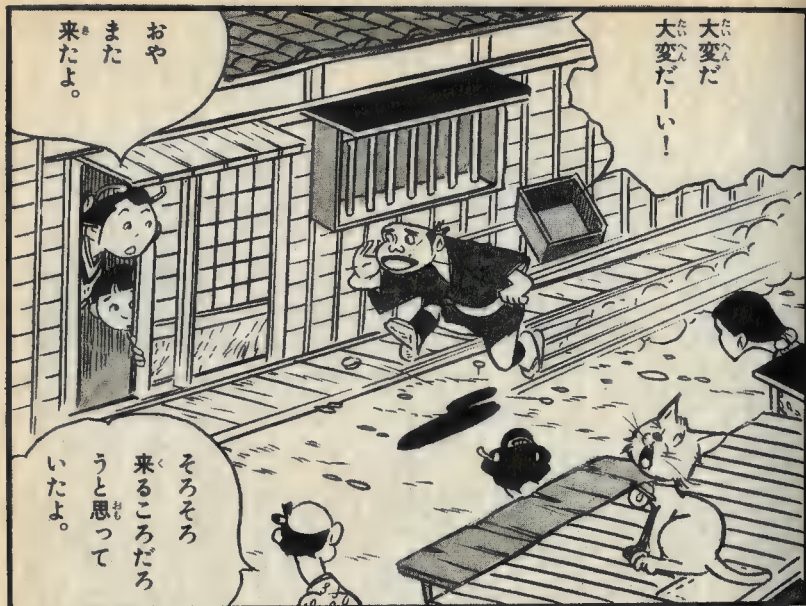
わしたち薩摩藩の武士たちは、小さいころより武術にはげみ、気性もはげしく薩摩隼人と言われてきた。そのわしたちが、農民や町民といっしょにされてたまるか!!

*谷干城…土佐藩(高知県)出身の軍人政治家。西南戦争で活やく。

こうして一八七二年（明治五年）十一月二十八日、新政府は日本国民の男子はだれでも満二十才になると、徴兵検査を受けて兵役の義務につくことを定めた、国民皆兵の「徴兵告諭」を出した。

大変だ大変だーい！

おやまた来たよ。

そろそろ来るころだろうと思っていたよ。

あたりぃ！
そうとも
あんた、
なかなか
教養が
あるな。
あるとも、
新政府が
今度
出した
徴兵令
とかいう
おふれでは
……、

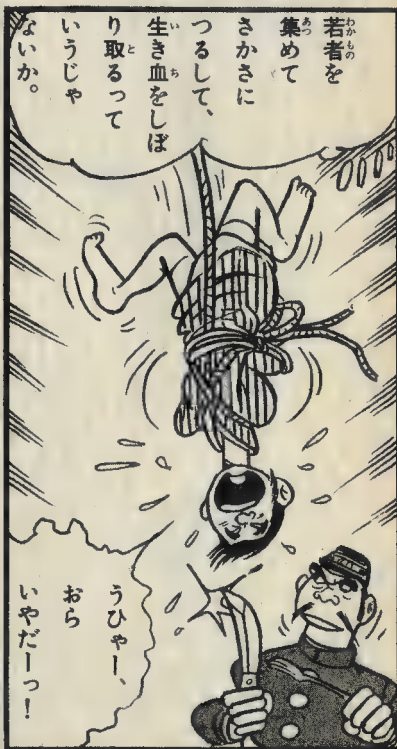
若者を
集めて
さかさに
つるして、
生き血をしぼ
り取るって
いうじゃ
ないか。
うひゃー、
おら
いやだーっ！

その血を
西洋人に
売るそう
だぜ。
なーる。
それがあの
ブドウ酒とか
いう赤い酒か。

とんでも
ねえっ。
大事な
息子を二年も
三年も軍
隊にとられて、
たまるかい！

徴兵反たーい!!

新政府反対。

何がご一新じゃ！これでは、貧乏人は死ねと言うのかーっ！

この騒動は血税一揆といって、各地に広がって行った。

ばかなっ！
血税とは、
誤解も
ひどすぎ
る!!

担当の
役人は
何をして
いるっ。
もう一度、
国民に
対し
宣伝を
やり
直せっ!!
ははーっ!

しかし
……。
はあ?

これは、
ただ
血税の
誤解
だけではありま
せんぞ
…。

!?

国民は、われわれがつくった新政府をご一新とよび、……
ご一新になれば世の中が変わり、物価も税金も安くなり、

住みよい楽しい世の中になると、期待しておりました…。
ところが、それが裏切られ、そのうえ学制だ徴兵令だと…。これでは国民がおこるのは、もっともです。

だが西郷さん！それらは新国家には、すべて必要なものですぞ！

それはわかっております……。
ただ、わたしの言いたいのは…。

国民にばかり苦しい思いをおしつけて、それを命令する政府の役人は、何をしておるかということです。

昨日まで下級武士だった者が、役職についたとたん…、
わしは今日からえらい役人だぞ!

えらい役人は、もっとでっかい家に住まねばならん。

それに女中もたくさん必要じゃ。オーッホン!!ただいま帰ったぞ。
お帰りなさいませ。

ばかもん、めざしが食えるか!たいじゃ、たいを食わせろ!
へへーー!

このようなことで何が新政府ですか！何が明治維新ですか！

わ、わかった、西郷さん！今日はそこまで……。
そ、それより、もうお昼じゃ食事にしましょう。

どーぞ。おぬしらは、いつものように洋食を食べに食堂にお行きなさい。おいはこれが一番よか。
西郷の昼めしは、いつも自分でにぎってきたおむすびで、ほかの高官たちはそのため、昼食時には、こそこそとみんないなくなったという。

西郷隆盛と大久保利通

歴史コーナー⑤

"政府の軍隊"についての論争

明治新政府は、国民皆兵として徴兵令を出しました。それを実現するためには、数々の論争が行われました。

長州派対薩摩派

一八六九年、政府軍をつくるにあたり、新政府は真っ二つの意見に分かれました。木戸孝允・大村益次郎らを中心とする長州派は、国民からの徴兵による軍隊を主張したのに対し、大久保利通ら薩摩派は、薩摩・長州・土佐の精鋭部隊を中央に備えることを主張しました。

この論争は、実は新政府の当面の最大の敵をどうとらえるかのちがいでもありました。長州の木戸は、諸藩の不平士族こそ政府を危うくさせると考え、大久保は百姓・町民が政府からはなれ、そむくことを心配していたのでした。

論争は数日間におよびましたが、結局、大久保ら薩摩派の主張が通って、薩摩・長州・土佐の三藩の兵が中央を守ることになり、軍事関係を担当する兵部省が設けられました。

▶長州派の大村益次郎

陸軍省対太政官左院

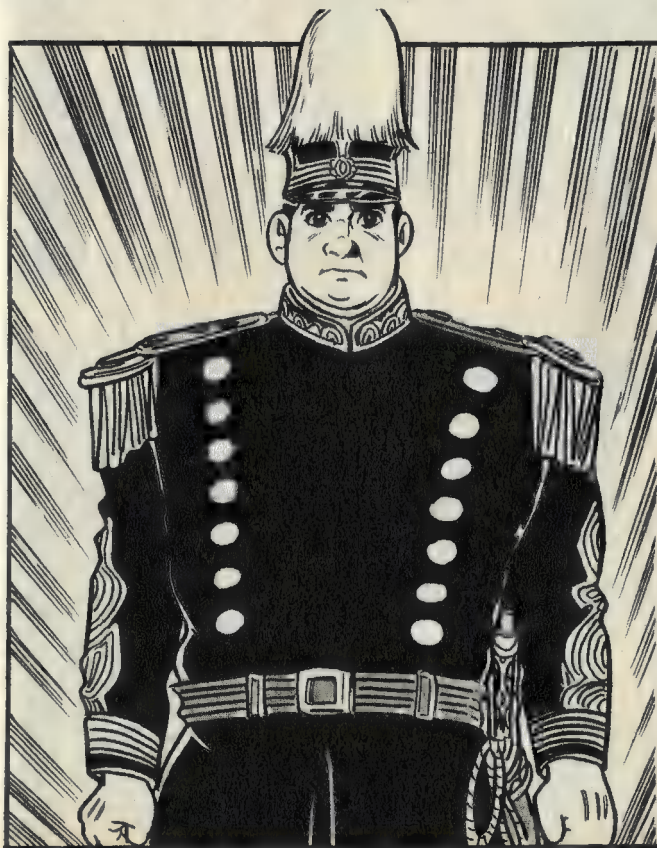
一八七二年、兵部省は陸軍省と海軍省に分けられました。陸軍省の責任者となったのが、欧米の兵制視察から帰国した山県有朋と西郷従道（隆盛の弟）でした。二人は兵制改革に乗り出しました。強力な政府軍をつくるため、士族（もと武士）を中心とする徴兵案を太政官に提出しました。

しかし、新しい法律を審議する太政官の左院は、山県の提出した陸軍省案に反対しました。身分によって兵役の差をつけるのは、四民平等の精神に反するというのです。

山県は、左院の主張を受け入れて、士族で軍隊をつくる考えを捨て、国民皆兵に変えました。こうして一八七二年十一月、徴兵の詔が発表されたのです。

▲徴兵令に力をつくした山県有朋。討幕運動では、長州の奇兵隊の幹部として活やくした。のちに2回にわたって内閣を組織した。

▲明治政府は、1874年4月、第1回の徴兵検査を行った。写真はそのとき検査を受けた男子。

明治六年の政変

明治六年五月、西郷は日本で初めてただ一人の陸軍大将に任ぜられた。

西郷は明治天皇によく仕え、その侍従には、江戸城無血開城のときに働いた、旧幕臣山岡鉄太郎を配した。

あなたなら、きっと明治天皇を強いお方にお育てできる。

は！

こうした西郷の心配りに、明治天皇も深く感服されたという。

そして同じ年の五月、太政官閣議の席に、一通の報告書が置かれた。

そのときの閣議の出席者は…

同じく、
坂垣退助

大隈重信……。

そして新たに参議になった
後藤象二郎……
大木喬任……
江藤新平の七人である。

三条卿……。
はい。

これが、
朝鮮から
来た
報告書
です。

うーむ、これは面どうなことになりましたな。
ふむ、朝鮮は、日本の新政府を、認めないと言って来たか…。

……。
はい、朝鮮は、旧江戸幕府こそ、日本の正しい支配者で…。

今の新政府とはつきあわないと、言っております。

……。

明治政府は、朝鮮と国交を結ぼうと努めたが、このころ朝鮮は、きびしい鎖国政策をしいていたので、日本の文明開化を腹立たしく思っていた。
日本はなんという情けない国になったのじゃ！
西洋人とみれば、やたらお世辞を使ってぺこぺこし
まあ、洋服ってすてき！
パンと肉を食べるのが、文化人じゃ。
たばこは西洋の葉巻にかぎるな。

＊草梁倭館…旧対馬藩が管理していた、日本の役人や商人が滞在するところ。廃藩置県後、外務省が管理。

こうした風潮の中で、日本は、それまで朝鮮から借りていたただ一つの窓口・釜山の＊草梁倭館を……。

明治新政府とやらは、勝手に大日本公館と、名を変えたそうじゃな。

……

……。

それを、わが朝鮮国に相談もなしに！

しかも、この国交を求めてきた明治政府の文書には、朝鮮をばかにしたおごりが見える！

こうして朝鮮政府は、日本政府からの国書の受け取りさえ断った。
それのみか、
朝鮮における反日感情は、高まるばかりで、ついに朝鮮国は、釜山の大日本公館に食料を供給することさえこばみ……。

もし、
日本が、
昔のように
もどらなければ、
日本人は、
わが国に
入ることを
許さないと、
書いた
日本商人
取りしまりの
命令書まで、
大日本公館に
はりつけた
そうです。

ふーむ、だとすると、これはわが国に対する、大変なぶじょくではないか……。

いや、これはわが国を敵視した態度だ！
あれほど朝鮮へは使者をつかわしていたのに、すべてむだだったか…。

ともかくこのまま放っておいたら、居留日本人の身が危険です。

ではどうだろう、日本政府は、まず、釜山の日本人を守るために、軍隊を少し送り…。

さらに、九州に大軍を配してから使者を送って、談判したら……。
おお、それはよい。それなら次の使者はむだにはならんだろう。

お待ちなさい！

！
ほう、西郷さん、何かご異議がありますか。
あります。

談判とは、話し合いでごわすぞ。
話し合いとは、平和を求めることです。
！

その平和の話し合いに、なぜ兵を出したり、軍隊を配したりする必要がごわすか！
で、ですから、それはつまり……。

その使者は、危ないのだから、軍艦に乗って行けばいい。

それもだめでごわす。
!

軍艦も兵も、つまりはおどしでごわす。しかも、このおどしは、戦争になる危険をはらんでいます。それではもはや、話し合いでも外交でもない。
では、どうしろと言われるのだ、西郷さん。

礼儀をつくせと言うことでごわす。
礼儀!?

さよう。使者はこれまでのような役人ではなく……、中央の高官とし、しかも、正装して、礼儀正しくもう一度、よく話し合うことでごわす。

ふん、西郷さんらしい……。
だがね、西郷さん。この報告書によると、もはや、その時期は過ぎていますぞ。
へたをすれば、今度行く使節は、生きては帰れないかも知れんのです。

そんな危ない使節を、だれが引き受けますか!?

し〜ん

わたしが…、

参ります。

!!

西郷はその夜、旧友の勝海舟を訪ねた。
勝はこのころ、新政府の強いすすめで、
*海軍大輔となっていた。

それで？

＊海軍大輔…海軍大臣に次ぐ次官の地位。

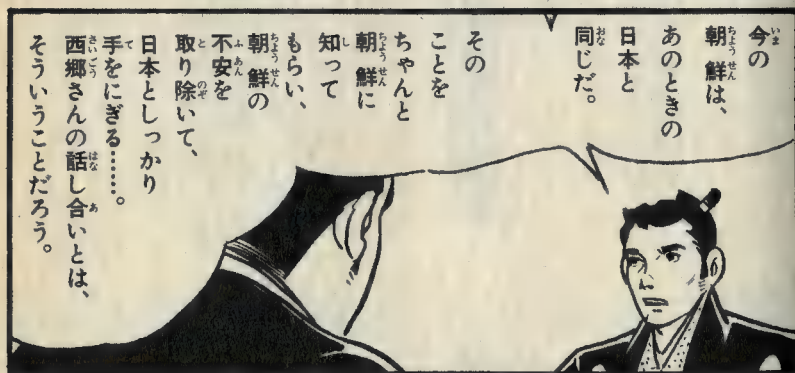
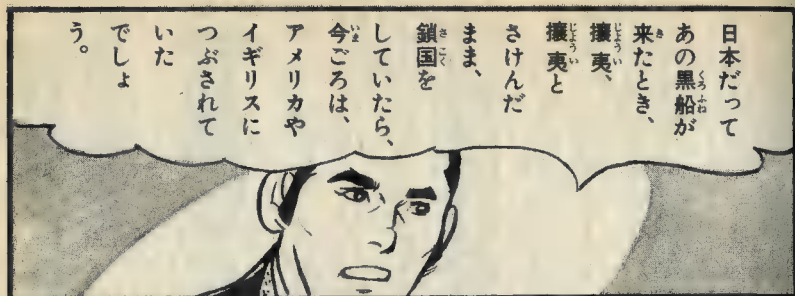
そう言えば、＊斉彬公も言っておられたなあ……。欧米列強の東洋進出に備えて、日本、韓国、そして中国の三か国は、おたがいに門戸を開いて、助け合うべきだってな……。

はい。

＊斉彬公…西郷の仕えていた薩摩藩主・島津斉彬のこと。十五年前に死亡。

日本だって
あの黒船が
来たとき、
攘夷、
攘夷と
さけんだ
まま、
鎖国を
していたら、
今ごろは、
アメリカや
イギリスに
つぶされて
いた
でしょ
う。

今の
朝鮮は、
あのときの
日本と
同じだ。
その
ことを
ちゃんと
朝鮮に
知って
もらい、
朝鮮の
不安を
取り除いて、
日本としっかり
手をにぎる……。
西郷さんの話し合いとは、
そういうことだろう。

そのとおりで
ごわす。
思えば、
戊辰の戦
では、
貴重な若者を
たくさん死なせ
ました…。
おいどんは、
この朝鮮使節が
決まったら、
その人たちの
ためにも、命がけで、
働きたいと
思っています。

歴史コーナー⑥

西郷隆盛と大久保利通

朝鮮問題と西郷の本心

一八七三(明治六年)年、政府は朝鮮問題でゆれました。そして、政府と意見の対立した西郷は、政治の表舞台を去ることになります。

人々の不満を朝鮮へ

明治維新以来、日本が国交を求めたのに対して、朝鮮はかたくなに断り続けたので、日本では怒る人もいました。おりしも国内では失業した士族や農民たちの不満が高まっており、一八六九年に木戸孝允らは、国民の不満をやわらげるため、朝鮮への武力進出を主張

▼朝鮮問題をめぐり、政府は真っ二つに分かれた。写真は、使節派遣についてはげしく論争する岩倉・大久保グループ(左側)と西郷・江藤・板垣グループ(右側)。

しました。これがいわゆる「征韓論」のはじまりです。

西郷の本心は

ところで、西郷隆盛が「征韓論」を唱えたという説がありますが、事実をよく調べてみると、そんなことはありません。

西郷は、日本と朝鮮とが仲良くしなければならないと思いました。

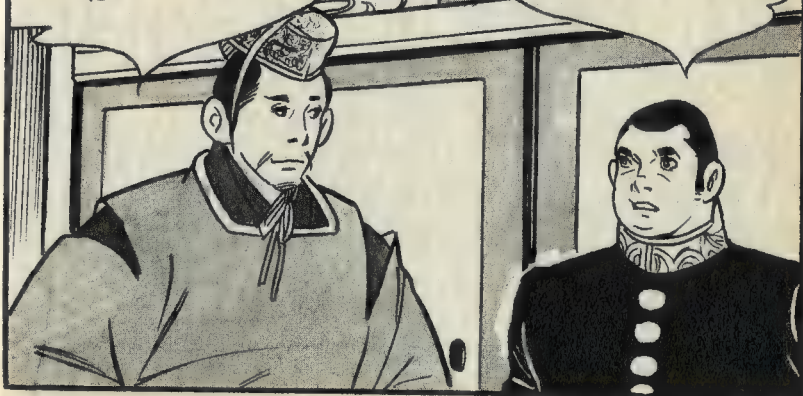
朝鮮は外交面でも、昔から日本とかかわりの深い国です。その朝鮮との国交が閉ざされているのは、おたがいの不幸であると西郷は考え、自ら朝鮮に行って、心をこめて話し合いをして、両方の国が仲良くなれるようにしたいと思ったのです。

このような西郷の立派な考えに、政府のみんなは感心し、西郷を朝鮮に派遣することが正式に決まったのです。

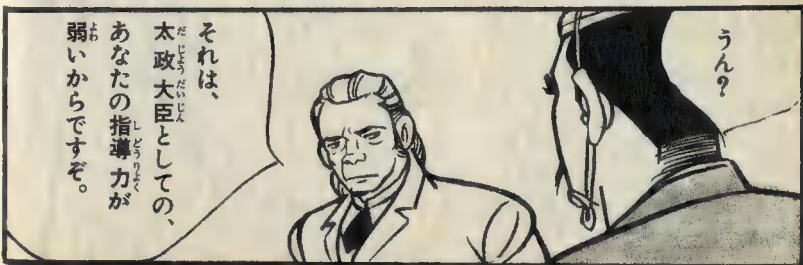
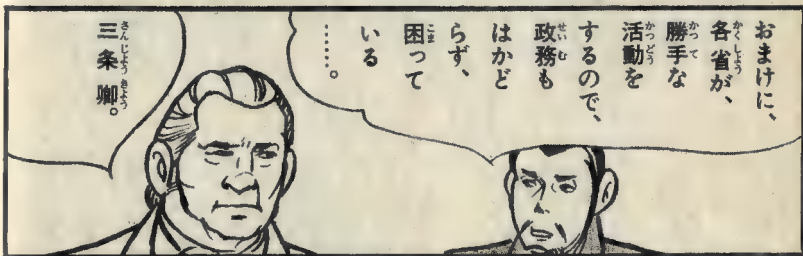
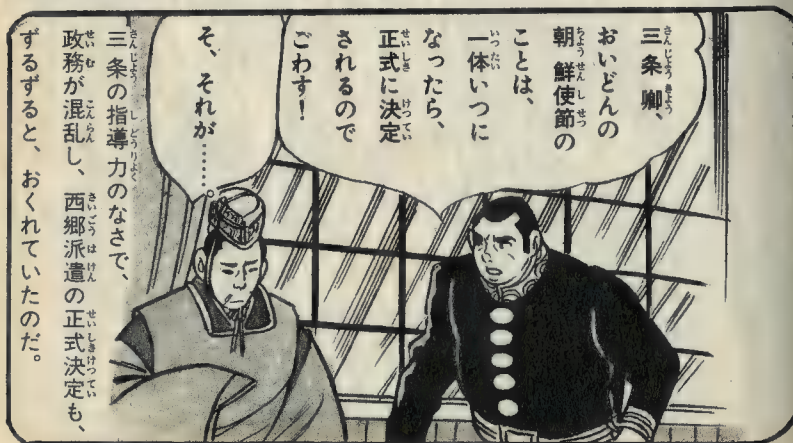
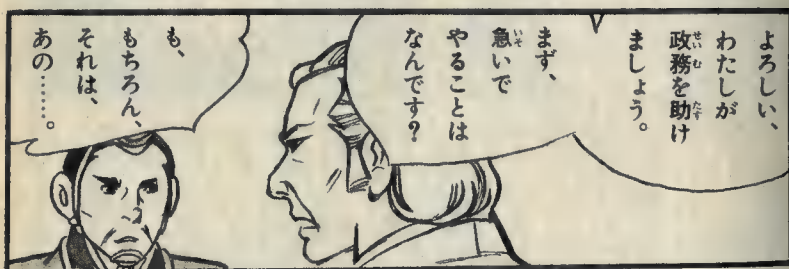
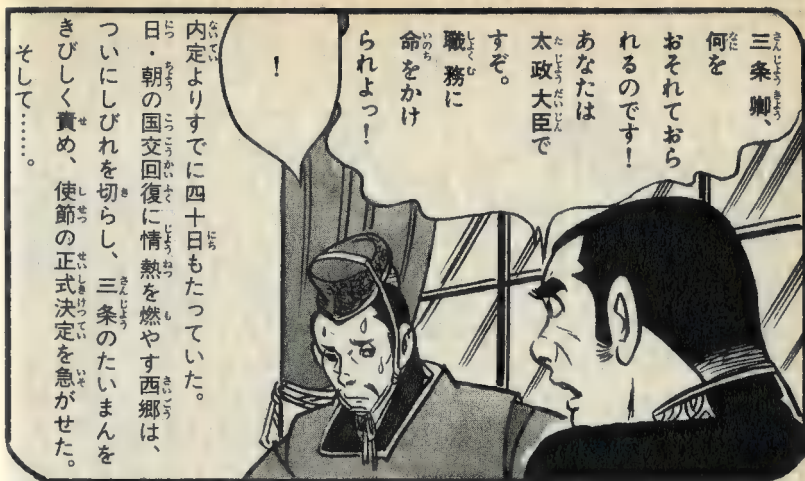
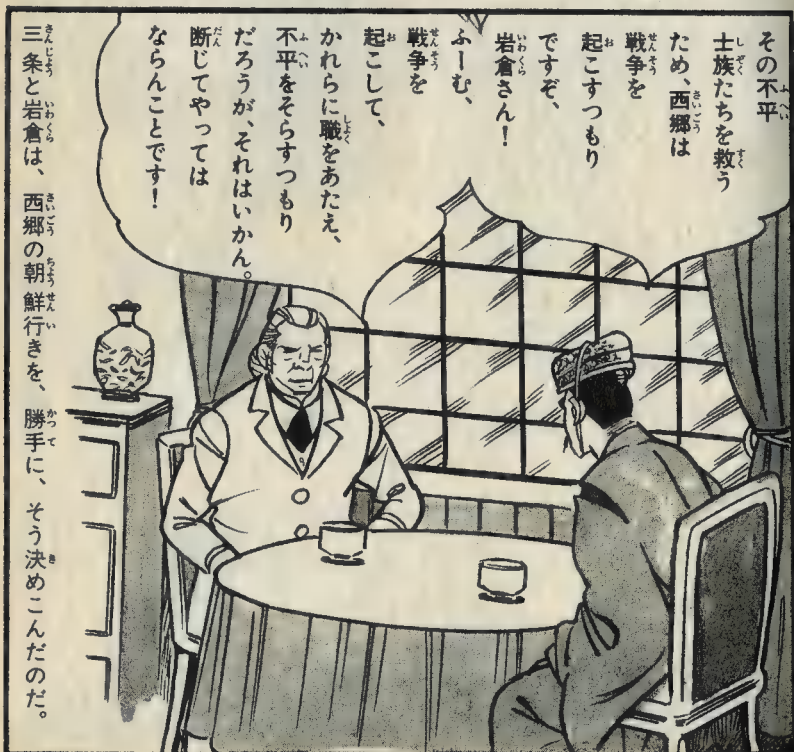
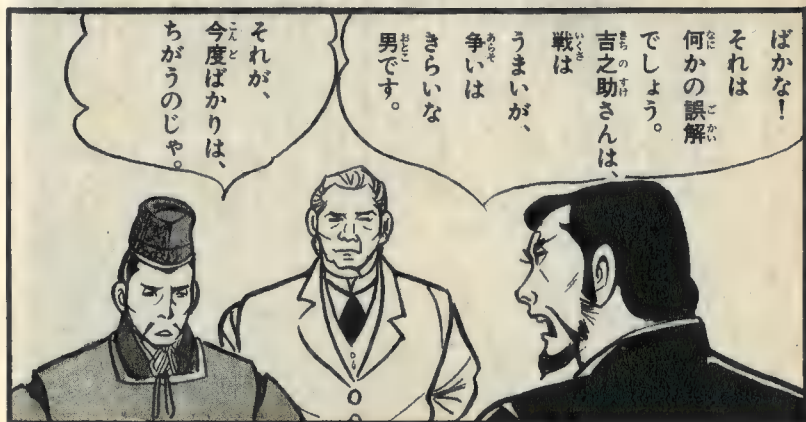
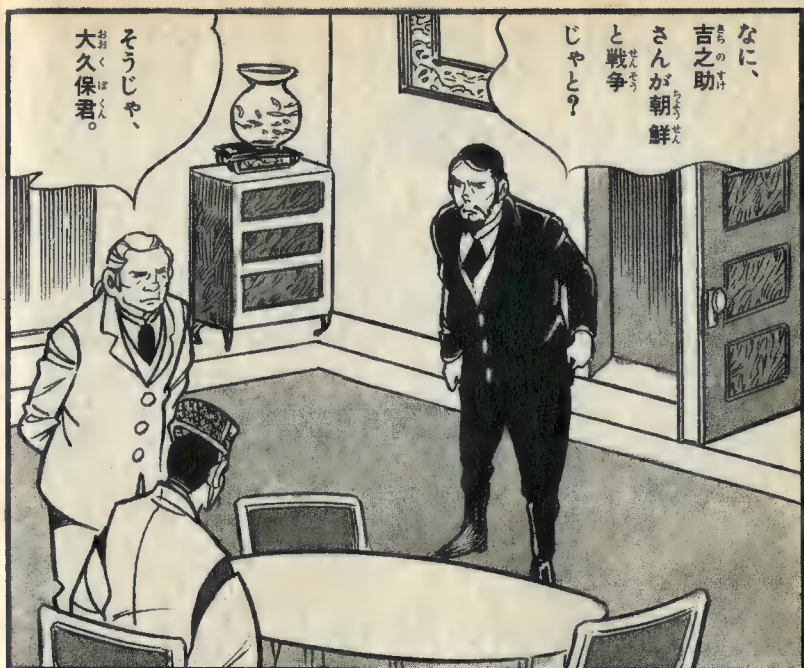
西郷は「征韓論」を唱えたわけではなかったのです。

▲1876年2月、日本と朝鮮の間で条約が結ばれ、同年5月、朝鮮使節が横浜に上陸した。　㈱雄松堂出版「描かれた幕末明治」より

明治六年の政変

こうした
西郷の
熱意は、
板垣や
三条を動かし、
ついに、
八月十七日の
閣議では、
西郷を朝鮮へ
使節として
行かせることに
決定し、
天皇の
許しも
得た。
ありがたい！
この上は
ぞん分に、
朝鮮政府と
話し合って
きます。
はい。しかし、
これは内定で、
正式の発表は、
岩倉さんが
外国から帰って
からということに
なりますぞ。

一八七三年（明治六年）九月、
欧米視察に行っていた岩倉らが帰国した……。

だが、そのころ一足先に帰国した大久保は、
夏休みをとって、温泉に行っていた。

ひさしぶりに帰ってみると、中央政府もずい分と勝手がちがい、わたしの出る幕はない。しばらくのんびりと、湯治でもしよう……。

なに、大久保君は湯治に、西郷さんは朝鮮行きにいそがしいと……。

そうじゃ、岩倉さん。先に帰国した木戸さんも、病気で、閣議には欠席しがちです。

そもそも、われらが欧米に出発するときと参議の顔ぶれも、政府のありかたも、だいぶ変わっておる……。
だ、だから、それはその…。

よろしい、わたしが政務を助けましょう。
まず、急いでやることはなんです？
も、もちろん、それは、あの……。

三条卿、おいどんの朝鮮使節のことは、一体いつになったら、正式に決定されるのでごわす！
そ、それが……。
三条の指導力のなさで、政務が混乱し、西郷派遣の正式決定も、ずるずると、おくれていたのだ。

三条卿、何をおそれておられるのです！あなたは太政大臣ですぞ。職務に命をかけられよっ！

！

内定よりすでに四十日もたっていた。日・朝の国交回復に情熱を燃やす西郷は、ついにしびれを切らし、三条のたいまんをきびしく責め、使節の正式決定を急がせた。そして……。

そこに不幸な誤解が生じた……。

そ、そうか。西郷が、朝鮮行きのことで、こんなにわたしに熱心にせまるのは……。

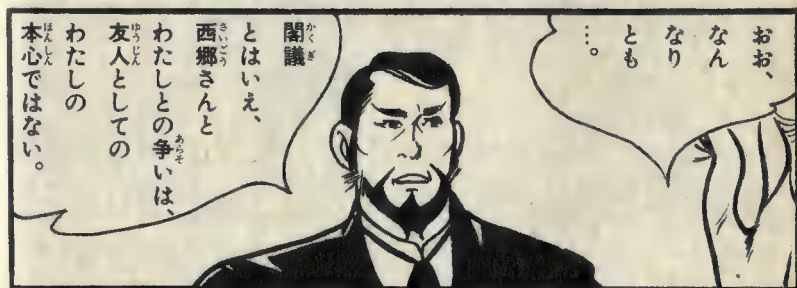
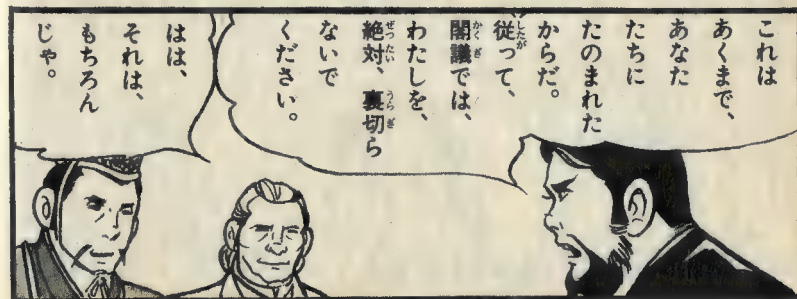
その不平士族たちを救うため、西郷は戦争を起こすつもりですぞ、岩倉さん！
ふーむ、戦争を起こして、かれらに職をあたえ、不平をそらすつもりだろうが、それはいかん。断じてやってはならんことです！

三条と岩倉は、西郷の朝鮮行きを、勝手に、そう決めこんだのだ。

なに、吉之助さんが朝鮮と戦争じゃと?
そうじゃ、大久保君。

大久保と西郷は、幼友達である。大久保は、岩倉らのたのみを、三週間も断り続けた。

しかし、三条と岩倉らのたび重なる願いで、ついに大久保も、断りきれなくなっていた。
おお！では、引き受けてくれるか、大久保君。ありがとう！
待ってください。そのかわり、こちらにも、条件がありますぞ。

おお、なんなりとも…。
閣議とはいえ、西郷さんとわたしとの争いは、友人としてのわたしの本心ではない。

これはあくまで、あなたたちにたのまれたからだ。従って、閣議では、わたしを、絶対、裏切らないでください。
はは、それは、もちろんじゃ。

こうして、
十月十四、十五両日の
閣議に、西郷使節の、
朝鮮派遣問題が、
討議にかけられた。

まず……、

わたしの言いたいことは……、

我が日本は維新をとげたばかりで、いまだ政治も経済も産業も、いや、軍備さえ満足には、整っていないということです。

それなのに、朝鮮派遣使節などとは…、
これは、もってのほかの冒険であり、かけです!

反日感情の高い今、朝鮮に行けば、何が起こるかわかりません。

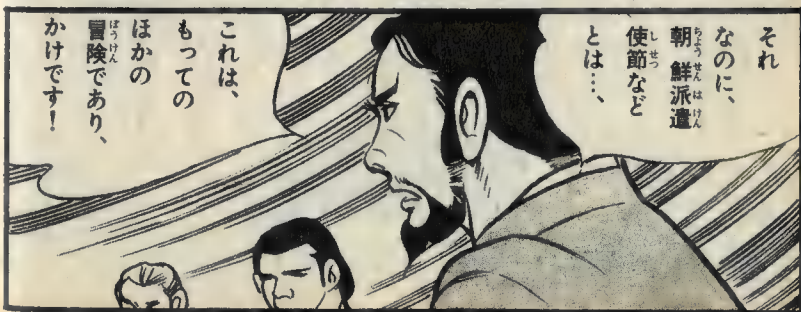
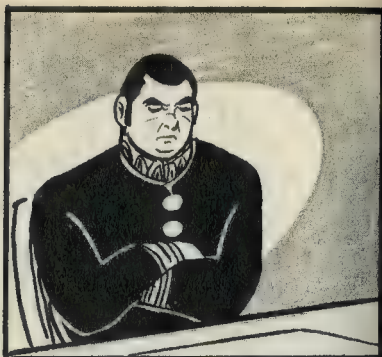
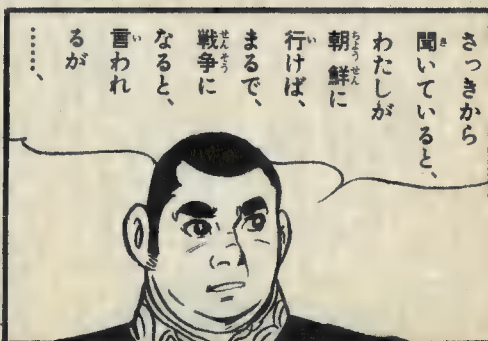
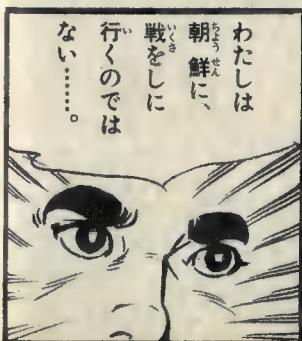
もし、派遣使節の身に、危険が起これば、……
それは、すなわち、戦争へと発展するでしょう。
そのようなことは、今の日本では、絶対さけるべきです!

大久保さん……。

!

あなたの話には、だいぶ誤解があります。

さっきから聞いていると、わたしが朝鮮に行けば、まるで、戦争になると、言われるが……、

わたしは朝鮮に、戦をしに行くのではない……。

話し合いをしに行くのです……。
兵など連れず一人で行き、たがいの誤解を解いて、仲良くしようという、話し合いです。

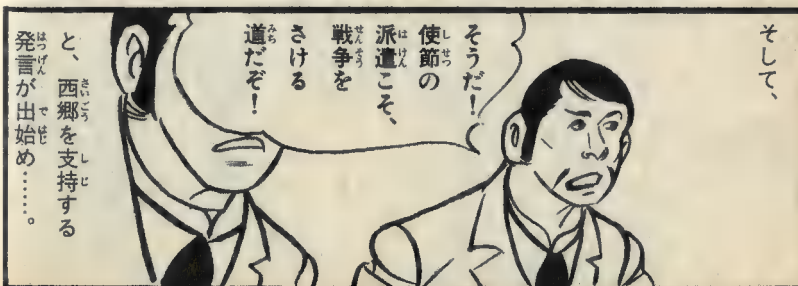
しーん

これは、ただ
ただ、日朝の国交の正常化を願う平和と道義のための使節派遣でごわす！
もめる閣議の中で、西郷は、心をこめて切々と、その必要性を説いた。

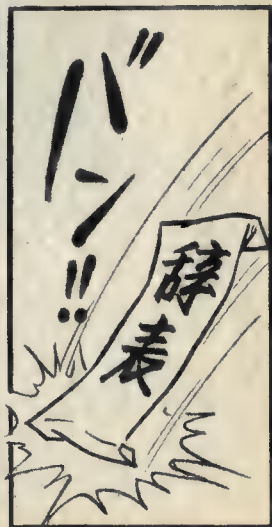
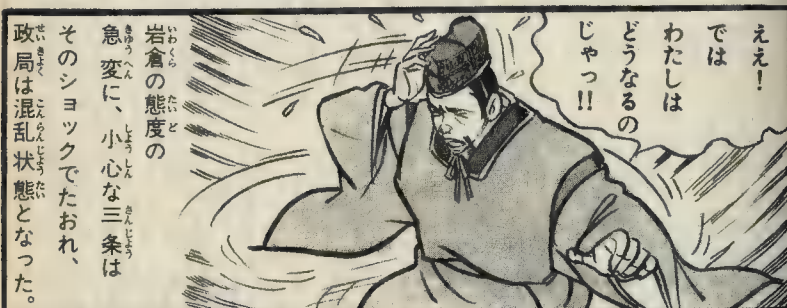
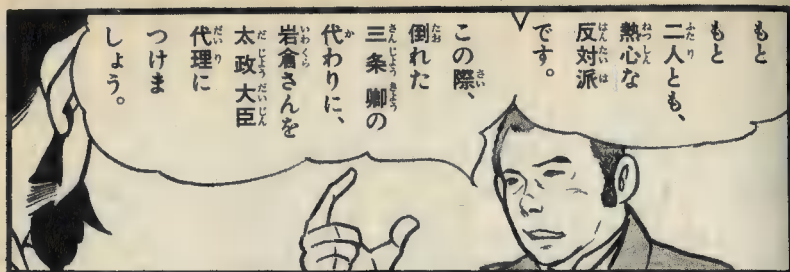
そして、
そうだ！使節の派遣こそ、戦争をさける道だぞ！
と、西郷を支持する発言が出始め……。

よろしい。我らはこの際、西郷使節の、朝鮮行きを支持しよう！
そうだ、賛成だ！賛成だ！
大勢は西郷説にかたむき…。

ついにこの賛成説にあおられて…
わ、我々もサンセイ……。
と、三条、岩倉までが、大久保を裏切って、賛成説にまわった。

うう、こ、これは……。
そして、孤立した大久保まで、大勢に従ったので、西郷派遣は、満場一ちで、正式に閣議決定となった。

だが十七日、三条邸では……。

あっ、大久保さん、こ、これは！

閣議でのあの裏切りはなんだ！わたしはあんたたちのピエロ役は、もうごめんだ！

＊策士…はかりごとのたくみな人。

かれは、かねてから、長州出身の役人の不正をとがめていた、佐賀県出身の参議江藤新平をにくんでいた。

この機会に、なんとか江藤を参議の職から降ろし、中央政府を、長州人で固めてやろう。だが、それには……。

大久保さん、閣議では、とんだはじをかかれましたが、わたしは、あなたを応援します。

ありがたいが、わたしの反対説は、もう破れたんだ。

伊藤の策略は、岩倉を太政大臣代理につけ、強引に、西郷の使節派遣をほうむれば、江藤をふくむ西郷派の参議たちが、おこって辞表を出す……。

こうして、太政大臣代理となった岩倉は、さっそく、天皇の説得にあたった。

陛下、今、西郷を朝鮮にやれば、必ず殺されてしまいますぞ。

若い天皇は、岩倉の言うまま、西郷の身を心配して、西郷の朝鮮使節派遣を取り消した。

西郷は、故郷の鹿児島に向かった。

わしはつくづく、政治がいやになった。国に帰って、百姓をしよう。

こうして、伊藤の策略は、見事に当たることになった。結局、明治六年の政変は、世にいう「征韓論」とは関係のない、派閥抗争だったのである。

ザーーッ

近衛局(このえきょく)

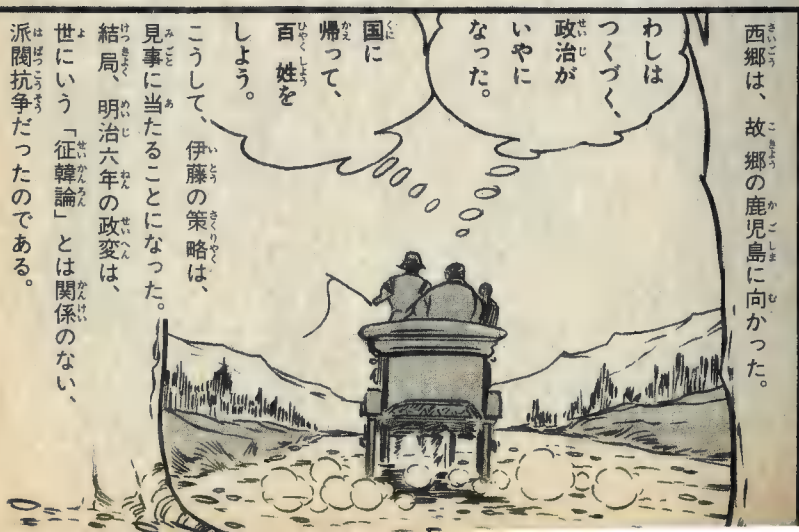
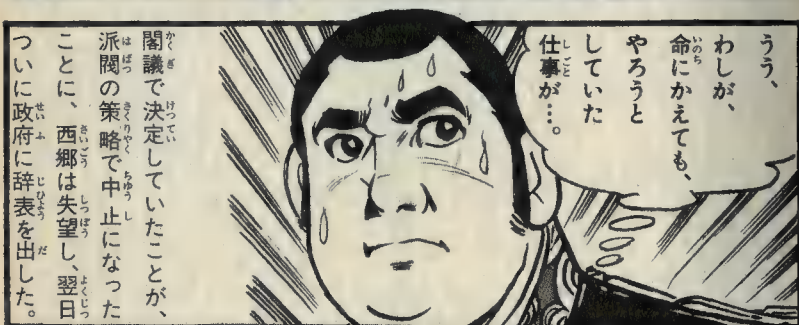
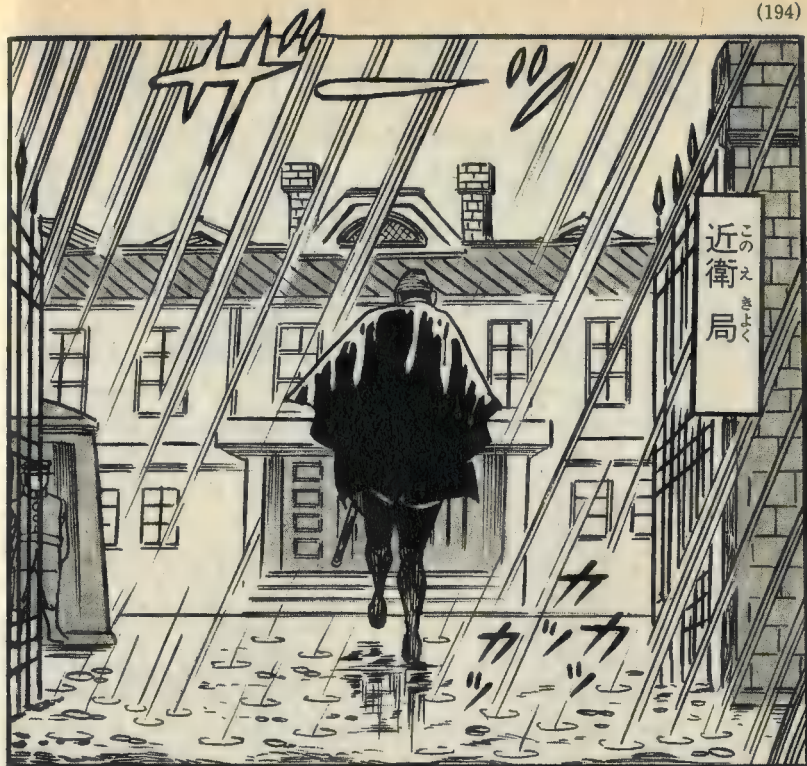
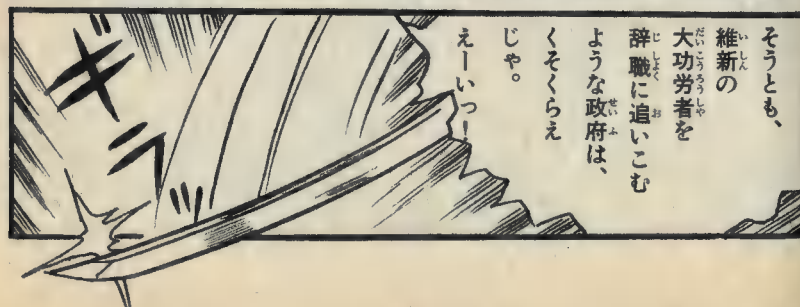
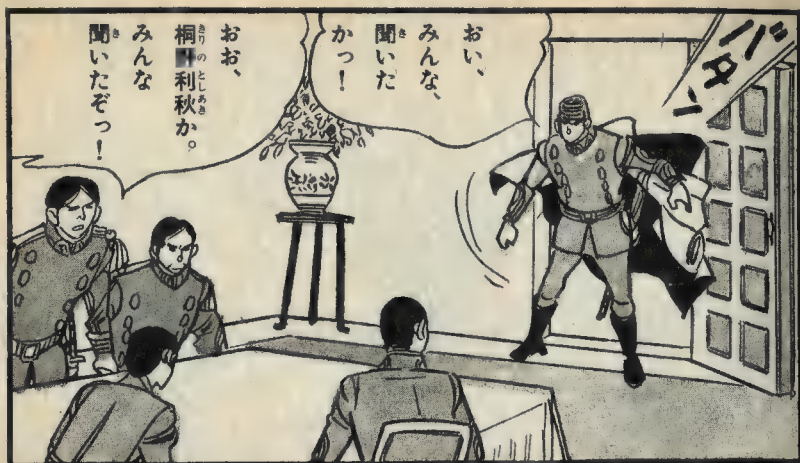
カッ
カッ
カッ

バターン
おい、みんな、聞いたかっ！
おお、桐野利秋か。みんな聞いたぞっ！

おいどんは今、新政府に辞表を出してきたところだ。
おお！おいどんも出すぞ！
おいどんもじゃ！西郷先生が辞表を出されたのならみんな出すぞっ！

そうとも、維新の大功労者を辞職に追いこむような政府は、くそくらえじゃ。えーいっ！
ギラ

なに、参議の板垣や江藤も、辞表を出したと!

はい、みんな、西郷閣下のあとを追うように、国に帰られました。

このとき、
西郷をしたって
新政府を辞めた上級軍人は、
陸軍裁判所長官
桐野利秋、
陸軍少佐
別府晋介、
同大尉
辺見十郎太、
近衛局長官
篠原国幹、
そして後にフランス留学
帰りの村田新八
という、いずれも
新政府を支える
そうそうたる
薩摩のつわ者たちだった。

明治六年のくれ、鹿児島の町は、西郷の帰国と、それに同調して、続々と東京から帰って来た人々を迎え、異様な興奮に包まれていた。

鹿児島の西郷の家では、家族や親せきがひさしぶりに集まった。

いやあ、はは、何より元気で帰ってめでたい。

あなた、県令（知事）さんが見えられましたよ。

ほう。

やあ、これは、これは、県令の大山さん、よくおいでくださった。

はい、西郷さん。うわさでは聞いてましたぞ、よく、しんぼうされましたな。

いやいや、おいどんにはやっぱり、政治は、むいてないのでごわす。はは、
ま、これからは、この鹿児島でのんびり百姓でもやってくらしましょう。

しかし……、西郷さんのいない中央政府は、うまくやっていけますかな。
はは、それなら、心配ない。

中央には、一蔵どんがいます。
おいどんは家の骨組みは建てましたが、中のかざりは一蔵どんです。一蔵どんこそ、安心して国を任せられる、立派な政治家です。

西郷隆盛と大久保利通

歴史コーナー⑦

運命を変えた明治六年政変

西郷の朝鮮使節としての派遣は、一度は閣議で決められていました。それがなぜ、中止となってしまったのでしょうか。

長州派の不正もみ消し

参議の江藤新平は、西郷を応援していました。江藤は正義感の強い人でしたから、役人の不正をきびしくとがめました。長州派の山県有朋や井上馨は、不正がばれて困りました。そこで、長州派の仲間の伊藤博文は、江藤を政府から追い出そうと考えて、西郷が朝鮮に行くのをやめさせようと思いました。

伊藤は、西郷の本心は朝鮮と戦争をしたがっているのだと、三条太政大臣に告げました。伊藤の説得

岩倉具視▶

▼板垣退助

(高知県教育委員会)

伊藤博文▶

▲大久保利通

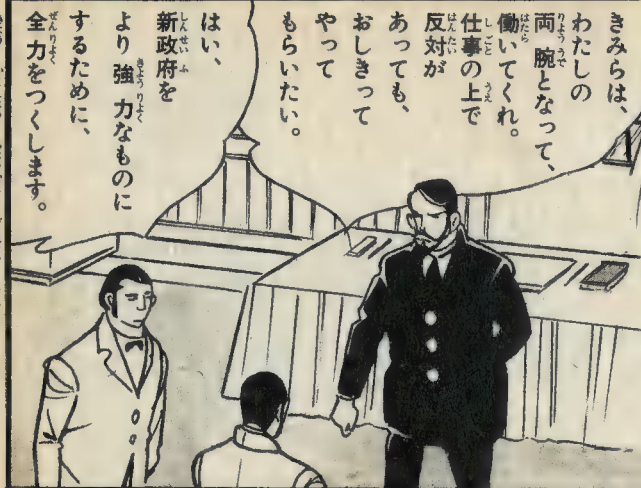
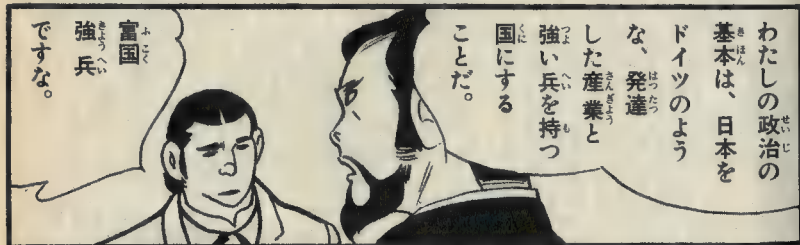
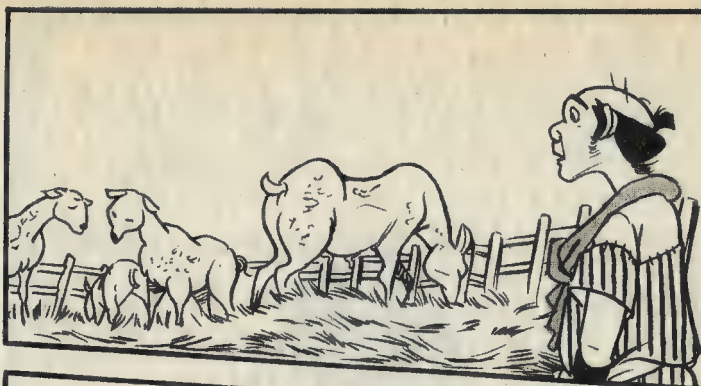
にのった三条は、岩倉右大臣と相談して、西郷の朝鮮行きを止めてくれるように、大久保にたのみました。
大久保は断りました。しかし、三条と岩倉はくり返したのみました。とうとう大久保は断り切れなくなり仕方なく引き受けました。
十月十四日の閣議で、大久保は、三条や岩倉からたのまれた通りに、西郷が朝鮮へ行くのを延期してほしいと発言しました。しかし、みんなは西郷の派遣に賛成したので、大久保は孤立してしまいました。

伊藤博文の策略

大久保は、自分の本心とは違ったことをいわされたうえ、みんなから反対されて大恥をかき、また親友の西郷とも気まずくなりました。かれは辞表を出し、岩倉も辞めたいといいました。三条はショックを受けて気を失ったので、太政大臣の仕事ができなくなりました。この機会をとらえたのが伊藤でした。
伊藤は大久保に「西郷の派遣を天皇に取り消してもらうように、岩倉にたのんだら」と話しました。怒りに取りみだしていた大久保は伊藤のいう事に賛成しました。
西郷は伊藤らの策略を知ると、「こんな事をする者と一緒に、政府にいたくない」とあっさり鹿児島に帰ってしまいました。
何も知らされてない天皇は、岩倉のたのみで、西郷の派遣を取り消しました。そこで、閣議で正式に決まったことが中止になったので、参議の板垣退助、後藤象二郎、江藤新平、副島種臣はいっせいに辞職しました。
これが、明治六年政変の真相です。「征韓論」とは関係がなかったのです。

士族の反乱

＊下野…官職をやめて、民間に下ること。

＊卿…各省の長官。現在の大臣に当たる。

こうして大久保は、農業に牧畜をとり入れ……、
さらに綿花・まゆなどを加工する、工場をつくり、
製鉄・造船にも取り組んでいった。
ゴオ

そのころ（明治七年二月）……、

西郷に続き、参議だった江藤新平が故郷の佐賀県に帰ると……、

江藤さん！
わたしたち士族は、これからどうやっていくのです!!

武士のいらなくなった新政府のもとでは、わたしたちは失業者です！

昔の世にもどせーっ！
新政府はぶっつぶれろーっ!!
ついに佐賀では、江藤をおしたて、二千五百人の士族が、暴動を起こし、佐賀城内にある県庁をおそった。
やっ！
くそっ、何が維新政府じゃっ！
わっ!! よ、よせ！

この佐賀の反乱は、すばやく取りしまらなければ、伝染病のように九州全体に広がりますぞっ!

うて、うてーっ!

わーっ!

ドドドドーン

こうした大久保の落ち着いた勇気に感動した兵は、もう然と反げきし、たちまち、反乱軍は総くずれとなった。

わーっ！

だーっ！

だが、大久保が、佐賀の乱をしずめて帰ってみると、台湾問題がこじれていた。

我が沖縄の漁民が台湾に流れ着いたところ、……

台湾の現地人がその漁民たちを、みな殺しにしたのです。

大久保は、清国の首都・北京に飛んで、清国政府と話し合いをした。

罪なき漁民が殺されたのです。ちゃんとばいしょうしてもらいたい。

だが、それは台湾人が勝手にやったことで、清国とは関係はない。

しかし、大久保はねばった。あまり長びくので、清国と貿易をしているイギリスが困り、イギリスが仲立ちをして、清国に日本軍の行動を認めさせ、漁民への見舞金をはらわせた。

*地租…明治政府が、それまでばらばらだった田に対する税率を統一したもの。

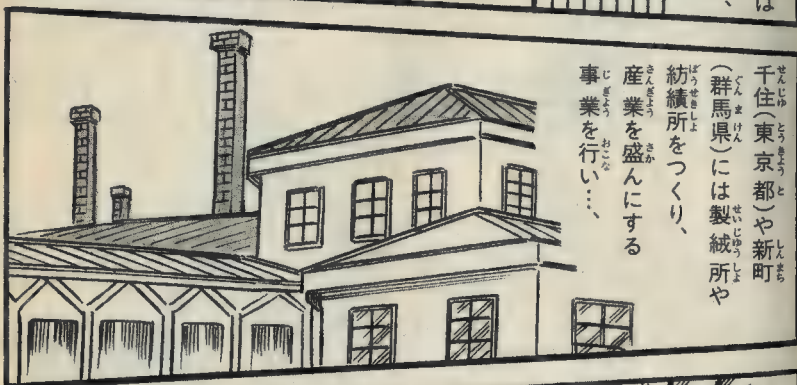
＊公債…士族の禄をとりやめたかわりにあたえられた国の債券。
そして、こうした世情の不平、不満がつのる中で、ついに明治九年十月、維新の功臣であり、参議までやった前原一誠の萩(山口県)の乱まで起こした。
政府がくれた＊公債の利子だけでは、とても士族は生活できんぞっ！
それに廃刀令とは、何ごとじゃ。刀は武士の魂だぞ！

各地で士族の不満は爆発し、佐賀の乱に続いて、萩の乱と熊本の神風連の乱、秋月の乱と、政府に対する反乱が続発した。
政府はおれたち士族を、見捨てる気か!
明治維新はおれたち士族の手でやったのだぞ!!
ええい、もう一度維新の維新をやれーっ!!

東京内務省

＊鎮台…陸軍の基地。

ご安心なさい大久保閣下。萩も熊本の神風連の乱も、ことごとく、しずめました。
ありがとう、山県君。きみが陸軍の中心となり、各地に＊鎮台をつくってくれたおかげだ。

だが、こうした間にも、大久保は
三田(東京都)や取香(千葉県)に、
育種場や牧羊場をつくり……
千住(東京都)や新町
(群馬県)には製絨所や
紡績所をつくり、
産業を盛んにする
事業を行い……、
さらに、農事修学場をつくった。
これは、のちの
東京大学農学部である。

いやいや、大久保君には全く頭が下がります。あなたはつかれを知らない人だ。新政府はあなたがいる限り、大安心じゃ……。

桜島だ!
え!

あの山、いつ爆発するか……、

わたしはそれを思うと、ねむれぬ夜がありますs……。

大警視の川路君をよんでくれ。
は。

川路です。

川路君、その後の鹿児島の様子を、聞きたい……。

はい……。鹿児島は、相変わらず西郷さんがつくられた私学校を中心に……、

新政府の方針にも、従わず、

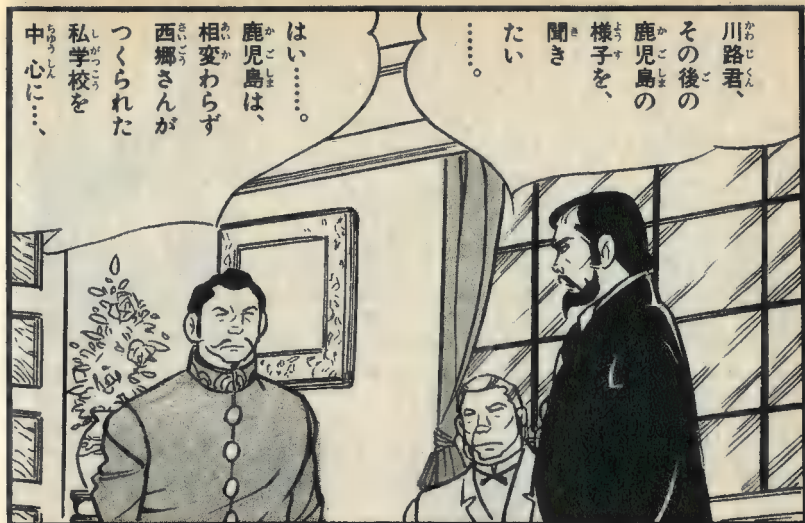
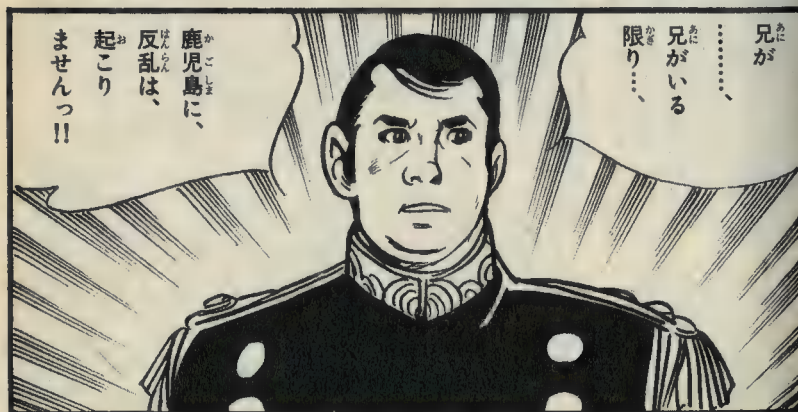
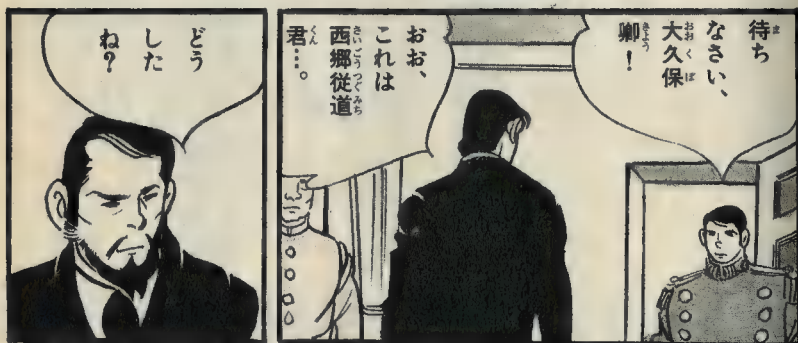
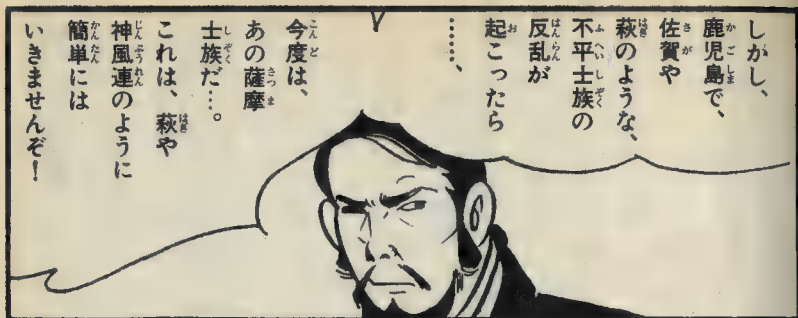
まるで、日本国の中に、独立国をつくったように見えます。

ふーむ、そうか、やっぱり…。

しかし、鹿児島で、佐賀や萩のような、不平士族の反乱が起こったら……、
今度は、あの薩摩士族だ…。これは、萩や神風連のように簡単にはいきませんぞ！

待ちなさい、大久保卿！
おお、これは西郷従道君…。

どうしたね？

兄が……、兄がいる限り…、
鹿児島に、反乱は、起こりませんっ!!

西郷隆盛と大久保利通 歴史コーナー⑧

富岡製糸場と勧業博覧会

国が豊かになるには、貿易や工業をさかんにする必要があると考えた政府は、近代産業をおこすために力を注ぎました。

近代的な工場を!

明治政府は、先進国に追いつくため、近代的な産業の育成に力を入れ、全国に、政府が経営する軍事工場・製糸工場・製鉄所をつくりました。中でも輸出の中心だった生糸の生産には力を入れました。

こうしてつくられたのが、一八七二年に操

▼富岡製糸場(群馬県)

◀千住製絨所(東京都)

◀小石川砲兵工廠(東京都)

業を開始した群馬県の富岡製糸場です。ここでフランス人の技術者から製糸技術を覚えた女工たちは、のちに全国につくられた製糸工場の指導者となって活やくしました。

▲上野公園で開かれた内国勧業博覧会。1903年まで5回にわたって開かれた。農業・工業・商業の各分野からの出品には賞が設けられた。

勧業博覧会を開く

一八七七年、東京の上野公園で第一回内国勧業博覧会が開かれました。西南戦争が続いていたときのことで、中止の声も聞かれましたが、博覧会の総裁をつとめる大久保利通は、「今の日本は、産業をおこすことが第一。戦争だといって中止することはない。」と、反対をおしきって準備を進めました。

各府県から出品された品物は八万点をこえ、百二日の会期中に四十五万人以上の人々が訪れるなど、博覧会は大成功で、これ以後の地方産業の育成のために大きな力となりました。

西南戦争起こる

その夜、鹿児島、武村の西郷家は、にぎやかだった。菊次郎が、アメリカ留学から、帰ったのである。

ほほ、菊次郎、アメリカは、そんなに広いのかね。

はい、ねてもさめても汽車の窓の景色はいつも地平線でごわす。

ははは、それはアメリカギツネに化かされたのだろう。

＊古今無双…これまでにならぶもののないこと。

朝鮮使節問題をきっかけに、故郷に帰った西郷は、しばらく農業と狩りを楽しんでいたが……、

ふーむ。これは困ったことになりましたぞ…。

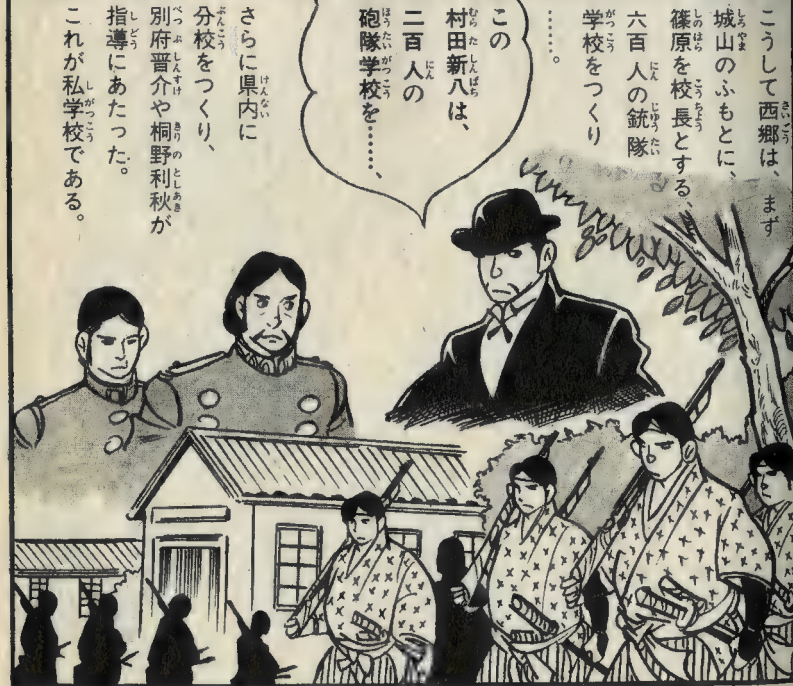
新政府はまちがっておる。

そうじゃ明治維新はまちがいだっ!!

西郷をしたって帰国した男たちをはじめ、武士の若者が、鹿児島の町にあふれ、日夜激論と酒に身をもて余していた。

こうして西郷は、まず城山のふもとに、篠原を校長とする、六百人の銃隊学校をつくり……。

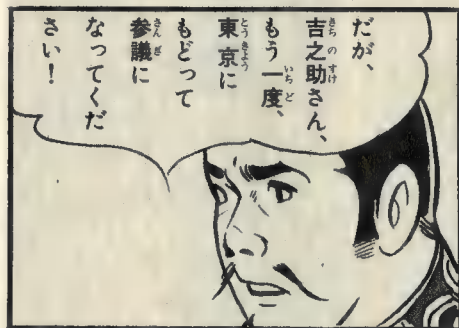
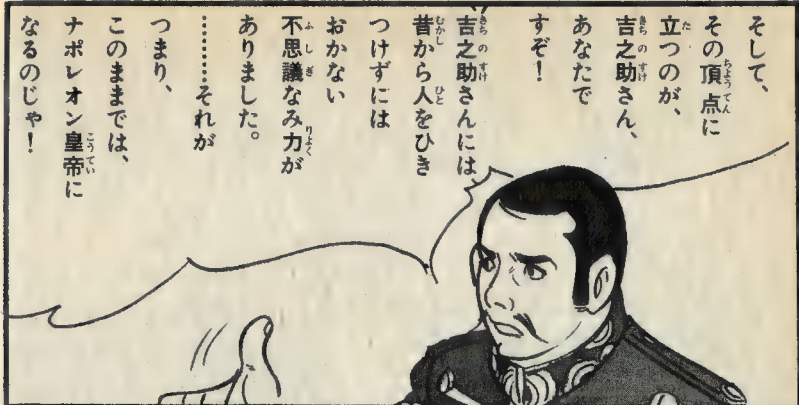
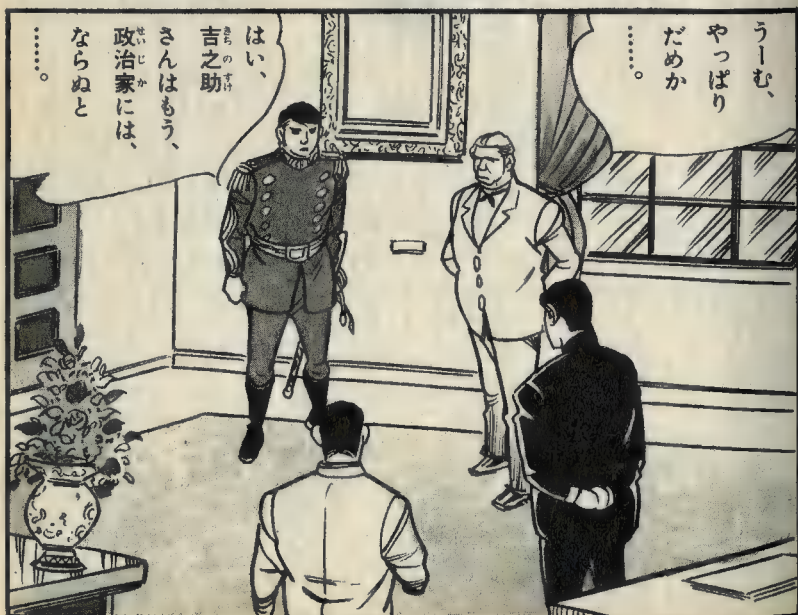
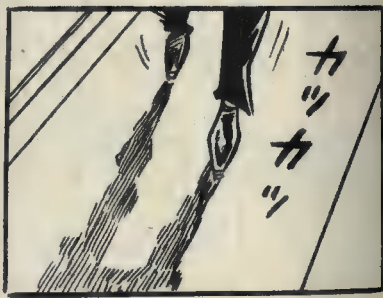
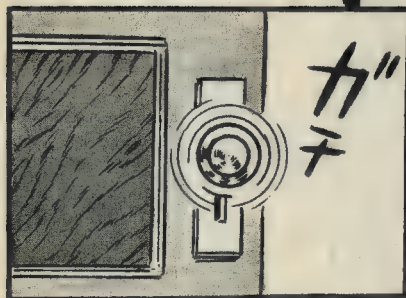
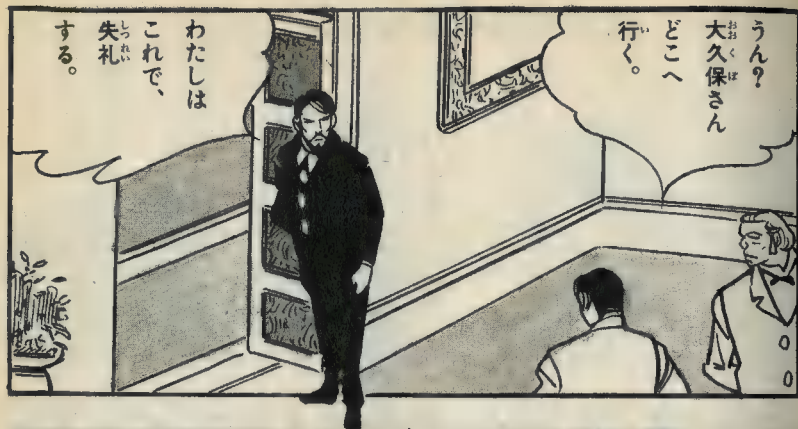
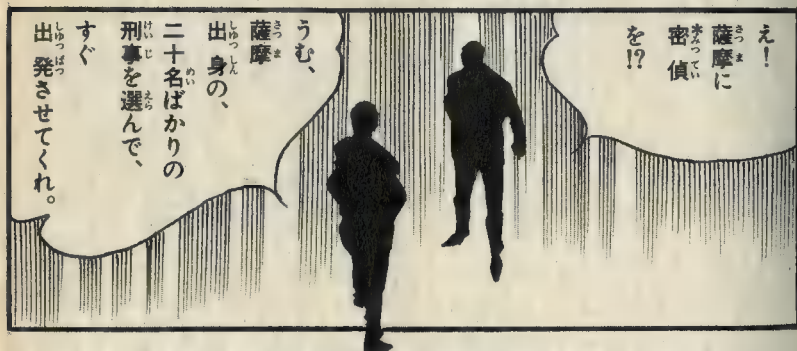
この村田新八は、二百人の砲隊学校を……、

さらに県内に分校をつくり、別府晋介や桐野利秋が指導にあたった。これが私学校である。

さらに一八七五年(明治八年)には、青少年士族百五十人を集め、吉野村に開墾社をつくって、青少年の教育を始めた。
見ていろ、この鹿児島の士族は、自分の食うものは、自分で作るのだ。
昼は農業、夜は学問……。
これが西郷先生のつくられる理想郷じゃ。もう酒なんか飲まんぞ。
そうとも。たよりない新政府を捨てた男たちの、ここは、薩摩独立国じゃ、ははは。

そして鹿児島県令の大山綱良も……。
西郷さんはえらい！こうなったら、鹿児島県の役人も警察官も、西郷さんの私学校出身者にたのもう。なーに、学校の費用も、県が持つようにしたい。ははは。

……吉之助さん。

……
……。

これではこの鹿児島は、まるで……、
反政府の独立国ではありませんか！

そして、その頂点に立つのが、吉之助さん、あなたですぞ！
吉之助さんには、昔から人をひきつけずにはおかない不思議なみ力がありました。
……それがつまり、このままでは、ナポレオン皇帝になるのじゃ！

誤解だ。わたしのしていることは、日本の将来のためになる…。

だが、吉之助さん、もう一度、東京にもどって参議になってください！

天皇陛下も、東京に来るのを待っておられます。
……
……。

東京内務省

うーむ、やっぱりだめか……。

はい、吉之助さんはもう、政治家には、ならぬと……。

だが、……となると、これ以上、放ってはおけないな。
さよう、その私学校とやらは、これは明らかに、私兵……、兵である！

政府の方針を無視し、西郷を中心とした、士族の独立国だ。
このまま放っておいたら、今に鹿児島は、日本の火薬庫になるぞ。

うーむ、その鹿児島が爆発したら……、
大久保さん、あんたは鹿児島県に対して、甘すぎる。なんとかしたらどうです。

うん？大久保さんどこへ行く。

わたしはこれで、失礼する。

カツカツ

ガチャ

川路大警視をよんでくれ。
は！

ふう……。

木戸君はあう言うし。
吉之助さんを鹿児島に帰すのではなかった！このままでは……。

このままでは今に……、ああ…、なんとか吉之助さんを助ける道はないか！

そうだ、……一つだけ手があるぞ…。

＊密偵…ひそかに内情などをさぐること、またその人。スパイ。

こうして一八七六年(明治九年)十二月末、密偵たちは、鹿児島に飛んだ。

だが大久保は一方で、私学校生徒らの万一の爆発に先手を打って、一月二十九日、鹿児島にある政府のだん薬庫より…、

だん薬庫のだん薬をすべて船に移し、大阪の鎮台へ運べ！
静かにやるんだ！
だが……

ダッダッダッ

た、た、大変だーっ!!
なに！磯のだん薬庫に新政府の者がっ!?
私学校

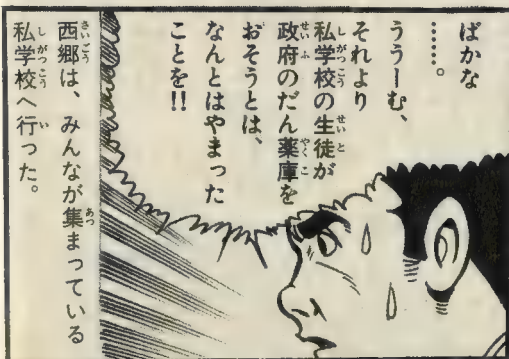
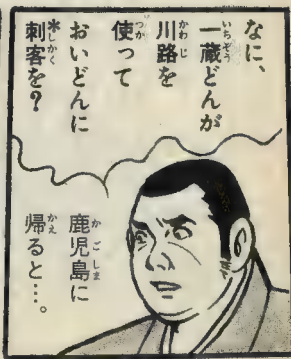
こらーっ、こいつら!!
うわーっ!
だん薬は、一個たりとも、新政府にはわたさんぞっ!!

私学校の生徒をあまくみるなっ!
た、助けてくだされっ!

こうして、つかまった密偵の一人の口から……、

白状しろっ おぬしら何しに鹿児島に来たっ？

うう、し、しさつじゃ、しさつに……。

このしさつが、その場所に行って、実際の様子を調べる視察ではなく、刺し殺す刺殺にとられ、西郷を刺殺しに来たと、なっていった。

*刺客…人をつけねらって、ひそかに殺す者。暗殺者。

そのころ西郷は、鹿児島の錦江湾の対岸、大隅半島で狩りをしていたが……。

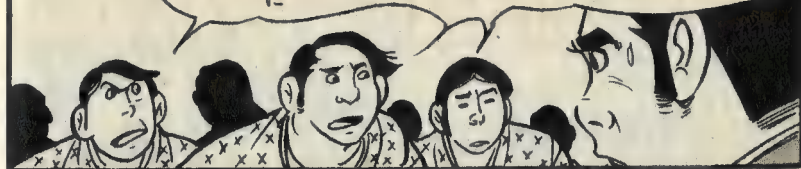
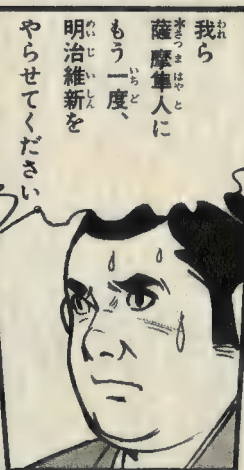
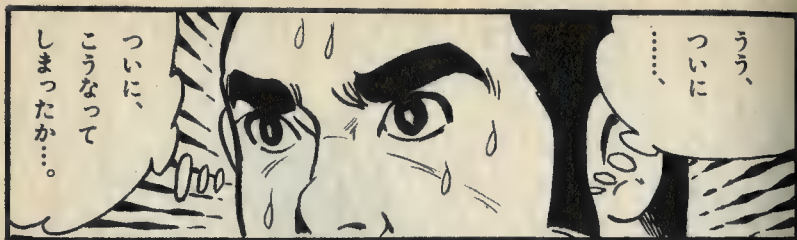
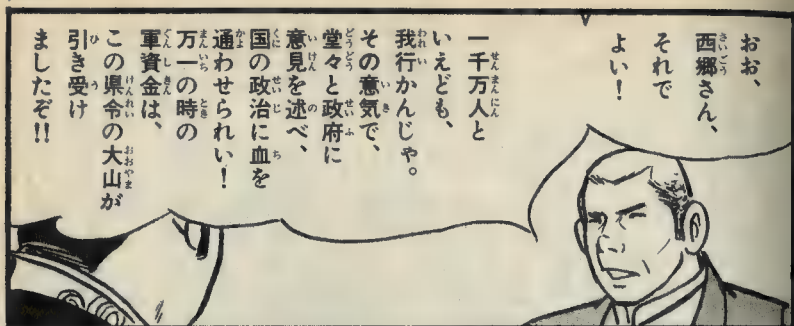
先生ーっ、一大事が起こりましたーっ!!

むん?

ばかな……。

ううーむ、それより私学校の生徒が政府のだん薬庫をおそうとは、なんとはやまったことを!!

西郷は、みんなが集まっている私学校へ行った。

生生！新政府は、先生を殺すつもりですぞ!!
政府はこの鹿児島の理想郷づくりを、反乱を起こすもとと思っていますぞっ!!
静かに…。
ワイワイ

我ら＊薩摩隼人にもう一度、明治維新をやらせてください

先生っ！

＊薩摩隼人…薩摩（鹿児島県）の武士。

うう、ついに……、
ついに、こうなってしまったか…。

おいどんの命……、

みなさんに、あずけましょう!……。
おお!!

だが、わたしは戦をしに行くのではない…。かつて斉彬公や久光公が、兵を引き連れて幕府の政治を改めるようにと、京に行かれたように……。

明治十年二月十五日、午前四時、ついに西郷は、鹿児島をたった。続く兵は一万三千…。

おお、南の国に雪とは…。これはえんぎがよい印だ。

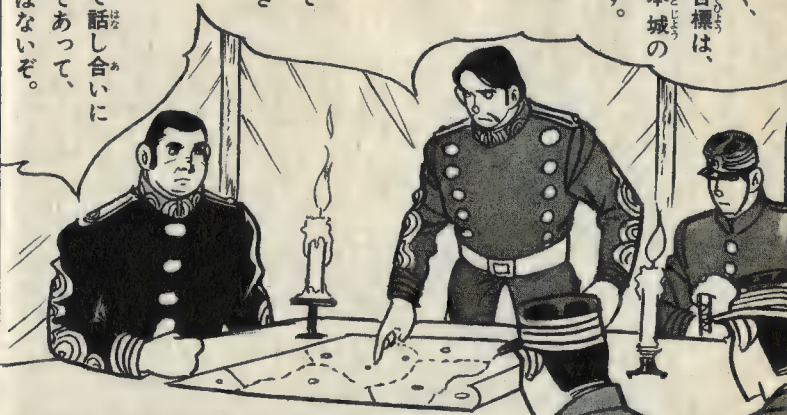
行ってらっしゃい。

無事にお帰りくださ～い。

万一、戦となったら、薩摩隼人のほこりは、一に戦死、二に負傷、三に帰かんだ。おいどんはがんばるぞ！

この陣列の中には、西郷の子菊次郎をはじめ、末の弟小兵衛などもいたが、やがて敵となる政府軍の身内もいて、肉親同士が争う、すさまじい戦争となってゆくのであった。

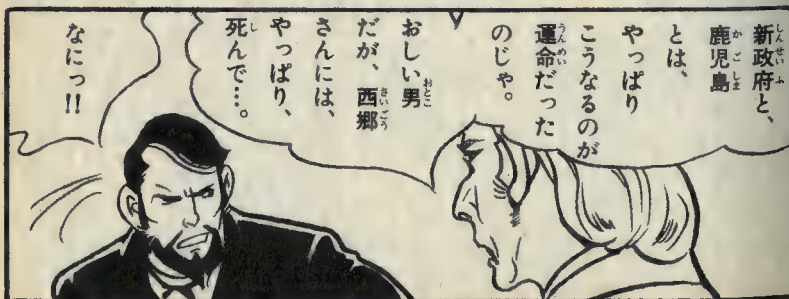
とにかく、第一の目標は、この熊本城の鎮台です。そこで、出兵の目的を話し、無事に熊本を通させていただきます。

これはあくまで話し合いに行くのであって、戦争ではないぞ。

だが、こうした西郷の気持ちとは裏腹に、新政府はすでにこの出兵を、新政府に対する反乱と受け取っていた。

東京内務省

裏目じゃっ。これはすべてが、裏目に出たんじゃっ!!

西郷さんが、吉之助さんが、こんなことになるとはっ!!

まあまあ、大久保さん、落ち着かれよ。もはや、すべてが、終わったのだ。

おお、熊本城が燃えているっ!?

これはどうしたことだ!? わたしたちはまだ一発のたまもうってはいないのに、これでは、もう戦争だ!!

先生っ！
うむ……。

これはわなじゃ！わたしたちが先に熊本城を攻め、戦争をしかけたように、見せるためのわなじゃ！

うーむ、新政府はどうでもこの西郷に戦争をさせる気か！

これで、決まりましたな、先生！もはや政府にお願いではなく、戦争ですぞ!!
む！桐野どん…。

一方、熊本城内では……。
長官！火は広がって、食料庫に移りますっ!!
放っておけ……。

二十二日未明、西郷軍、(薩軍)の熊本城いっせい攻げきが始まった。

うてーっ。

待ってたぞ、それ、うてーっ！
わっ。
う！
しまった、待ちぶせだっ。くそっ！
だーっ。
わーっ。
別府晋介が石がきを飛びこえていった。

かーっ。

ぐえっ！

だーっ。

わーっ。

だが、二段・三段構えの城兵の待ちぶせに、

く、くそっ。

ええい、引け、引けっ!!

城内に入ることはできず……。

一方、このころ、桐野利秋は県庁を攻め、
だーっ。
わーっ。
チェーストッ!!
篠原国幹は、城の背面をついたが、
わっ。
ぐっ。
鎮台の兵は強かった…。

それは、
徴兵令でつくられた
農民兵だったが、
かれらは士官の命ずる
ままにしゃげきを続ける
だけで、城外には一歩も
出ようとしなかった…。
そのため…。

ババババババ

わっ。

くっそ!

あのとき
谷干城が言っていた
とおりか!

はは、桐野さん…。
要は、ちゃんとした
訓練さえほどこせば、
農民といえども、
薩摩武士のような
強い兵になりますよ…。

薩軍は連日、激しく政府軍をおそったが、
全戦線にわたって動きをとれなくされ……、

ダバババン

いずれも失敗に終わった……。

だがそのころ、
植木町(熊本県)方面でげきとつした薩軍は、得意の
日本刀をふるってせまり、小倉第十四連隊を破った。

チェーストッ!

ぐーっ

くそっ!

わーっ。

しかし、こうした部分的な勝利も……。

兄さん、これ以上熊本城にくぎ付けになってはいけない！そのすきに中央から政府軍の応援隊が続々とこの九州全土に上陸して来ますぞ。

そうじゃ、政府軍の応援を、どこかでくい止めんと！

こうして熊本城は、一部の兵に包囲させて、ほかは転戦することにした。

だが薩軍には、そのどれも補じゅうがなく、

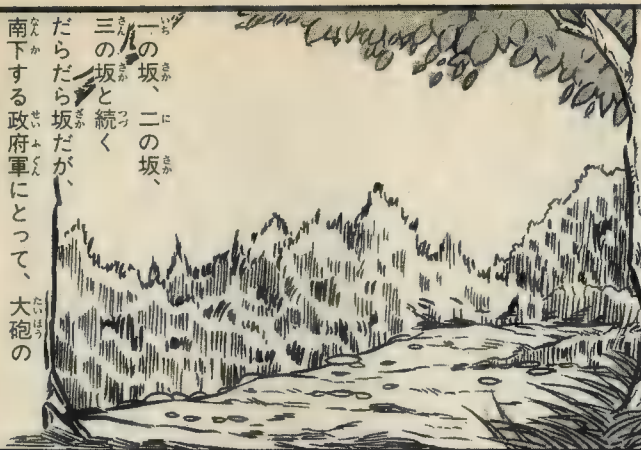
くそっ、銃も大砲もこわれたらすてるしかない！

衣服も薩摩を出たときのままだが、薩摩隼人の意気だけは、くじけはせんぞ！

そして二十五日、朝廷は西郷らに通達を出した。

*軍服を焼く…実際には、この時期より後とされます。

先生っ!!
はは、わたしにはやっぱりこの着物が一番良く似合います。

田原坂は、熊本から久留米(福岡県)に向かうほぼ中間にあって、
一の坂、二の坂、三の坂と続くだらだら坂だが、南下する政府軍にとって、大砲の通れる道はここしかなく……。

この坂を突破されたら、なだれをうって政府軍が薩摩に攻めこみます!
うーむ、この坂はなんとしても守らねばならん。

そうじゃ、木を切りたおし、坂道にしけ!
それはいい。障害になります。

そして三月四日の明け方。
田原坂はその日、
一面にもやがかかっていた。

だが、そのもやの向こう
から……、

来たぞっ!!

今だーっ、とつげきーっ!!

わっ。
ぎゃーっ!

だーっ。
くうっ。

かっ。
うわっ。

西郷隆盛と大久保利通

歴史コーナー⑨

大久保がつくった明治の警察

政府の実権をにぎった大久保は、産業の育成のほか、国内の政治の充実もはかりました。その一つが、警察制度を整えることでした。

人々のくらしを安全に

一八七三年、国内の政治をつかさどる内務省が置かれると、大久保は初代内務卿（内務省の長官）に就任し、警察制度を整えました。人々の安全を守るための警察制度はそれまで司法省の下にありましたが、大久保が内務省に移したのです。内務省は、全国の府県を指揮したので、警察の力も全国におよびました。

▼1874年につくられた警視庁。

▲東京警視庁初代大警視（警視総監）、川路利良。川路は、はじめ西郷に引き立てられたが、のち大久保に従うようになった。

●当時の内務省

内務省
- 勧業寮（産業をおこし、育てる）
- 警保寮（警察の仕事）
- 戸籍寮（戸籍をつくり人口などを調べる）
- 駅逓寮（交通や通信・郵便などの制度を整える）
- 土木寮（河川・港湾工事や道路工事などをする）
- 地理寮（地誌や地図をつくる）

※寮はいまの局のことをいう。

西南戦争でも活動

フランスの警察制度を参考にして、東京警視庁がつくられました。初代大警視（警視総監）となったのは、薩摩藩出身で大久保に認められた川路利良でした。

川路は、西南戦争に先立って、警官を鹿児島県に派遣して士族の様子を探らせました。そのことが鹿児島の士族を怒らせて、不幸な西南戦争を引き起こしました。

また西南戦争では、警官による切りこみ隊も活躍しました。

警視庁は、のちに自由民権運動を取りしまる仕事もすることになりました。また警視庁が設けられてしばらくは、鹿児島県の出身者が、警視総監に就任するのが通例となっていました。

西郷死す

そして次の日も、次の日も、田原坂は落とせなかった。あせった政府軍は会議を開いた。

なんということだ。すでに、十数日もたつというのに、田原坂は、まだ落ちないのか！

このままでは、薩摩への南下はおろか、ろう城を続けている熊本城の食料も、つきてしまうぞ！

大砲を進ませようとしても、切りたおされた木が坂にしきつめられ、思うように進めません！
だが、それより…。

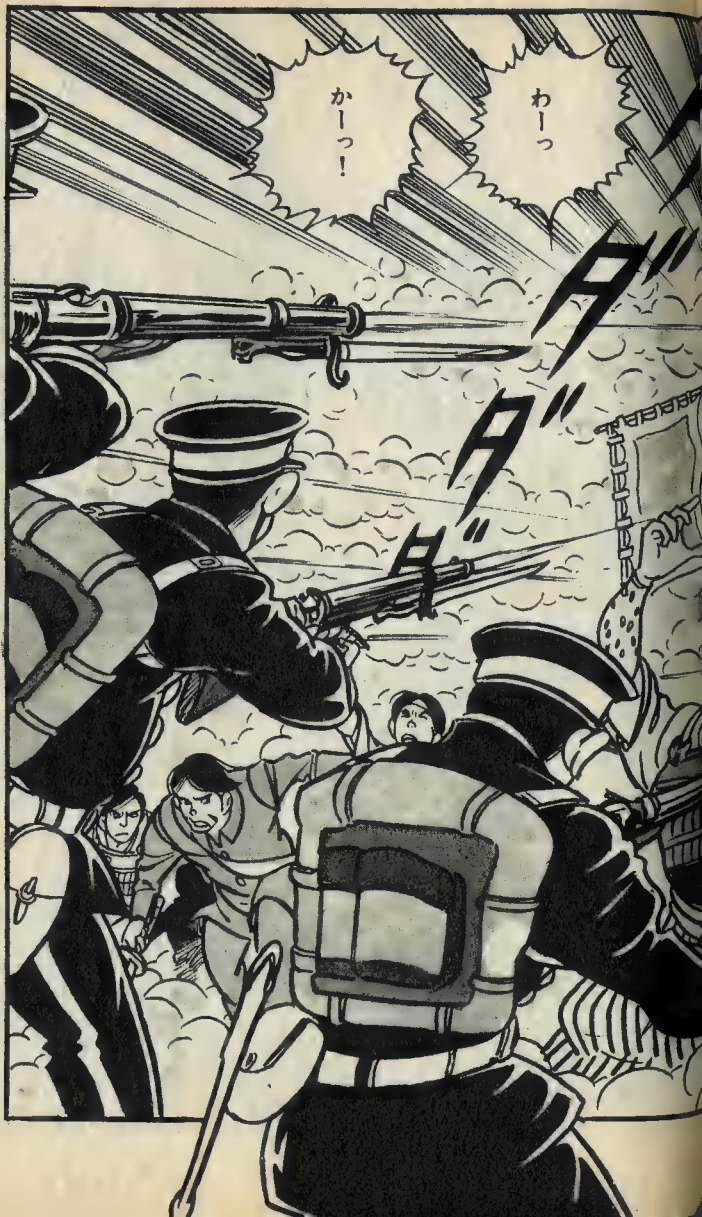
それよりなんだ！
はい、敵の大将が、古今無双の英雄であるからです！あの西郷のもと、一兵たりとも死をおそれる兵はいないのです！

むう……。

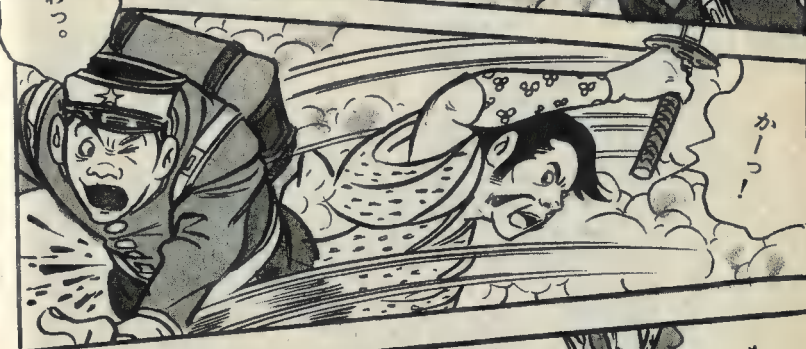
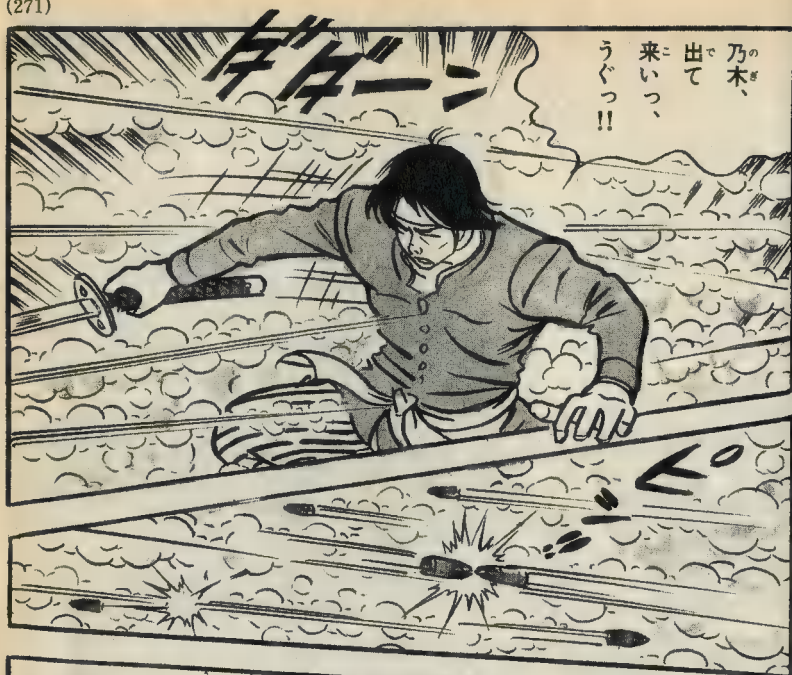
よろしい！明日はわが軍も、抜刀隊を出して白兵戦に備えよう…。
そして、三月二十日、午前四時……。

ぐう！
ええいっ！

わーっ
かーっ！
ダダダダ

その朝、政府軍は雨にまぎれて、一万二千の兵で薩軍のじん営に攻め入った。

*乃木希典…後に日清・日露戦争で活やく。

ダダーン

乃木、出て来いっ、うぐっ!!

この田原坂の
戦いは、実に
十七日間にわたり、
政府軍の
死傷者三千、
薩軍も、
ほぼ同じ程度の
死傷者を
出した……。

だがこの決戦を境に、薩軍は次々と敗れ、
西郷は熊本をすてて九月一日、鹿児島に退き、
城山にこもったが、その兵は、わずか四百名で
あった。

そして急追する政府軍は、山県有朋が率いる八個師団、その数十余万の兵で、城山を、十重二十重に囲んだ……。

桐野どん、見ろ、あの政府軍を…。

本当にありのはい出るところもない。囲まれましたな。

*大義…人として踏み行うべき大切な道。

この戦が、新政府への警告になれば、それでよい。

う！

九月二十四日、政府軍は城山の総攻げきを開始し、西郷は銃弾を腹部に受けて、別府晋介に自らの首をはねさせた。五十一才の生がいであった。

西郷は反ぎゃく者の汚名をきたまま死んでいったが、明治二十二年、その汚名はそそがれ、天皇は維新の功労者として正三位の位を、改めて西郷にあたえた。

吉之助さん、許してくれ。思えば、あれもこれも、みんな悪い夢を見たようだった。しかし、みんな新しい日本のたん生のためだった。このわたしもいずれあとを追いますぞ。

この後大久保利通は、近代日本の基をつくろうと、けん命な努力を続け、着々とその成果を上げていた。

維新の三傑といわれた木戸孝允は、西郷の死ぬ前、すでに病気で四十五才の命を閉じていた。

カラカラカラカラカラ

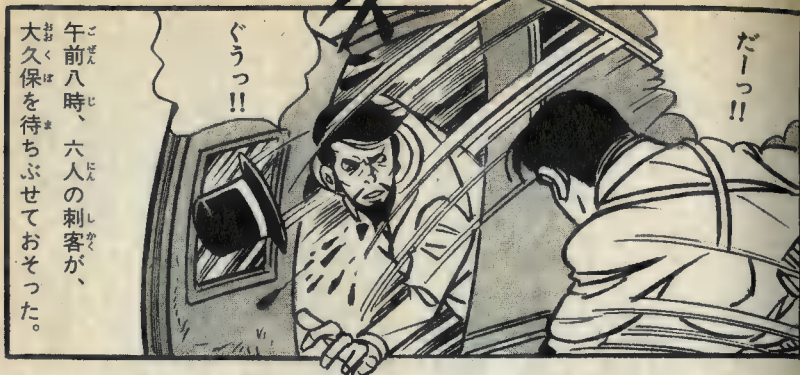
一八七八年(明治十一年)五月十四日、朝……。

太政官へ出きんするため大久保は、いつものように馬車に乗って、家を出た…が…。

大久保待ていっ！

うっ！だれだっ！

き…吉之助さん…。

大久保は、ひとこと西郷の名を呼んで、命を閉じた。四十九才であった。

「西郷隆盛と大久保利通」㊦終わり

歴史コーナー⑩

西郷隆盛と大久保利通

西郷・大久保こぼれ話

維新という時代を舞台に大活やくした西郷と大久保。この二人にまつわる、いろいろなこぼれ話をまとめてみました。

段山の屁合戦

西南戦争で多数の死傷者を出した段山の戦いのきっかけは『屁合戦』だったといいます。熊本城にろう城している政府軍が「カライモ（さつまいも）ざむらいの大砲は屁みたいな音を出すぞ」とはやしたてると、西郷軍は、「わしらの屁とお前たちの屁と、どちらがす

▲熊本城をめぐる段山の戦いでは、多くの人々が戦死した。

ごいか勝負しようではないか」と挑戦しました。両軍から一名ずつ出て勝負しましたが、なかなか決着がつかず、ついに実弾を交えた戦いになったのが、段山の戦いだそうです。

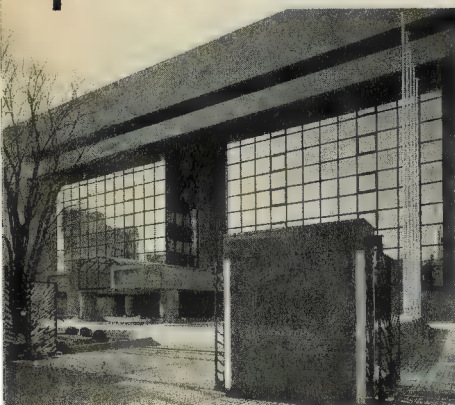
しりおし西郷

体重が百八キロもあった西郷は、山登りが苦手でした。西南戦争で政府軍に追われて鹿児島に帰る途中、山を登らなければならなくなったときなど、西郷のおしりをおす係がいたほどでした。

しかし、ユーモアをいつもわすれず、そのようなときでもじょう談を言って、まわりにいた者をよく笑わせたそうです。

博愛社誕生

一八七七年はじめに始まった西南戦争は、多くの死傷者を出しました。その数は、政府軍だけで一万六千人以上いたといいますから、病院には負傷者があふれ、野山に傷ついた兵たちが取り残されるといった有り様でした。

こうしたようすを心配した元老院の佐野常民、大給恒の二人は、博愛社を設立し、政府

▲西南戦争をきっかけとしてつくられた博愛社は、のちに日本赤十字社に改められた。写真は東京都港区にある現在の日本赤十字社本部。

＊元老院…国会開設前の立法上の相談(諮問)機関。

軍・西郷軍を問わず、傷病兵を助けました。

この博愛社は十年後の一八八七年、日本赤十字社に改められ、現在も活動を続けています。

二人の好物は？

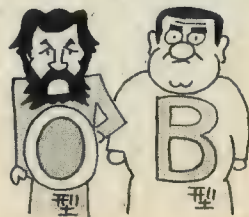
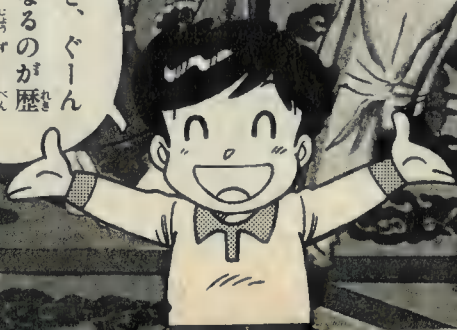
維新の豪傑として知られる西郷は、意外なことにお酒には弱かったそうです。そのかわりあまいものが好きで、とくにカステラと、うなぎのかば焼きには目がなかったようです。

大久保も、あまりお酒を飲まなかったようですが、たばこをよくのみ、かたときも葉巻をはなさなかったほどのヘビースモーカーでした。

二人の血液型は？

遺髪から、西郷はB型、大久保はO型であることがわかりました。B型は個性的で、O型は野心家といいますから、うなずけるものがあります。

囲碁が強かった？ 西郷と大久保

大久保の趣味が囲碁だったことは有名で、西郷も自刃する前夜、碁を打っていたという伝説があります。この二人に日本棋院が近年、名誉七段の称号をおくりました。

第3部
歴史学習が好きになる
歴史学習ガイド
知れば知るほど、ぐーんとおもしろくなるのが歴史。その歴史の上手な勉強法を教えちゃおう！

700年　600年　500年　400年　300年　200年　100年　紀元元年　前1000年　前1万年

1 明治時代前期までの日本のようす

初めに、大むかしから明治時代までの歴史を見てみようね。

旧石器・縄文時代 日本のあけぼの

数十万年前ごろ、わたしたちの祖先は、石器を使ってけものや魚などをとり、ほら穴に住んでいました。

一万年ほど前になると、人々は**たて穴住居**に住み、えものを求めて集団で移り住むようになり、**縄文土器**が使われました。当時の人々の生活のようすは、ごみ捨て場にしていた**貝塚**から知ることができます。

▼シカの角や骨で作られたつり針ともり。（東北大学考古学研究室）

▲けものや魚を切りさくためのナイフ形石器。（東北大学考古学研究室）

▼ほのおをかたどった縄文時代の土器。（津南町教育委員会）

弥生時代 〝むら〟から〝くに〟へ

◆米作りの始まり

二千二百年ほど前になると、大陸から米作りが伝わり、人々は〝むら〟をつくって定住するようになりました。静岡県の**登呂遺跡**からは、このことを示す水田や住居あとが発掘されました。

また、**弥生土器**が使われ、大陸からは、**青銅器**や**鉄器**も伝わりました。

◆〝くに〟のたんじょう

やがて、強い〝むら〟の支配者が弱い〝むら〟をまとめ、小さな〝くに〟をつくりました。さらに、〝くに〟は大きくまとめられていきました。その一つが、女王卑弥呼の治める**邪馬台国**です。

◀▼木でつくられたくわとすき。

(近江風土記の丘資料館)

(福岡市立歴史資料館)

▲やぐら，倉庫，住居などが復元された佐賀県の吉野ヶ里遺跡。邪馬台国との関連が深いと言われている。

700年 600年 500年 400年 300年 200年 100年 紀元元年 前1000年 前1万年

大和時代 天皇を中心とする国づくり

◆大和朝廷の国土統一

四世紀になると、大和地方（現在の奈良県）の豪族（"くに"のかしら）たちの勢いが強くなり、各地の豪族を従えて強い、大きな国をつくりました。この国を**大和国家**、その政府を**大和朝廷**といいます。大和朝廷の中心となったのは、**大王**（のちの天皇）で、五世紀までには日本の大部分を従えました。

大王や豪族たちが亡くなると、小山のような大きな墓をつくりました。これを**古墳**といい、その大きさがかれらの生前の勢力の強さをあらわしています。

◆聖徳太子の政治

六世紀になると、豪族たちが勢力争い

▲五色塚古墳（兵庫県）　つくられた当時の様子がわかる巨大な前方後円墳だ。

▶はにわ　[illegible]

を始め、ほかの豪族をおさえた**蘇我氏**が、大きく勢いを広げました。

このようなときに**聖徳太子**があらわれ、天皇を中心とする国をつくろうと考えて、**十七条の憲法**などを定めました。

また、**隋**（中国）のすぐれた文化をとり入れるために、**遣隋使**を送ったり、**法隆寺**を建てて、仏教を広めることに努めました。

◆大化の改新

聖徳太子が亡くなると、ふたたび蘇我氏が政治の実権をにぎり、その勢いは天皇をしのぐほどになりました。

そこで、六四五年、**中大兄皇子**や**中臣鎌足**らは蘇我氏をたおし、天皇を中心とする新しい政治を始めました。

この改革を、**大化の改新**といいます。

▲聖徳太子二王子像　中央が聖徳太子。

（宮内庁侍従職）

▶中大兄皇子（天智天皇）
大化の改新の中心人物。
（東京大学付属図書館）

▶中臣鎌足（藤原鎌足）
中大兄皇子を助けて大化の改新を進めた。
（談山神社）

奈良時代

奈良の都と栄える仏教

◆奈良の都・平城京

朝廷は、七一〇年、唐（中国）の都長安にならって、奈良に平城京をつくり、都としました。平城京は、道路がごばんの目のようにつくられ、中国風の建物が立ちならびました。奈良に都が移されてからのおよそ八十年間を、奈良時代といいます。

このころ、朝廷は東北地方と南九州を支配して、さらに勢力を広げました。また、和同開珎という お金がつくられ、地方から運ばれてきた産物が、都で売り買いされるようになりました。

◆仏教で平和を願った聖武天皇

その後、貴族の間で争いが起きて政治

▼日本最古のお金，和同開珎。上は銀銭，下は銅銭。　(富士銀行)

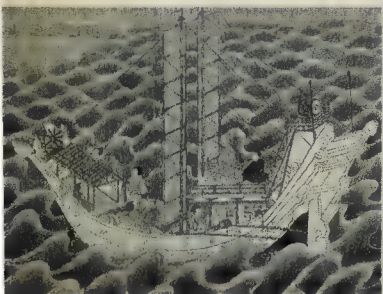
▲平城京の町なみを復元した模型。　(奈良市庁舎内展示)

が乱れ、天災にみまわれたり、病気がはやったりして、社会に不安が広がりました。そこで、**聖武天皇**は、仏教の力で国の平和をとりもどそうと考え、国ごとに**国分寺**を建てました。また、奈良の都には**東大寺**を建て、**大仏**をつくらせました。

◆大陸文化を伝えた遣唐使

七世紀の初めに、中国では、**唐**が隋をほろぼして、大帝国をつくりました。朝廷は、唐の進んだ文化をとり入れるため、聖徳太子の派遣した遣隋使にならって、**遣唐使**と留学生を送りました。

唐にわたった留学生たちは、新しい知識や技術を学びました。そして、かれらは、帰国後、日本の政治のしくみを整えたり、学問や仏教を広めるなどして、日本に大きな影響をあたえました。

▶東大寺大仏　平和の願いをこめて，当時の最高技術をつぎこんで完成させた。しかし，平和は長く続かなかった。（東大寺）

▲唐にわたる空海を乗せた遣唐使船。小さな船で，危険がいっぱいだった。（高野山文化財保存会）

平安時代

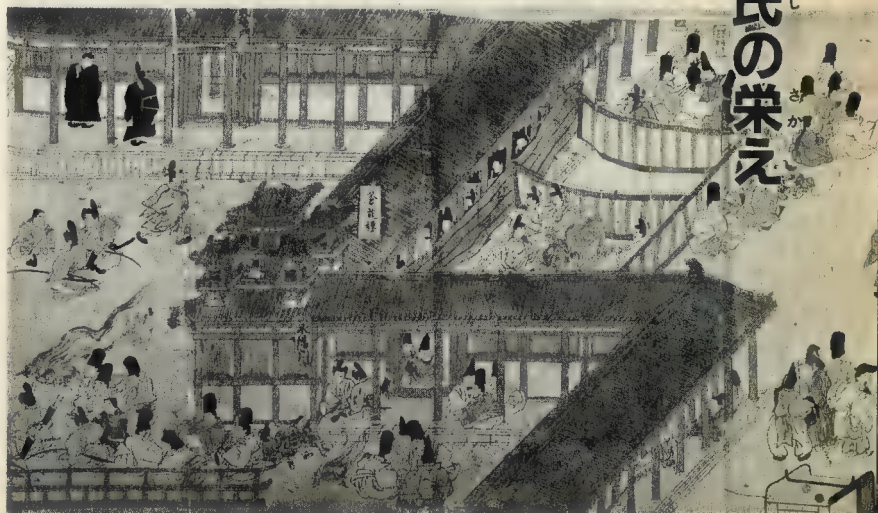
平安の都と藤原氏の栄え

◆京都に都を移す

奈良時代の中ごろから、貴族間の勢力争いがはげしくなったり、政治と仏教の結びつきを利用して、政治に口を出す僧もあらわれて、政治が乱れ始めました。

そこで、**桓武天皇**は、政治を立て直すために、七九四年、都を、僧の勢力の強い奈良から、京都に移しました。

この都は平城京よりもさらに大きく、平和な世の中が長く続くようにという願いをこめて、**平安京**と、名づけられました。

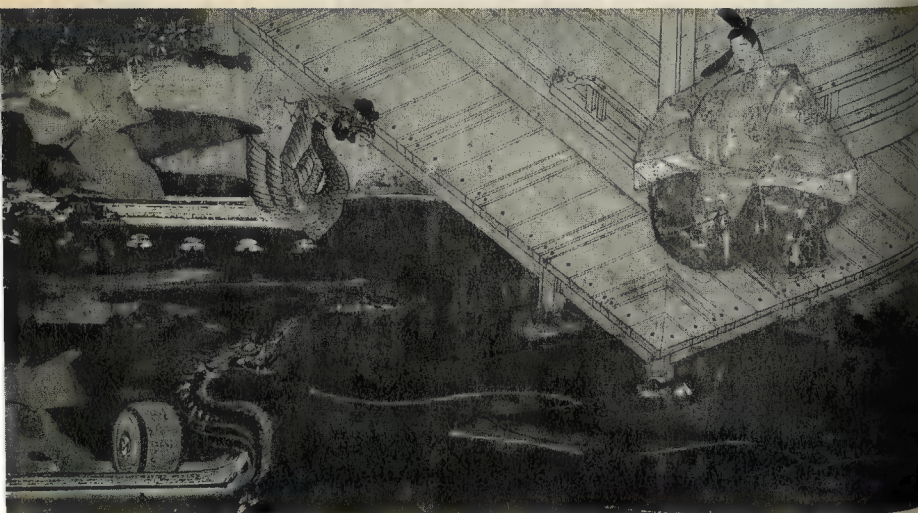
平安京がつくられ、政治や文化の中心となって栄えた、このおよそ四百年間を**平安時代**といいます。

▲大極殿　平安京の内裏にあった建物で，朝廷のきらびやかさがわかる。

◆藤原氏が栄える

平安時代の初めは、天皇中心の政治が行われていましたが、しだいに貴族が勢いを強めてきました。

なかでも、**藤原氏**（大化の改新で活やくした中臣鎌足の子孫）は、ほかの有力な貴族をおさえ、自分の娘を天皇家にとつがせて天皇の親せきとなって力をのばしました。

そして、朝廷の高い地位を一族でひとりじめにして、天皇が幼いときは**摂政**、成人してからは**関白**という役について政治を動かす**摂関政治**を行いました。

藤原氏は、十一世紀前半、**道長**、**頼通**の時代のころにもっとも栄え、全国各地にたくさんの私有地（**荘園**）をもち、ぜいたくな生活を送りました。

▲道長のやしき　広いしき地に大きな建物や池などがあった。　（藤田美術館）

平安時代

力をのばしてきた武士

◆武士のおこり

都で貴族がはなやかな生活を送っていたころ、地方では政治が乱れ、山ぞくや海ぞくがあばれまわるようになりました。

そこで、地方の豪族は、自分の土地を守るために、一族や家来たちに武そうさせました。これが**武士のおこり**です。

◆力をのばす武士

やがて、武士は戦いをくり返すうちに力をつけ、都にまで進出するようになりました。そのなかでも特に力があったのが、**平氏**と**源氏**です。

そして、ついに十二世紀の中ごろ、**源義朝**との戦いに勝った**平清盛**は、藤原氏に代わって、政権をにぎりました。

▼武士団の主従　馬上の主人のまわりに，弓矢・なぎなたなどの武器を手にした従者がいる。　（■■堂文庫）

▲武士として初めて政治の実権をにぎった平清盛の像。
（祇王寺）

1900年	1800年	1700年	1600年	1500年	1400年	1300年	1200年	1100年	1000年	900年	800年

鎌倉時代

武家政治が始まる

◆源頼朝が鎌倉幕府を開く

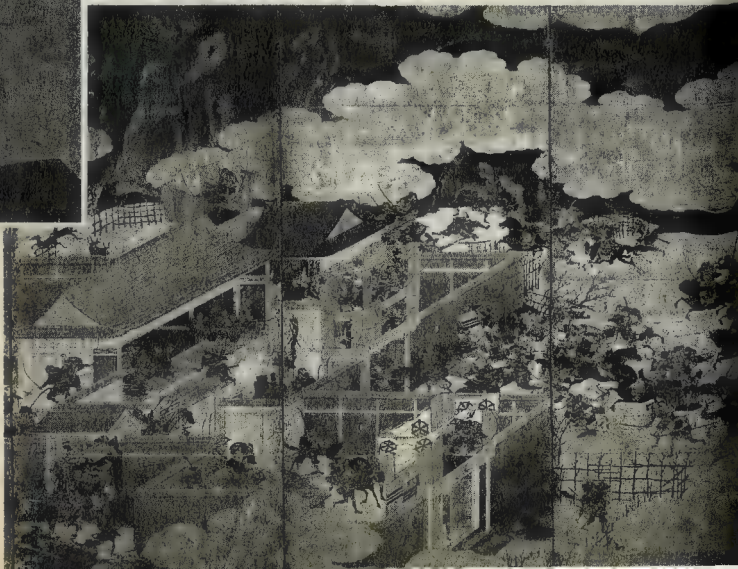
平氏によって伊豆に流されていた源頼朝（義朝の子）は兵をあげ、弟の義経らとともに平氏をほろぼしました。

そして、一一九二年、頼朝は、朝廷から征夷大将軍に任命され、鎌倉に幕府を開きました。これ以後のおよそ百四十年間を鎌倉時代といい、約七百年にわたる武家政治が始まりました。

◆頼朝と御家人

頼朝は、家来の武士（御家人）たちの領地を守ったり、土地をあたえたりしました。これに対し、御家人は、主君頼朝のために命がけで戦うことをちかい、幕府の力は、ますます強まっていきました。

▼一の谷の合戦　平氏の陣地に攻めこむ源氏の一軍。この合戦も源氏の勝利となった。（天真寺）

▲鎌倉幕府を開いた源頼朝。（神護寺）

700年　600年　500年　400年　300年　200年　100年　紀元元年　前1000年　前1万年

鎌倉時代

北条氏の執権政治

◆北条氏が政権をにぎる

源頼朝の死後、子の頼家、実朝が将軍になりましたが、あいついで殺され、源氏はわずか三代でほろびました。

代わって、頼朝を助けていた**北条氏**が**執権**という役職について、政治の実権をにぎりました。

三代目の**泰時**が執権のとき、幕府の政治をさらに固めるため、一二三二年、**御成敗式目（貞永式目）**という法律を定めました。

これは、武士が初めてつくった法律で、領地についてのきまりや、御家人としてのこころがまえなど、武士の生活に役立つことがわかりやすく定められています。

▶北条時政　頼朝の義父。幕府開設につくした。

（願成就院）

▼御成敗式目　全51か条からなる式目のうちの最初の2か条の部分。

（前田育徳会）

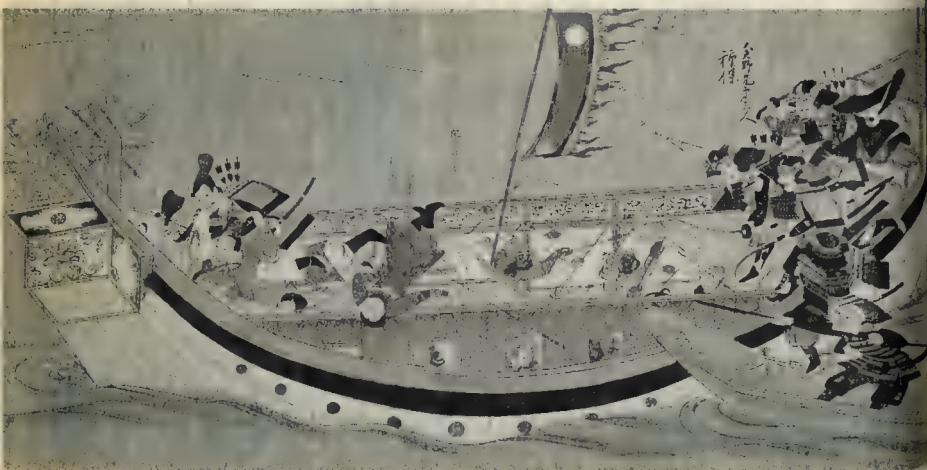
也
御成敗式目　五十一箇條
貞永元年　月日
一可修理神社專祭祀事
右神者依人之敬増威人者依神之
德添運然則恒例之祭祀不致陵夷
如在之禮奠莫令怠慢因玆於關東
御分國々幷庄園者地頭神主等各
存其趣可致精誠也兼又至有封社
者任代々符小破之時且加修理若
及大破言上子細隨其左右可有
其沙汰矣
一可修造寺塔勤行佛事等事
右寺社雖異崇敬是同仍修造之功
恒例之勤宜准先條莫招後勘但恣
貪寺用不勤其役輩者早可令改易
彼職矣

◆元寇と鎌倉幕府のおとろえ

このころ、モンゴル人が中国を支配し、国名を元として、まわりの国を従え、大帝国をつくりました。

そして、十三世紀の後半、八代目北条時宗が執権のとき、元は日本をも従えようとして、二度にわたって北九州を攻めてきました。これを元寇といいます。

日本軍は、元の新兵器や戦法に苦しみましたが、勇ましく戦いました。そして、運よく暴風雨が起きて、元軍は大損害を受け、二度ともにげかえりました。

しかし、幕府は、二度にわたる元との戦いでばく大な金を使い、手がらのあった武士たちに十分なほうびをあたえることができませんでした。そのため、武士の間で幕府への不満がつのり始めました。

▲蒙古襲来図　よろいかぶとに身をかためて元の船にせめこむ日本の武士。　(菊池神社)

室町時代

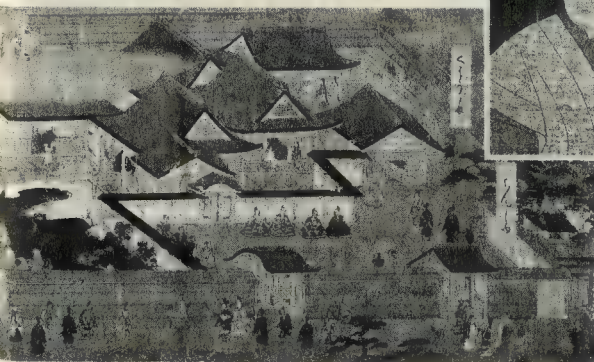
室町幕府の成立から戦国の世へ

◆建武の新政と室町幕府

鎌倉幕府のおとろえに目をつけた後醍醐天皇は、幕府に不満をもつ武士を集めて兵をあげ、一三三三年、鎌倉幕府をほろぼしました。そして、翌年、年号を建武と改めて、新しい政治を始めました。これを**建武の新政**といいます。

しかし、これは公家中心の政治であったため、武士は不満をもち、武家政治を望むようになりました。

そこで、**足利尊氏**は、兵をあげて京都にのぼり、一三三八年、京都に幕府を開いて、政治を武士の手にとりもどしました。そして、孫の**義満**は、京都の**室町**に幕府を移し、全盛期をむかえました。

▶足利義満　室町幕府の権力をより確かなものにした。　(鹿苑寺)

▲花の御所　義満が室町に建てた屋しき。正装した武士が中庭につめている。　(国立歴史民俗博物館)

▶後醍醐天皇　建武の新政を行ったが，失敗した。　(如意輪寺)

◆応仁の乱と戦国時代

室町幕府は、国ごとに**守護**をおいて、地方の武士を支配させました。その後、守護は、それぞれの国を自分の領地とし、**守護大名**と呼ばれるようになりました。

そして、力をふるった三代将軍義満が亡くなると、有力な守護大名は、政治の実権をにぎろうとして、勢力争いをするようになり、一四六七年、**応仁の乱**がおこりました。

およそ十年続いた応仁の乱ののち、約百年間は、強い大名が弱い大名をほろぼして領地を広げる**戦国の世**となりました。

こうして生まれた大名を**戦国大名**といいます。かれらは、勢力を強めて京都にのぼり、みずからの手で全国を統一することをめざして、戦いを続けました。

◀足利義政　政治より文化を好んだ。

(東京国立博物館)

▼応仁の乱　京都を舞台に、はげしく戦う武士たち。

(真正極楽寺)

安土桃山時代 天下の統一

◆統一に乗り出した織田信長

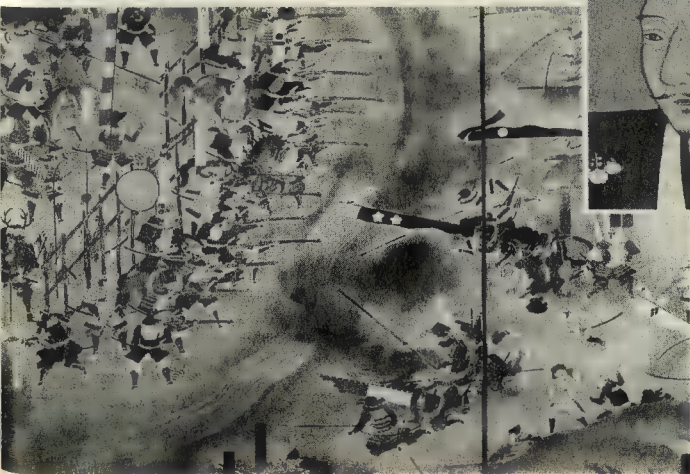
戦国大名の中で、最初に天下統一に乗り出したのは、**織田信長**でした。

信長は、尾張（現在の愛知県）の小さな大名でしたが、一五六〇年、**桶狭間の戦い**で今川義元を破り、その後、京都にのぼって、室町幕府をほろぼしました。

また、一五七五年の**長篠の戦い**では、いち早く鉄砲隊を使い、武田氏の騎馬隊をさんざんに打ち破りました。

信長は、京都に近い**安土**（現在の滋賀県）に城を築いて、全国統一に乗り出しましたが、統一を目前にした一五八二年、家来の**明智光秀**にそむかれ、京都の本能寺でたおされました。

▼長篠の戦い　織田・徳川連合軍の鉄砲の力が，武田軍を打ち破った。　（徳川美術館）

▲織田信長　天下統一をめざしたが、その直前で無念の最期をとげた。（長興寺）

1900年 1800年 1700年 1600年 1500年 1400年 1300年 1200年 1100年 1000年 900年 800年

◆統一をなしとげた豊臣秀吉

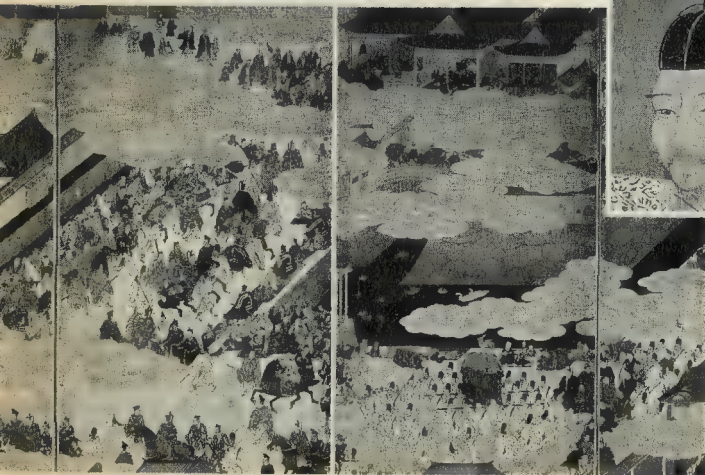
信長の家来であった豊臣秀吉は、主君のかたきの明智光秀をたおし、さらに同じ信長の家来で、勢力を争っていた柴田勝家を破り、信長のあとをひきついで、全国統一の仕事を進めました。

大阪城を築いて本きょ地とした秀吉は、四国の長宗我部氏、九州の島津氏、関東の北条氏を次々にたおし、一五九〇年、ついに**天下統一**をなしとげました。

さらに、秀吉は、海外にも目を向け、貿易を行うとともに、大陸へ力をのばそうとして、朝鮮に二度も大軍を送りましたが、失敗に終わりました。

この**朝鮮出兵**の失敗がきっかけとなって、しだいに豊臣氏の勢力はおとろえ始めました。

▲豊臣秀吉　もちまえの判断力と行動力で、天下統一を果たした。（高山記念館）

▼秀吉は，聚楽第へ後陽成天皇をまねいて，自分が天下人であることを示した。（堺市博物館）

江戸時代

二百六十年あまりにわたる江戸幕府

江戸幕府を開いた徳川家康

徳川家康は、三河（現在の愛知県）の小さな大名でしたが、信長や秀吉と組んで勢力をのばしました。

秀吉の死後、家康は、一六〇〇年、**関ヶ原の戦い**で、豊臣方の軍を破り、全国の大名を配下に従えました。一六〇三年には征夷大将軍に任ぜられ、江戸に幕府を開きました。こうして、二百六十年あまりにおよぶ**江戸時代**が始まりました。

幕府のきびしいとりしまり

江戸幕府は、大名が守るべききまりをつくったり、**参勤交代**の制度を定めて、大名を一年おきに江戸に住まわせ、妻や

▲江戸幕府を開いた徳川家康。

▼天下分け目の関ヶ原の戦いは，わずか半日で徳川方の大勝利に終わった。（井伊家史料保存会）

子を人質として江戸にとどめ、幕府にそむけないようにしました。

また、上から**士**（武士）・**農**（農民）・**工**（職人）・**商**（商人）の順に、きびしい身分の差別をもうけて、武士の世の中を固めました。が、のちには商人の経済的実力が高まりました。

◆鎖国

一六三七年、九州で、キリスト教徒と農民が、幕府のキリシタンだん圧などに反対して、**島原の乱**をおこしました。

これにおどろいた幕府は、一六三九年、キリスト教を広めるおそれのあるポルトガル船の来航を禁じ、オランダと中国にだけ、長崎での貿易を許しました。

こうして、日本は長い**鎖国**の時代に入り、幕府の支配下におかれました。

▼ポルトガル人収容のためにつくられた長崎の出島。1641年，オランダ商館が移されると，わが国とヨーロッパとを結ぶただ一つの窓口となった。　（長崎市立博物館）

江戸時代

江戸幕府がほろびる

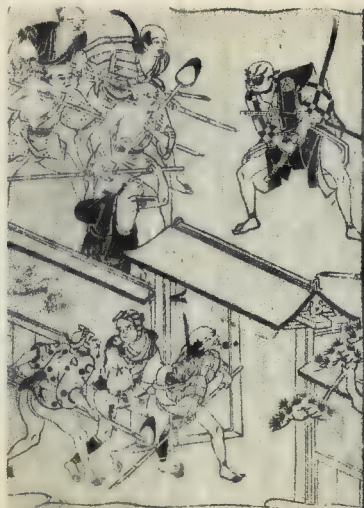
◆幕府政治のゆきづまり

十八世紀にはいり、商業が発達してお金が必要になると、幕府は、農民から年貢をきびしくとりたてました。

そのうえ、ききんが続いて、生活が苦しくなった農民は、たびたび**百姓一揆**をおこし、都市でも、生活に困った人々が、米屋などをおそいました。

そこで幕府は、何度も政治の立て直しをはかりましたが、あまり効果があがらず、人々の幕府に対する不満がつのり、幕府の勢いは、おとろえていきました。

◆開国をする

このようなとき、一八五三年、アメリカの**ペリー**が、浦賀（神奈川県）に来航し、

▲百姓一揆　竹やりやすき，くわを手に怒りを表す農民たち。　（国立国会図書館）

開国を強くせまりました。

この力におされた幕府は、一八五四年、**日米和親条約**を結び、さらに一八五八年、大老・**井伊直弼**が**通商条約**を結びました。

こうして、およそ二百十年あまり続いた鎖国は終わり、日本は**開国**しました。

◆江戸幕府がほろんだ

開国によって、外国貿易が始まると、経済が混乱したので、人々は幕府に不満を持つようになりました。

そして、幕府をたおし、天皇を中心とする政府をつくろうとする運動がおこりました。

この運動が広まり、一八六七年、十五代将軍**慶喜**は、政権を朝廷に返しました。ここに江戸幕府はほろび、武士の世は終わりました。

▲アメリカの海軍提督・ペリー。（ハリス記念館）

▼ペリーは，1854年，幕府と条約を結ぶために，神奈川（今の横浜）に上陸した。（東京国立博物館）

700年 600年 500年 400年 300年 200年 100年 紀元元年 前1000年 前1万年

明治時代 近代日本の出発

◆天皇中心の政治をめざす

新政府をつくった人々は、天皇を中心とする政治をめざして、政治や社会の改革を進めました。この改革を、**明治維新**といいます。

一八六八年、天皇が**五か条の御誓文**を発表して、政治の方針を示したあと、江戸を東京、年号を**明治**と改め、天皇は東京に移りました。

そして、一八七一年、大名がおさめていた藩をやめて、府県をおき、新たに天皇が任命した役人におさめさせました。これを**廃藩置県**といい、この結果、新政府の命令が、しっかりと全国にいきわたるようになりました。

▶一八六八年、五か条の御誓文が公布された。(明治神宮聖徳絵画館)

1900年 1800年 1700年 1600年 1500年 1400年 1300年 1200年 1100年 1000年 900年 800年

◆国を富ませ、強い軍隊をつくる

政府は、士農工商の身分制度をなくして、国民はみな平等としました。また、一八七三年、徴兵令を出して、二十才以上の男子は全員兵役につく義務を決めました。さらに、財政の安定をはかるため、税の制度を改めました。

そして、この税をもとにして、政府みずから工場をつくり、近代工業の発展につとめました。

一方、新政府の改革に不満をもつ士族（もと武士）たちは、各地で反乱をおこしました。その最大のものは、一八七七年、西郷隆盛らと新政府との間におこった西南戦争でした。しかし、この戦争は、政府軍が勝ち、日本はようやく安定した社会になりました。

▲富岡製糸場　1872年に明治政府によって群馬県につくられた。フランスの製糸技術者をまねいて，指導を受け，近代的な西洋の工業技術を学んだ。

歴史が好きになる㊙勉強法教えます

これを読めば、キミもきっと歴史が好きになるよ!

(1)お友達のとっておき歴史勉強法

まずは先輩のお友達四人に、楽しい勉強法を聞いてみたよ!

歴史上の人物になったつもりで「歴史新聞」をつくりました

東京都新宿区
梶原景明くん

ぼくは以前から武士に興味を持っていました。学校で武士のおこりが平将門であることを習ったので、ぼくは将門について調べて、新聞をつくろうと思いました。

調べていくうちに、自分が将門になったみたいな気持ちになり、心がわくわくしてきました。

地図が入っているので、将門の勢力範囲が一目でわかる!

将門が話したように書いているので、とてもおもしろく読める！

まんがが入っていて、楽しい紙面になっている。服装などを、よく調べてかいている！

系図が入っているので、とてもわかりやすい！

調べたことを、そのまま書き写すのではなく、自分で工夫し、再構成している！

平将門新聞

4-6 梶原累明

8

パカッパカッパカッ！

「将門様〜！」

「何事じゃ騒々しいっ！」

「いや、波来とか申す武士が来て将門様にお会いしたいと言って帰らないのでござりまする！」

「名も聞かぬ武士だな…おもしろい、通すっ！」

「はっ！」

ドタドタドタ

「そなたが波来とか申す武士か？何用じゃ。」

「なに、わしがなぜこのような大国の主となったか知りたいの？ふむ、どうせひまじゃ、話してしんぜよう！」

1. おじたちとの戦い

まず右の図を見ていただきたい。わしの祖父高望王は皇族だったが、平朝臣の姓をたまわり臣下となったのじゃ。で、祖父は上総の国の国司となって東国へ下ったが、任期をおえても帰らずそのまま住みついたのじゃ。

平将門の系図

桓武天皇……高望王
国香―貞盛
良兼
良将―将門・将平・将文
良正

やがて領地をふやし農民をしたがえ富と武力をたくわえて行き、父やおじたちの時代には、その勢力を上総・常陸・下総・相模へ広げていったのじゃ。

将門の最大勢力範囲

○国府

①下総
②常陸(平国香)
③上総
④武蔵
⑤相模
⑥伊豆
⑦上総(平良正)
⑧下総(平良兼)
⑨石井(平将門)

しかし、父上がなくなり、九三〇年都から帰ってみるとおじたちに土地を取られてしまっていたのだ。しかも国香はわしの勢力が大きくなるのをおそれ、下総にせめこんで来たのだ！

だが、わしは戦を優勢にすすめ、国香をやぶり、さらにまた良正もやぶったのじゃ！

が、その後、国境に良正、良兼それに国香の子貞盛が兵を上げてきたのじゃ。

われわれは良兼らを国府においつめたが、良兼は国司、にがしてやったのだ。

おまえたちは完全に包囲されている〜！

わしはその後、都に呼ばれ、事おこしたことを問われたのじゃ。しかし戦はおじたちからしかけたもの、罪は問われずにすみ、帰ってきたのじゃ。

ふむふむ

こーこーこーゆーわけで

だが都からぶじ帰ったことが気にくわない良兼は、たびたびわしに戦をしかけてきたのじゃ。やがて、良兼はわしの館に夜襲をかけてきたのだ。わしはうって出、良兼たちをけちらし、まったく立ち上がれない状態にしたのだ！

スゴイ！

↑梶原くんの作品「平将門新聞」

むかしも大都市、江戸の実像を調べました

東京都江東区
梅田明子さん

学校で、江戸時代の江戸（東京）の人口が世界一だったということを知り、わたしは、そのことについてくわしく調べてみようと思いました。

図書館などでいろいろ調べていると、おもしろいことがたくさんわかってきて、時間のたつのをわすれるほどでした。

円グラフになっているので、一目でわかる！

男が多かった理由をきちんと調べている！

平均寿命のちがいがよくわかる！

江戸時代のビックリ人口調べ

世界一だった江戸の人口

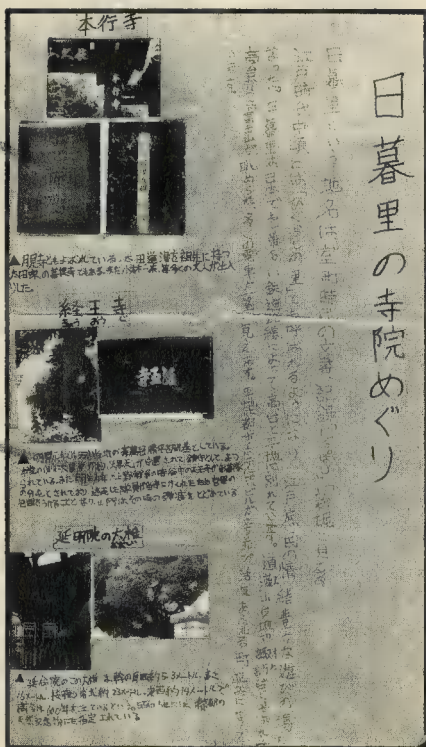
1700年頃の江戸の人口は136万人もいました。
この頃、ヨーロッパの大都市、ロンドン・パリの人口は、わずか50万人でした。
その頃の男女の割合は136万人のうち86万人(63%)は男でした。これは地方から江戸に出てきた武士や町人が多かったためです。

男女の平均寿命

男が48歳 女が51歳
日本全国の平均寿命を比べてみると今の平均寿命は、江戸時代に比べて男・女とも1.5倍以上に延びていることがわかります。

↑梅田さんの作品
「江戸時代のビックリ人口調べ」

家の近くの寺院を自分で歩いて調べました

東京都荒川区
村山隆夫くん

ぼくの住んでいる日暮里（東京都荒川区）には、寺院がたくさんあります。そこで、家の近くの寺院を回って、いろいろ調べてみることにしました。

あるお寺に行ったとき、そこにあったお地蔵さんが、わらいながらぼくに話しかけているような、不思議な気持ちになりました。

写真がたくさんのっているので、お寺のようすがよくわかる！

一つ一つのお寺について、とてもていねいに調べて書いてある！

日暮里の寺院めぐり

本行寺

経王寺

延命院の大椎

↑村山くんの作品「日暮里の寺院めぐり」

平安美人のなぞにせまってみました

東京都文京区
中里智子さん

平安美人は、どんなお化粧をしていたのかな? どんな生活をしていたのかな? そのなぞをといてみようと思いました。

いろいろな本で調べてみましたが、なぞはますます深まるばかり…。頭をかかえこんでしまいましたが、なぞときのわくわくする気持ちは大好きです。

キャラクターを登場させ、自分の考えなどを語らせている!

絵を見て気がついたことを、きちんと分け整理して書いている!

「ますます包まれてゆく 平安美人のなぞ」

平安美人がどのような生活をしていたか。それは今でもなぞである。どのような顔だったのか?などというなぞはこの絵を見ればわかるかもしれないけれど、この絵とは全然にてないかもしれない。(かもしれないが多くて文がわかりにくいかもしれません。)このような疑問をもとにしながらまんが風に平安美人に近づいていきたい、と思います。

ある日のことの

その一

上の絵を見て気が付いたことをあげてみよう。

①色が白そうなんだ。
②髪の毛が長い。
③まゆ毛が濃く目との間かくがすくない。
④なんとなく太っている感じがする。
⑤くちびる(口)が小さい。

などだね。でもこのまゆ毛は、一度全部毛をぬいてその上から、と話すと長いのでまとめてみよう。

平安美人のお化しょう講座の[illegible]

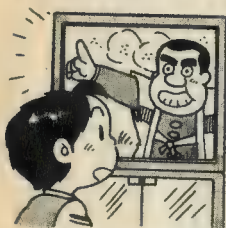
①まゆ毛をすべてぬく。
②お白いをべっとりと厚くぬる。
③その上からぼかしたように、でも濃くまゆ毛を書く。
④口紅をぬる。

↑中里さんの作品「ますます包まれてゆく平安美人のなぞ」

(2)歴史の勉強が楽しくなる六つのポイント

これから歴史を勉強するキミに、楽しく勉強するコツを、バッチリ教えちゃおう！

1 テレビ・まんがを活用して

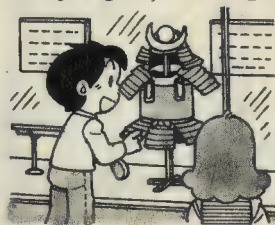
勉強よりもテレビやまんがの方が好きというキミには、この方法がおすすめ。NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」など、テレビで放送されている歴史ドラマを見ていると、歴史がおもしろくなってくるんだ。また、歴史まんがの本もたくさん出ているから、これを利用しない手はない。テレビで、まんがで、楽しく勉強ができるぞ！

2 身近な疑問から…

むかしの人の生活は、今の生活とずいぶんちがっていたはずだね。食べ物、着る物、住まい、遊び、生活…。そんな身近なことの中にだって、歴史の勉強の手がかりはいっぱいあるんだ。

「むかしの人の遊び」「トイレの歴史」などのテーマで調べると、おもしろい事実が次々と出てくる。もう「つまんない。」とは言わせないぞ！

3 本物を見よう！

博物館や歴史資料館は、むかしがのぞけるびっくり箱だ。もし、キミの住んでいる近くに、博物館や歴史資料館があったら、ぜひ行ってみるといい。むかしの人の生活がよくわかるよ。

博物館がなくても、むかしからのお寺や神社はあるだろう。お祭りや行事もあるね。こうしたものを、実際に見たり、そのことにくわしい人に話を聞いてみてごらん。聞いた話をもとにして、もっとくわしく調べたりすると、歴史がとても身近なものに感じられてくるよ。

4 自分でつくろう！

歴史の勉強をしていると、いろいろな疑問がわいてくる。「むかしの人は、どうやって火をおこしたのかな？」「土器はどうやってつくったの？」――。

そんなときには、本などで調べて、自分で実際につくってみたり、やってみたりしてごらん。博物館などで、土器をつくる講座を開いているところもあるから、利用してみてもいい。

あんどんをつくって、その明かりだけで本を読むと、江戸時代の人になったような気持ちがするよ。

5 好きな人物を調べよう！

歴史をまだ習っていないキミだって、織田信長や豊臣秀吉は知っているよね。徳川家康や西郷隆盛も、歴史上の有名人だ。そんな中には、「この人、好きだな。」「どうしてこんなことしたのかな？」と思う人物が、きっと一人くらいはいるだろう。

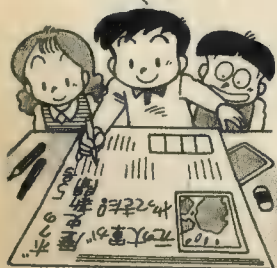
好きな人物がいたら、その人についててってい的に調べてみよう。興味を持った人物について調べていくと、その人が生きた時代や、できごとについても、とてもよくわかるようになるよ！

6 歴史新聞をつくろう！

歴史上の人物やできごとなどについて調べたら、そのまま放っておく手はない。調べた結果を新聞にまとめて、みんなに見せてあげよう。

本当の新聞のように、今おこったばかりの事件みたいに生き生きと書くと、読む人はびっくりしちゃうよ。

歴史上の人物へのインタビュー記事というような企画も、わくわくするような楽しさだ。

歴史クイズをつくったりすると、おもしろい新聞になるし、自分だって楽しめちゃうぞ！

歴史人物学習まんが

西郷隆盛(さいごうたかもり)と大久保利通(おおくぼとしみち)(下)

教科書の「歴史」の勉強がよくわかる

6年の学習4月教材　第2学習教材＝社会科
第45巻1号一九九〇年四月一日発行

この学習教材の編集にご協力いただいた方々

監　修――鹿児島純心女子短期大学教授　芳　即正
大阪市立大学教授　毛利敏彦

指導・文――前神奈川県川崎市立宮前平中学校教諭　柳川正実
筑波大学付属小学校教諭　田中　力

協　力――桑畑ヒメ／鹿児島県歴史資料センター黎明館

表紙絵・歴史人物学習まんが――堀江　卓

絵――風　博士／山口太一

デザイン――フィールド・サイド（田端克雄／田口純子）

制作協力――㈱冬陽社（岡村浩史）／勝家順子／山中玲子／清水秀子／飯沼清

写真資料提供――鹿児島県歴史資料センター黎明館／西郷南洲顕彰館／鹿児島市立美術館／大久保利泰／財団法人鹿児島県育英財団／東北大学考古学研究室／福岡市立歴史資料館／近江風土記の丘資料館／津南町教育委員会／東京国立博物館／東京大学付属図書館／談山神社／宮内庁侍従職／高野山文化財保存会／東大寺／富士銀行／奈良市役所／藤田美術館／田中春子／祇王寺／天真寺／神護寺／静嘉堂文庫／菊池神社／前田育徳会／願成就院／鹿苑寺／真正極楽寺／如意輪寺／国立歴史民俗博物館／畠山記念館／堺市博物館／長興寺／徳川美術館／長崎市立博物館／井伊家史料保存会／徳川恒孝／ハリス記念館／国立国会図書館／明治神宮聖徳絵画館／五十嵐キヌ／津田塾大学／浅倉哲／高知県教育委員会／日本赤十字社／粟津国哉／致道博物館／井上二郎／逓信博物館／旧開智学校管理事務所／吉田常吉／慶応義塾大学

発行人――本郷左智夫　編集人――福田昌弘
発行所――株式会社学習研究社
〒145　東京都大田区上池台四―四〇―五
電話　東京(〇三)七二六―八二七〇(学習編集部直通)
(〇三)七二六―八一一一(案内番号)
振替口座番号　東京八―一四二九三〇
印刷所――廣済堂印刷株式会社

乱丁・落丁の場合はおとりかえいたします。
この学習教材の内容、製本についてのお問い合わせは、左記のところにお願いいたします。
文書は、〒146　東京都大田区仲池上1―17―15
学研お客様相談センター「6年の学習」係。
電話は、編集内容に関しては、〇三―七二六―八二八二(編集部直通)。
お申し込み、その他は〇一二〇―四五―四三三三(お客様相談センター)。
企画・編集――葛坂登(編集長)／片岡優／塚田壽一

西郷と大久保 二つのことば

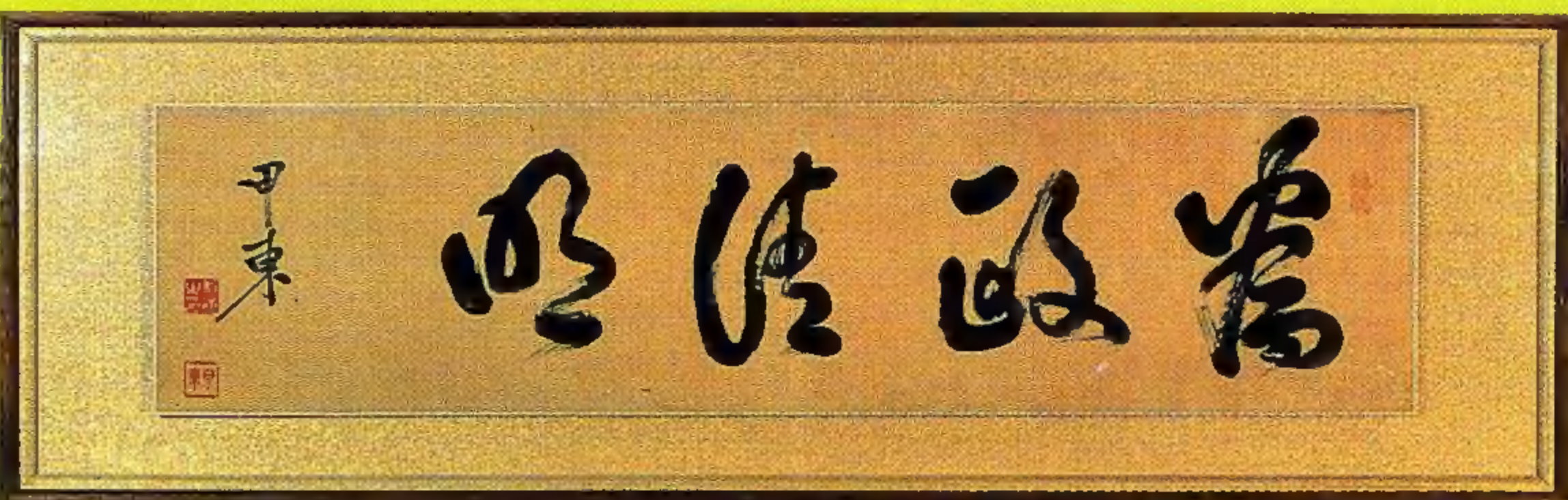
西郷隆盛と大久保利通には、それぞれ代表的なことばがある。そのことばは、まさに二人の生き方を示している。

人々から愛された 西郷隆盛

西郷隆盛は、多くの人々から愛された。その理由は、隆盛が天の声をきき、その声にしたがって素直に生き、しかも真心をこめて人を愛し、大切にしたからだ。こうした生き方を表すことばが「敬天愛人」である。

→西郷隆盛の書「敬天愛人」 人間は天をうやまい、真心をこめて人を愛すべきだという意味である。（南洲神社）

新しい政策を進めた 大久保利通

大久保利通は、官営工場を設置したり、政府機関を整えたり、地租改正をしたりして、新しい政策を進めた。このとき、かれがつねに心にとめていたのが、清潔な政治、かくしごとのない政治だった。それが「為政清明」なのである。

↑大久保利通の書「為政清明」 政治をするには、清潔で、かくしごとがあってはならないという意味だ。（鹿児島市立美術館）

↑岩倉使節の出発 1871年，岩倉具視（船上の中央），木戸孝允（右），大久保利通（左）らは，条約改正や各国の文明調査にアメリカ，ヨーロッパをたずねた。（明治神宮聖徳絵画館）

この学習教材のねらい●①６年生で初めて学習する，日本の歴史への興味を持たせます。また，学習意欲が持てるよう，まんが・資料などを工夫して構成しています。②ＮＨＫ大河ドラマ「翔ぶが如く」が楽しく，よくわかります。

名前

1990 Printed in Japan 5 4-121-67

資料 文明開化

文明開化おもしろ年表

江戸から明治へ——。これは時代が変わっただけではありませんでした。人々のくらしも、おどろくほど大きく変わりました。

西暦（年号）	おもなできごと
一八六八（明治元）	●東京でパンの製造が行われる。持ち運びに便利なことから、薩摩藩では軍の携行食とした。
一八六九（明治二）	●東京・横浜間に電信が開通する。遠くに物が送れるというので、電線に弁当をつけて運ぼうとする人もいた。
一八七〇（明治三）	●このころ人力車が発明される。●東京で牛乳屋が開業する。四谷（東京都千代田区）で牛をかい、牛乳を売る店ができた。●最初の日刊新聞『横浜毎日新聞』が創刊される。
一八七一（明治四）	●東京・大阪・京都間で郵便が始まる。日本の郵便制度の父・前島密の肖像が一円切手に使われている。●東京に写真屋ができる。「写真をとると、生き血を吸い取られる」などといわれた。●洋服屋が繁盛し始める。着物にパラソル、はかまにくつなど、洋服だけでなく、洋装がファッションの先端となった。●散髪脱刀令が出され、床屋がにぎわう。
一八七二（明治五）	●福沢諭吉が『学問のすすめ』を出す。三百四十万部の大ベストセラーとなる。●東京・横浜間に鉄道が開通する。「矢を射るごとく速い」といわれた。●横浜でガス灯がつく。●学制が公布される。フランスの教育制度を手本にした学校制度が定められた。●翌年から太陽暦を使うことを決める。
一八七三（明治六）	●外国人との結婚が認められる。●横浜にホテルができる。●野球が伝わる。
一八七四（明治七）	●森有礼らが日本初の『明六雑誌』を出す。●東京の銀座にれんが造りの洋風街が誕生する。文明開化の最先端を行く街としてにぎわった。
一八七五（明治八）	●石油ランプが広まる。●東京気象台が設置される。●マッチがつくられ始める。このころ、初めてマッチを見た女性が、おばけと思って気絶する事件が起こった。●ビールが初めて売りに出される。
一八七六（明治九）	●日曜日を休日とし、土曜日を半休とした。●長野県の松本市に開智学校ができる。建築費用のほとんどは、住民からの寄付によった。●東京で貸し自転車屋ができる。当時の貸し自転車は三輪自転車だった。
一八七七（明治十）	●内国勧業博覧会が開かれる。東京上野で行われた博覧会（総裁・大久保利通）には、八万四千あまりの出品があり、四十五万人をこえる入場者でにぎわった。

前島 密

福沢諭吉（慶応義塾大学）

森 有礼

大久保利通

◎このようにして、日本の近代化はどんどん進んでいきました。

↑人力車

↑郵便配達（逓信博物館）

↑床屋

↑鉄道

↑のびる鉄道

↑れんが造りの洋風街

↑旧開智学校（旧開智学校管理事務所）

↑内国勧業博覧会